

# KENWOOD NEW ALLORA

コンパクト オーディオ

## XT-7MD

### 取扱説明書

お買い上げいただきまして、  
ありがとうございました。  
機器を正しく、安全にご使用いただくため、  
使用を開始する前に必ず、この取扱説明書  
の「安全編」をお読みになり、十分にご理  
解ください。  
使いかたの説明も、併せてよくお読みくだ  
さるよう、お願いいたします。  
また、取扱説明書は大切に保管して、必要  
になったときごくり返してお読みください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国  
で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION



## KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室（東京） 電話（03）3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9  
（大阪） 電話（06）357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

B60-4042-00 00

（J）（AP）（J）9807

安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください)..... 4

準備編

音を出す前に

はじめに..... 8
本機の特長..... 8
システムの置きかた..... 9
接続のしかた..... 10
各部のなまえ..... 15
アンプ部、CDプレーヤー部..... 15
コントロールセンター部..... 16
ハイパーオペレーティングスタジオ..... 17
MDレコーダー部..... 18
表示部
(コントロールセンター部、MDレコーダー部)..... 19
リモコン部..... 20
リモコンの使いかた..... 21

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

基本的な使いかた..... 22
CDを聴く..... 24
MDを聴く..... 28
リレー再生..... 31
シームレス再生..... 32
放送を聴く..... 34
放送局をオートプリセットする
(エリア別FM放送局名自動表示)..... 36
放送局名リスト..... 37
FM文字多重放送を楽しむ..... 38
FM文字多重放送の文字情報を見る
(見えるラジオ)..... 38
FM文字多重放送の文字情報を記憶する
(記憶した文字情報を削除する)..... 39
MDに録音する..... 40
REC INPUTキーの使いかた..... 42
MODEキーの使いかた..... 43
MD間の無録音部分をなくして
連続録音をする(SEAMLESSリレー録音)..... 45
CDを1枚全部録音する、いい曲があれば
その曲だけ録音する(ワンタッチエディット録音)..... 46

応用編

楽しさが広がります

CDやMDのいろいろな再生..... 47
曲順を並べ替えて聴く
(CD,MDのプログラム再生)..... 47
複数のCDの1曲目だけを聴く
(BEST HITS 再生)..... 49
繰り返し聴く(CDのリPEAT再生)..... 50
ランダム再生を楽しむ(CDのランダム再生)..... 51
繰り返し聴く(MDのリPEAT再生)..... 52
ランダム再生を楽しむ(MDのランダム再生)..... 53
便利な録音あれこれ..... 54
録音のタイプを選ぶ..... 54
CDから2枚のMDへ録音する..... 55
CD、MDのプログラム録音..... 56
複数枚のCDの1曲目だけを録音する
(BEST HITS 録音)..... 57
6枚のCDを6枚のMDに録音する
(O.T.E.6CD→6MD機能)..... 58
3枚のMDを3枚のMDに録音する
(DUBBING 3MD→3MD機能)..... 59
1枚のMDを1枚のMDに録音する
(DUBBING 1MD→1MD機能)..... 60
MDの編集機能..... 61
編集機能のタイプを選ぶ..... 61
ミニディスクや曲にタイトルをつける..... 62
入力した文字を変更、消去するには..... 63
JISコード表を使って、タイトルをつける..... 64
FM文字多重放送の文字情報を
ミニディスクに記録する..... 66
タイトルをエリア別に消去する
(TITLE AREA ERASE)..... 68
曲順を1曲ずつ入れ替える(TRACK MOVE)..... 70
曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE)..... 72
曲を分ける(TRACK DIVIDE)..... 74
曲をつなぐ(TRACK COMBINE)..... 76
1曲消す(TRACK ERASE)..... 78
全曲消す(ALL ERASE)..... 79
曲をまとめて消す(QUICK ERASE)..... 80
曲の一部分を消す..... 82
編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)..... 84
効果的な音質調整..... 85
音場効果を楽しむ..... 85
お好みの音質で音楽を聴く(イコライザー機能)..... 86
バランスとインプットレベルの調整..... 87

応用編

楽しさが広がります

時刻合わせ..... 88
タイマーを使う..... 89
プログラムタイマー予約..... 89
おやすみタイマー(SLEEP)..... 92

知識編

知っているとかかと便利です

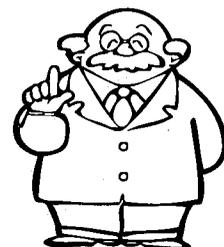
JISコード表..... 94
知っておきましょう..... 101
メンテナンス..... 101
参考..... 101
ディスクの取り扱いかた..... 102
故障かな?と思ったら..... 104
定格..... 109
保証とアフターサービス
(よくお読みください)..... 111

デモンストレーションについて

電源がオンの状態で何も動作していないとき、CLOCK/DEMOキーを2秒間押し続けると「デモモード」になります。デモモードの時は表示部にいろいろな表示がでます。解除するときはCLOCK/DEMOキーを1回押してください。

●電源がオンの状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的に働きます。デモモード中にキーを押すと解除できます。

CLOCK/DEMO



付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

Table listing accessories: FM室内アンテナ(1本), FMアンテナアダプター(1個), AMループアンテナ(1個), AMループアンテナスタンド(1個), 光ファイバーケーブル(1本), スピーカーコード(2本), リモートコントロールユニット(1個), リモコン用単3乾電池(R6/SUM-3)(2本), 平行コード(1本), 通信ケーブル(白)(1本), 通信ケーブル(黒)(1本), クッション(4個)

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。  
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害



指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。  
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。  
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

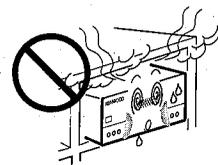


放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。  
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。  
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



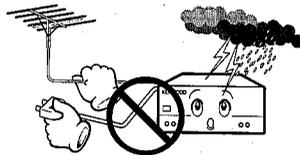
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》



雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。  
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。  
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



異常が起きた場合は

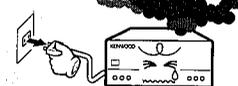
煙が出たり、変な臭いや音がある場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



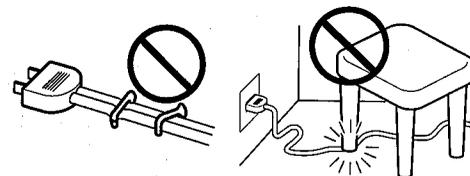
電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



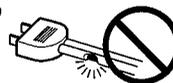
電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。  
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》

- 修理をご依頼ください。



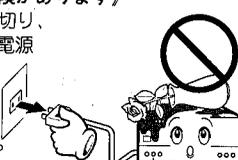
機器の内部に水を入れない

花びんやコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。  
《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜け

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



# 警告

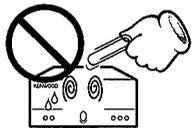
安全上のご注意

XF-7MD (J)

**機器の内部に異物を入れない**  
 内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。  
 《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

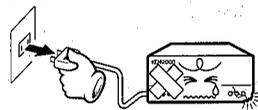
電源プラグをコンセントから抜く



**落下した機器は使わない**  
 落としたり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。  
 《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜く



**ケースを絶対に開けないでください**  
 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。  
 《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご相談ください。

分解禁止



**電池を放置しない**  
 電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。  
 《電池を飲み込むおそれがあります》

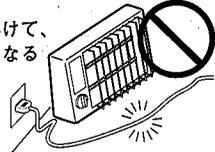
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

警告

分解禁止

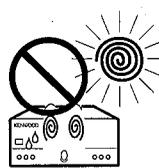
# 注意

**電源コードを熱器具に近づけない**  
 電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけないでください。  
 《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



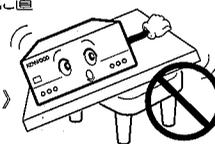
**温度の高い場所には置かない**  
 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
 《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

禁止



**不安定な場所には置かない**  
 ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
 《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》

禁止



**長期間使用しないときは**  
 長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
 《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

**湿気やほこりのある場所に置かない**  
 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。  
 《火災や感電の原因になることがあります》

禁止



警告

**音量に気をつけて**  
 はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。  
 《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。  
 《耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

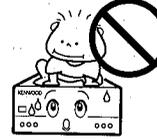
# 注意

安全上のご注意

XF-7MD (J)

**機器に乗らない**  
 お子様は機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。  
 《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

禁止



**指をはさまない**  
 お子様がかセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。  
 《けがの原因になることがあります》

警告

**指定以外のコードを使わない**  
 関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。  
 《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

警告

**電池の取扱い**  
 電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。  
 また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。  
 次のことを、必ず守ってください。

警告

警告

禁止

禁止

警告

**電源プラグは清潔に**  
 1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。  
 《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》

**お手入れの際は**  
 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
 《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

**電源プラグの抜き差しは**  
 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
 《感電の原因になることがあります》

ぬれ手禁止

警告

禁止

**機器を移動させる際は**  
 移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。  
 《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

**指定機器以外のものを乗せない**  
 機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。  
 《乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》

禁止

禁止

**電源プラグは清潔に**  
 きれいにしましょう



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。  
 《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

本機の特長

XT-7MD (J)

3枚チェンジャー2基(計6枚)のMDレコーダーを標準装備

デジタルならではの高音質を実現する3枚チェンジャー2基(計6枚)のMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーはもちろん、MDからMDへのダビングもカンタンにできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ替えなど、多彩な機能が自慢です。

MDの編集録音がカンタンにできる内蔵操作キーボード

使いやすさを追及したHyper Operating Studio<sup>ハイパー オペレーティング スタジオ</sup>で、CD6枚、MD3枚+3枚の編集録音がカンタンになりました。今まで面倒だった録音、ダビングも、シンプルな操作でいろいろなパターンの編集録音ができます。

サンプリングレートコンバーター搭載

→ 46

本機には各種デジタルソース(32kHz、44.1kHz、48kHz)に対応した、サンプリングレートコンバーターを搭載しています。

FM文字多重放送(見えるラジオ)のテキスト情報表示機能

→ 39

音声放送の周波数帯域に追加された文字情報を、チューナー受信時はもちろん、CDやMDを再生している時も同時に見ることができます。

- 文字情報は音声放送に合わせた内容の情報(番組情報)や、音声放送内容とは別の情報(ニュース、交通情報、天気予報など)(独立情報)があります。

エリア別FM放送局名自動表示機能

→ 39

都道府県を登録すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に設定します。FM放送を受信しているときには、表示部に放送局名が表示されます。

MDのディスク名や曲名の漢字入力、表示機能

→ 62

本機では、録音したMDや、そこに収録されている曲にディスク名や曲名を、漢字で付けることができます。また、大型ディスプレイにより、表示もより見やすくなりました。

CD、MDのテキスト情報表示、コピー機能(CD-TEXT対応)

→ 26 → 30 → 44

CD、MDに入っている各種のテキスト情報(ディスクタイトル、曲名など)を表示することができます。(文字の種類によっては表示されないことがあります。)また、CD-TEXTに対応しているCDや、すでにタイトルが入力されているMDをMDに録音するとき、同時にテキスト情報をコピーすることができ、面倒なタイトル入力の手間が省けます。

便利な録音あれこれ

→ 54

目的別に使える、多彩な録音機能をたくさん用意しました。

ワンタッチエディット録音 : CDまたはMDの全曲またはお好きな曲を、ワンタッチでMDまたはテープ(別売カセットデッキと接続時のみ)へ録音できます。

また、3枚のMDから3枚のMDへ、または6枚のCDを6枚のMDへワンタッチで録音することもできます。

ベストヒッツ録音 : セットした全てのCDの1曲目だけを順にMDまたはテープ(別売カセットデッキと接続時のみ)に録音します。

プログラム録音 : 6枚のCDの中から好きな曲を好きな順番でMDまたはテープ(別売カセットデッキと接続時のみ)に録音することができます。

便利なタイマー機能

→ 89

ウィークリータイマー、2つの内容を登録、など多彩な設定ができるほか、次の便利な働きがあります。

AIタイマー機能 : タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、予め決められた音量まで上がります。

スリープ機能 : 設定した時間を過ぎると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。

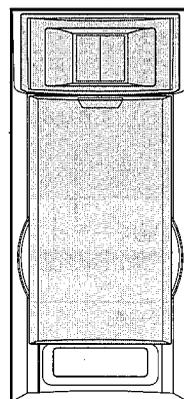
XT-7MD (J)

本システムの置きかたです。図をよくご覧になり、正しい図のように置いてください。

注意 設置のご注意

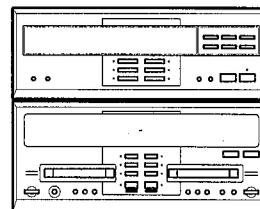
過熱による火災の原因となりますのでセットの積み重ねは図のように行ってください。

- アンプ部A-J9を一番上に設置してください。
- 放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。



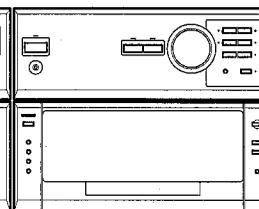
スピーカー部  
LS-J9(L)  
左チャンネル

CDプレーヤー部  
DP-MJ9

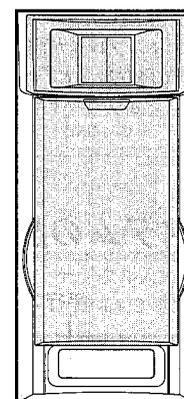


MDレコーダー部  
DM-WMJ9

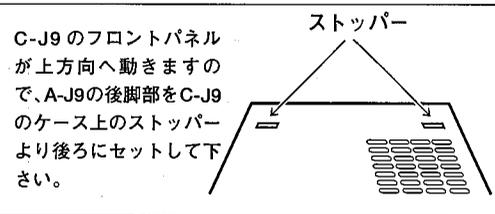
アンプ部  
A-J9



コントロールセンター部  
C-J9



スピーカー部  
LS-J9(R)  
右チャンネル



コントロールセンター部(C-J9)のHyper Operating Studio<sup>ハイパー オペレーティング スタジオ</sup>をお使いになるときは、必ずOPEN/CLOSEキーを押して開閉してください。

本体と付属品、または別売品との接続方法です。図をよくご覧になり、正しく図のように接続してください。

**注意** 接続のご注意

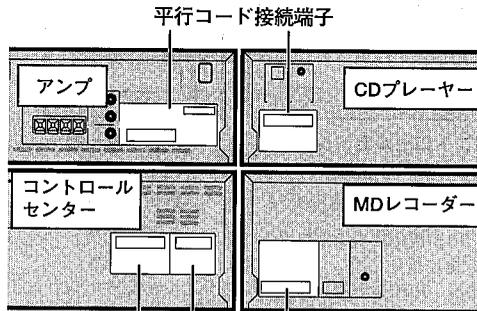
接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行ってください。

**マイコンの誤動作について**

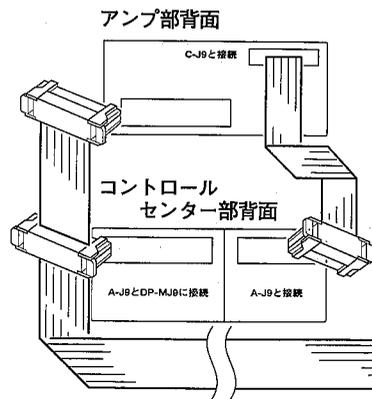
正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら」を参照してマイコンをリセットしてください。

→104

**システムの接続**

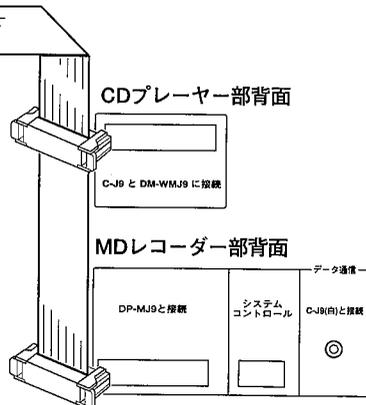


平行コード接続端子



**平行コードの接続について**

- 平行コードはカチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックしてください。
- コードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜きます。



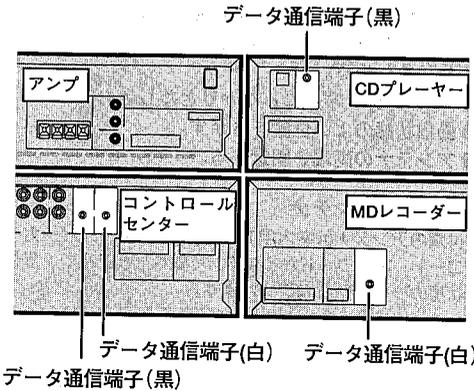
XT-7MD (J)

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
3. システムコントロールコードを抜くときは、ソケット部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜きます。
4. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
5. セットの前面は揃えてください。
6. スピーカーコードの十と一は絶対にショートさせないでください。
7. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

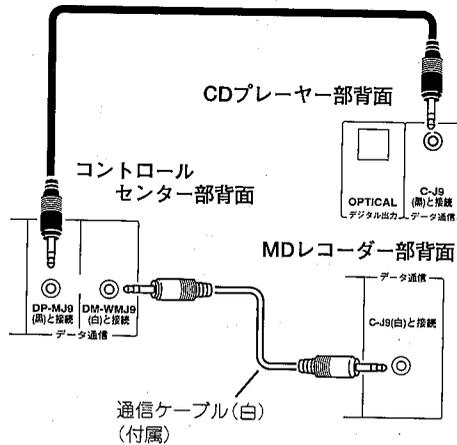
XT-7MD (J)

**通信ケーブルの接続**

付属の通信ケーブルを使って、背面の表示とケーブルの色を正しく接続します。



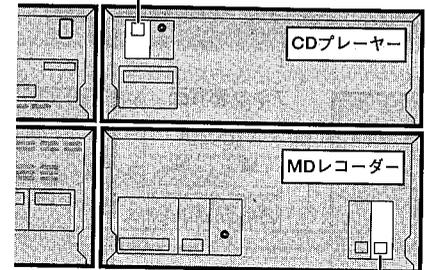
通信ケーブル(黒)(付属)



**デジタル接続**

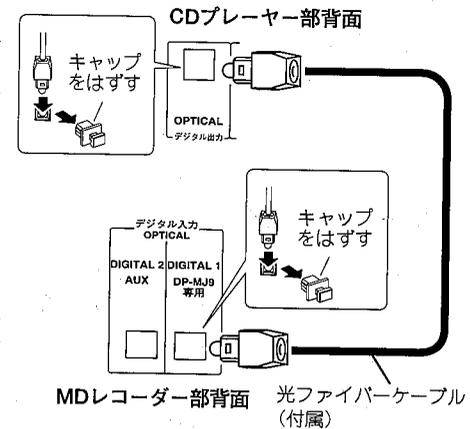
CDプレーヤー部とMDレコーダー部のデジタル録音用の接続方法です。この接続を済ませないと、CDプレーヤーからMDレコーダーにデジタル録音できません。MDレコーダー部の接続は必ず、図のように"DP-MJ9専用"端子に接続してください。

デジタル出力端子



デジタル入力端子 (DP-MJ9専用)

保護キャップをはずして使います。(キャップの紛失にご注意ください。)



**光ファイバークーブルの接続について**

- 光ファイバークーブルは真っ直ぐに、カチッと音がするまで平行に差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバークーブルは、絶対に折曲げたり、束ねたりしないでください。

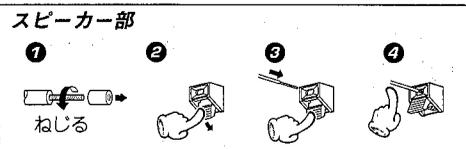
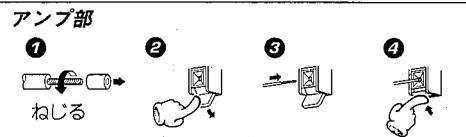
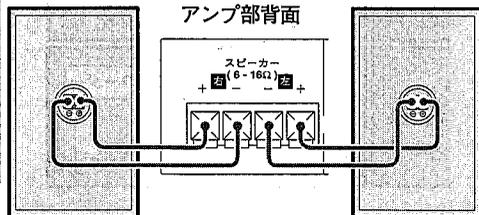
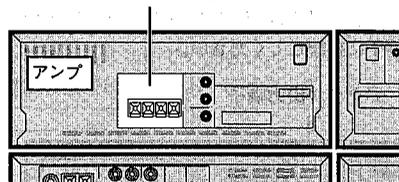
準備編

準備編

### スピーカーの接続

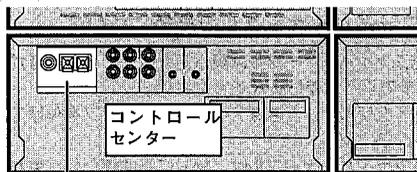
付属のスピーカーコードを使って、本体とスピーカーを十と十、一と一を正しく接続します。

スピーカー端子



### アンテナの接続

**注意** 屋外アンテナ設置上のご注意  
アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。



アンテナ端子

### 付属アンテナの接続

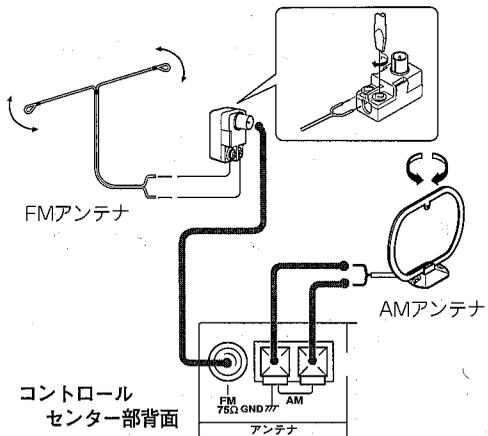
#### FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をおすすめします。屋外アンテナを接続したら、室内アンテナは取り外してください。

- 1 アンテナアダプターのねじをゆるめる。
- 2 フィーダー線を差し込む。
- 3 ねじをしめる。
- 4 FMアンテナ端子にしっかりと差し込む。
- 5 受信状態のよい位置をさがす。
- 6 アンテナの両端を固定する。

#### AMループアンテナ

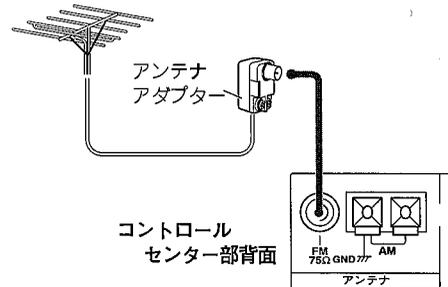
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



### FM屋外アンテナの接続

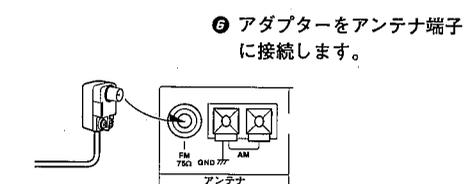
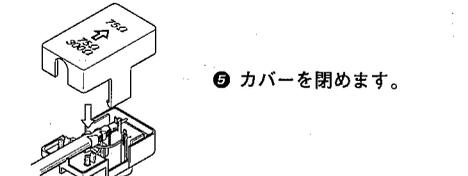
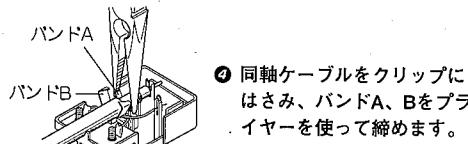
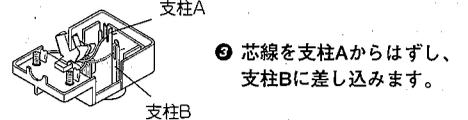
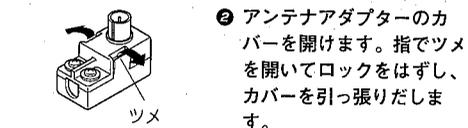
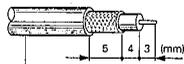
#### FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、室内アンテナは取り外してください。



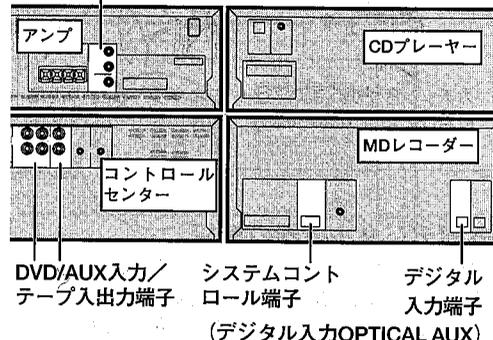
### アンテナアダプターの接続

同軸ケーブルを左の図のように加工します。  
5C-2V (RG-6) または 3C-2V (RC-59)



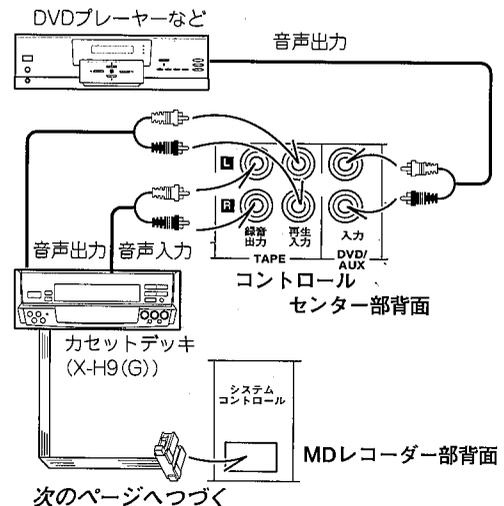
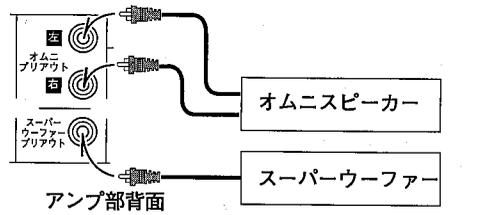
### 別売機器の接続

オムニ/スーパーウーファー出力端子



### アナログ機器の接続

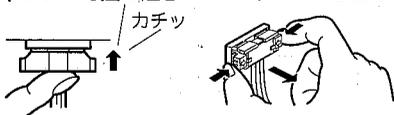
**オムニスピーカー (OMNI-A5) (別売)**  
音場の広がりを出します。自由なレイアウトを楽しめます。  
**スーパーウーファー (SW-05) (別売)**  
重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。



次のページへつづく

システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む      コネクターを抜く



カチッと音がするまで平行に差し込みロックする      コネクター部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜く

サイバータイトラーの接続

MDのタイトル入力にJIS規格配列のキーボードにより、簡単に入力できます。また、入力した文字をプリントアウトして、ケースに貼ることにより、オリジナルソフトを作ることができます。

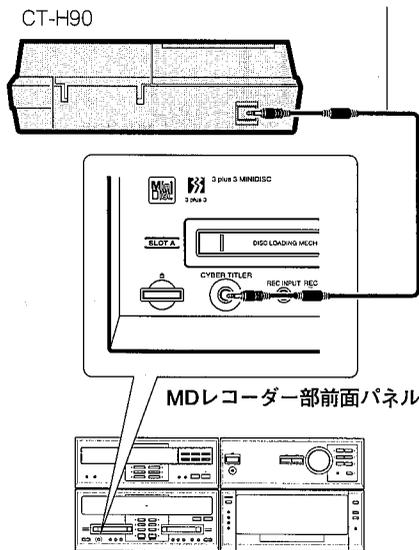
サイバータイトラー(別売)使用上のご注意

アンプ部(A-J9)の上に直接、サイバータイトラーCT-H90を乗せてご使用になると、放熱の妨げとなります。他の場所に置いてください。

サイバータイトラー(別売)との接続ケーブルについて

サイバータイトラーとの接続には、必ずサイバータイトラー付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものご使用になると正しく動作しません。また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器へ電波障害を与えることがあります。

CT-H90専用通信ケーブル(CT-H90に付属)



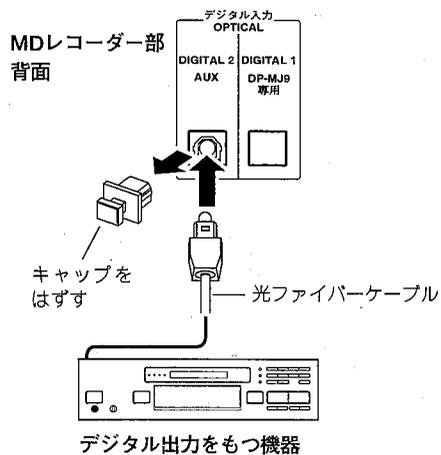
外部デジタル機器の接続

外部デジタル機器(別売)との接続方法です。外部デジタル機器(別売)とMDレコーダー部の接続は必ず、図のようにデジタル入力OPTICAL DIGITAL 2 AUX"に接続してください。

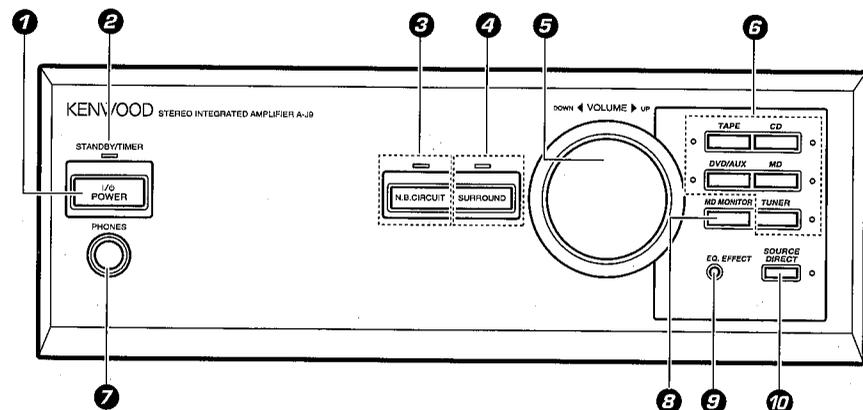
光ファイバーケーブルの接続について

- 光ファイバーケーブルは真っ直ぐに、カチッと音がするまで平行に差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

保護キャップをはずして使います。(キャップの紛失にご注意ください。)

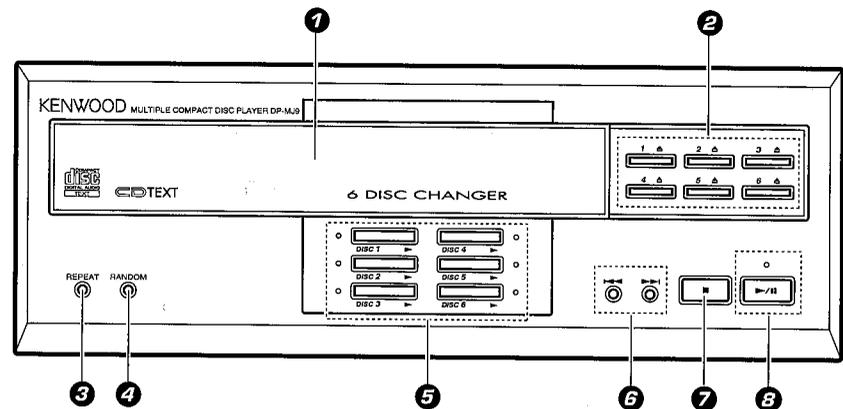


アンプ部(A-J9)



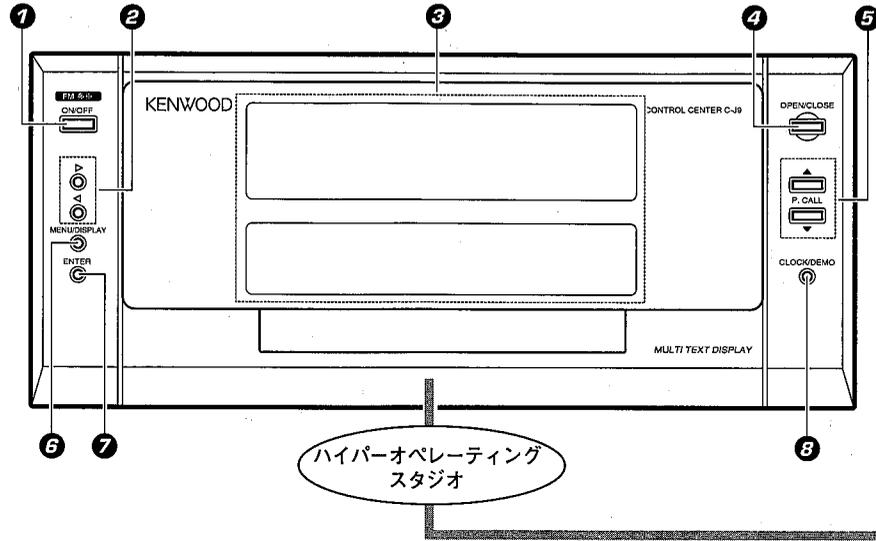
- |                          |      |                           |      |
|--------------------------|------|---------------------------|------|
| ① POWER (I/O) キー         | - 22 | ⑥ インプットセレクターキー/インジケータ     | - 22 |
| ② STANDBY / TIMER インジケータ | - 91 | ⑦ PHONES 端子               | - 23 |
| ③ N.B. CIRCUIT キー/インジケータ | - 23 | ⑧ MD MONITOR キー           | - 49 |
| ④ SURROUND キー/インジケータ     | - 86 | ⑨ EQ. EFFECT キー           | - 86 |
| ⑤ VOLUME つまみ             | - 22 | ⑩ SOURCE DIRECT キー/インジケータ | - 23 |

CDプレーヤー部(DP-MJ9)



- |                               |      |                          |      |
|-------------------------------|------|--------------------------|------|
| ① ディスクトレイ                     |      | ⑥ スキップ(◀◀ / ▶▶) キー       | - 25 |
| ② ディスクイジェクト(▲)キー              | - 24 | ⑦ 停止(■)キー                | - 25 |
| ③ REPEAT キー                   | - 50 | ⑧ 再生/一時停止(▶/  )キー/インジケータ | - 24 |
| ④ RANDOM キー                   | - 51 |                          |      |
| ⑤ ディスクセレクター(再生▶)キー/ディスクインジケータ | - 25 |                          |      |

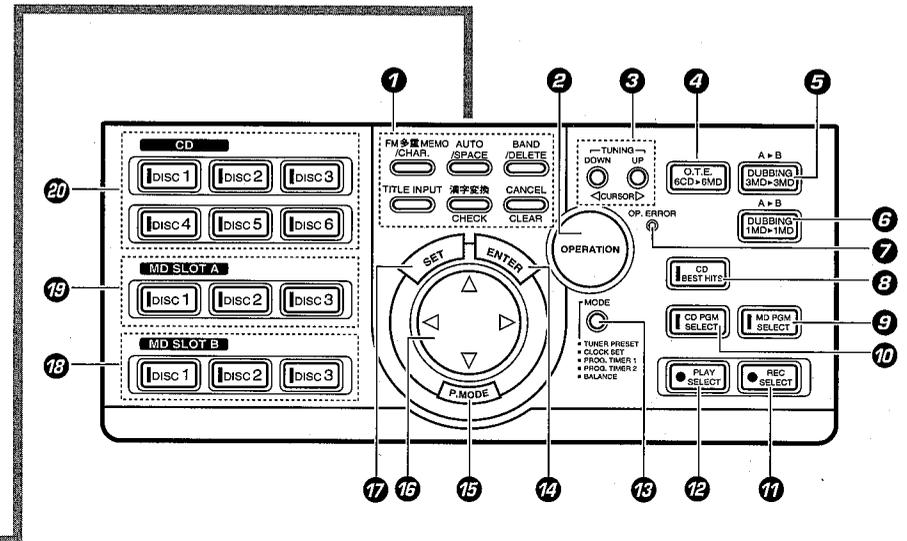
# コントロールセンター部 (C-J9)



ハイパーオペレーティング  
スタジオ

- ① FM多重 ON / OFF キー → 38
- ② メニュー・画面選択 (<, >) キー → 38
- ③ 表示部
- ④ ハイパーオペレーティングスタジオ OPEN / CLOSE キー → 34
- ⑤ P.CALL アップ(▲)、ダウン(▼)キー → 35
- ⑥ MENU / DISPLAY キー → 26
- ⑦ ENTER キー → 38
- ⑧ CLOCK / DEMO キー → 3, 88

# ハイパーオペレーティングスタジオ



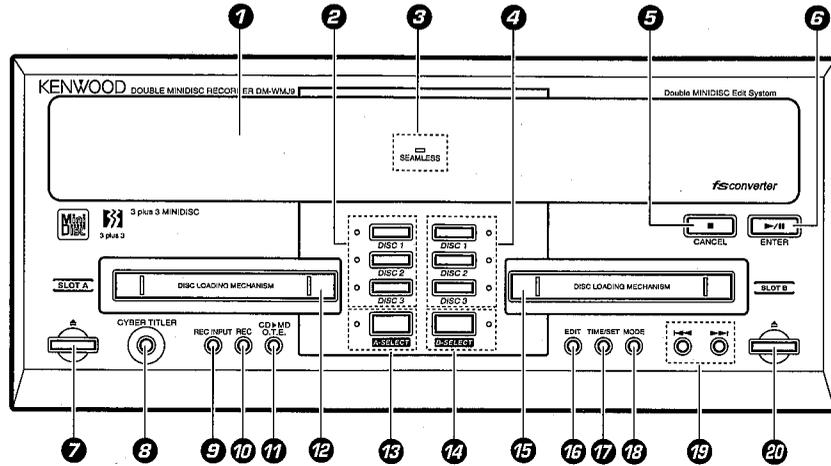
- ① チューナー / MD タイトル入力関連キー  
FM多重 MEMO / CHAR. キー → 39 - 63  
AUTO / SPACE キー → 35 - 63  
BAND / DELETE キー → 34 - 63  
TITLE INPUT キー → 62  
漢字変換 / CHECK キー → 49 - 63  
CANCEL / CLEAR キー → 49
- ② OPERATION キー → 55
- ③ TUNING (UP、DOWN) キー → 34
- ④ O.T.E. (6 CD ▶ 6 MD) キー → 58
- ⑤ MD DUBBING (3 MD ▶ 3 MD) キー → 59
- ⑥ MD DUBBING (1 MD ▶ 1 MD) キー → 60
- ⑦ OP. ERROR インジケータ → 55
- ⑧ CD BEST HITS キー/インジケータ → 48
- ⑨ MD PGM SELECT キー/インジケータ → 56
- ⑩ CD PGM SELECT キー/インジケータ → 56
- ⑪ REC SELECT キー/インジケータ → 55
- ⑫ PLAY SELECT キー/インジケータ → 55
- ⑬ MODE キー → 36 - 87 - 88
- ⑭ ENTER キー → 35
- ⑮ P. MODE キー → 47
- ⑯ マルチセクター → 36 - 47 - 62 - 87 - 88
- ⑰ SET キー → 36
- ⑱ MD SLOT B ディスクセクター  
(DISC 1 ~ DISC 3) キー/インジケータ → 55
- ⑲ MD SLOT A ディスクセクター  
(DISC 1 ~ DISC 3) キー/インジケータ → 55
- ⑳ CD ディスクセクター  
(DISC 1 ~ DISC 6) キー/インジケータ → 55

準備編

準備編

# MDレコーダー部 (DM-WMJ9)

XT-7MD (J)

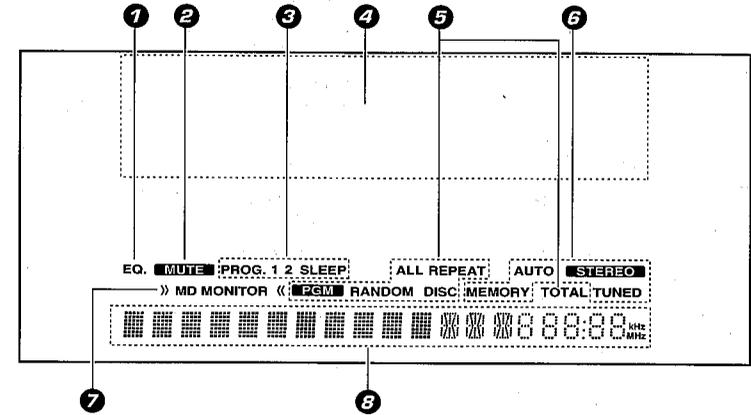


- ① 表示部
- ② スロットA ディスクセレクター/インジケータ
- ③ SEAMLESS インジケータ
- ④ スロットB ディスクセレクター/インジケータ
- ⑤ 停止 (■) / CANCEL キー
- ⑥ 再生/一時停止 (▶/⏸) / ENTER キー
- ⑦ スロットA ディスクイジェクト選択 (▲) キー
- ⑧ CYBER TITLER 端子
- ⑨ REC INPUT キー
- ⑩ レック (録音) キー
- ⑪ CD ▶ MD O.T.E. キー
- ⑫ スロットA ディスク挿入部
- ⑬ A SELECT キー/インジケータ
- ⑭ スロットB ディスク挿入部
- ⑮ B SELECT キー/インジケータ
- ⑯ EDIT キー
- ⑰ TIME/SET キー
- ⑱ MODE キー
- ⑲ スキップ (◀◀ / ▶▶) キー
- ⑳ スロットB ディスクイジェクト選択 (▲) キー

- 28
- 32
- 28
- 28
- 29
- 29
- 29
- 29
- 14
- 42
- 41
- 46
- 28
- 28
- 43 → 70
- 30 → 31
- 31
- 29
- 29

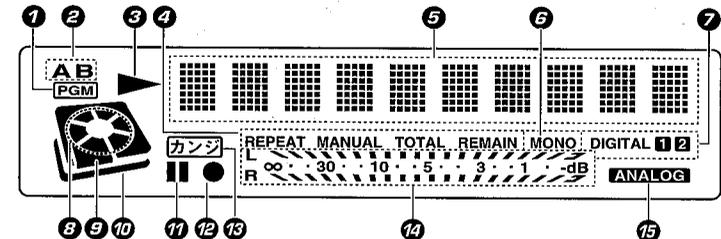
XT-7MD (J)

# コントロールセンター表示部



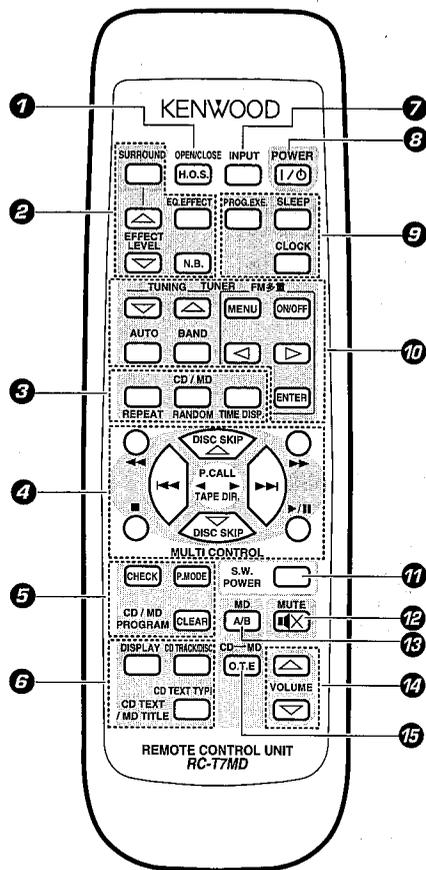
- ① EQ 表示
- ② MUTE 表示
- ③ タイマー関連表示
- ④ 文字情報/イコライザーカーブ表示部
- ⑤ CD 操作関連表示
- ⑥ チューナー関連表示
- ⑦ MD MONITOR 表示
- ⑧ 文字情報、時計、周波数 (kHz、MHz) 表示部
- 86
- 23
- 90
- 92
- 51
- 50
- 51
- 26
- 51
- 47
- 35
- 34
- 34
- 35
- 43

# MDレコーダー表示部



- ① PGM 表示
- ② A / B 表示
- ③ 再生 (▶) 表示
- ④ 各種情報表示部
- ⑤ 文字情報表示部
- ⑥ MONO 表示
- ⑦ DIGITAL 1、2 表示
- ⑧ 走行表示
- ⑨ 録音可能表示
- ⑩ データ読み出し・書き込み表示
- ⑪ 一時停止 (⏸) 表示
- ⑫ 録音 (●) 表示
- ⑬ カンジ (漢字) 表示
- ⑭ ピークレベルインジケータ
- ⑮ ANALOG 表示
- 47
- 29
- 52
- 43
- 30
- 30
- 42
- 41
- 42
- 44

# リモコン部



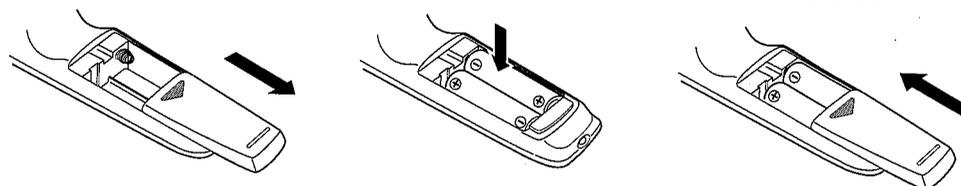
本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ動きをします。

- ① H.O.S. (ハイパーオペレーティングスタジオ)  
オープン/クローズ  
OPEN / CLOSE キー → 34
- ② サウンド関連キー  
SURROUND キー → 85  
EFFECT LEVEL アップ(Δ)、ダウン(▽) キー → 85  
EQ EFFECT キー → 86  
N.B. キー → 23
- ③ CD、MD 特殊再生関連キー  
REPEAT キー → 50 → 52  
RANDOM キー → 51 → 53  
TIME DISP. キー → 26 → 30
- ④ MULTI CONTROL 部  
早送り(▶▶)、早戻し(◀◀) キー → 25 → 29  
再生/一時停止(▶||) キー → 24 → 29  
停止(■) キー → 25 → 29  
DISC SKIP アップ(Δ)、ダウン(▽) キー → 25 → 29  
スキップ(◀◀、▶▶) キー / P.CALL キー → 25 → 29 → 35  
テープ ディレクション  
TAPE DIR. (◀、▶) キー (別売カセットデッキ用)
- ⑤ CD / MD PROGRAM 関連キー  
CHECK キー → 49  
P. MODE キー → 47  
CLEAR キー → 49
- ⑥ CD TEXT / MD TITLE 関連キー  
DISPLAY キー → 26  
CD TRACK / DISC キー → 26  
CD TEXT TYPE キー → 26
- ⑦ INPUT キー → 22
- ⑧ POWER (I/O) キー
- ⑨ 時計 / タイマー関連キー  
PROGRAM EXECUTE キー → 92  
SLEEP キー → 92  
CLOCK キー → 88
- ⑩ TUNER 関連キー  
TUNING アップ(Δ)、ダウン(▽) キー → 34  
AUTO キー → 35  
BAND キー → 34  
FM多重関連キー  
MENU キー → 38  
ON / OFF キー → 38  
メニュー、画面選択(◀、▶) キー → 38  
ENTER キー → 38
- ⑪ S.W. POWER キー
- ⑫ MUTE (M) キー → 23
- ⑬ MD A / B セレクターキー → 28
- ⑭ VOLUME (▽、Δ) キー → 22
- ⑮ CD→MD O.T.E. キー → 46

# リモコンの使いかた

## 電池の入れかた

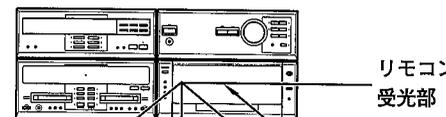
- ① カバーを開く
- ② 電池を入れる
- ③ カバーを閉める



● 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

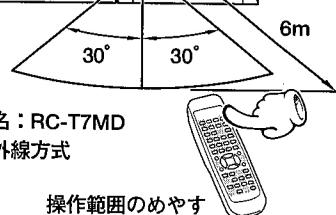
## 操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER (I/O) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。電源をオフ(スタンバイ)にするときは、再度POWER (I/O) キーを押します。



型名：RC-T7MD  
赤外線方式

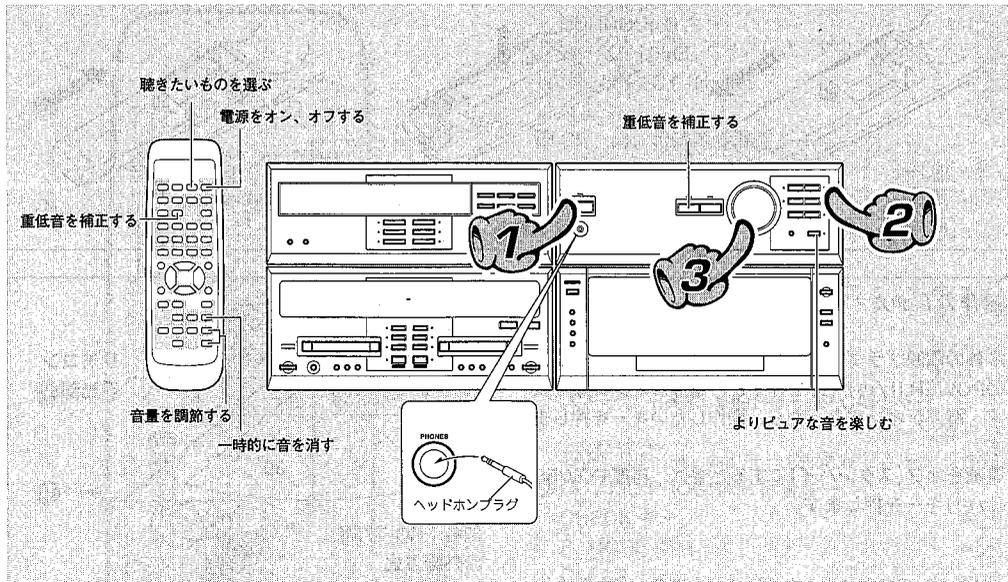
操作範囲のめやす



- 1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
- 2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- 3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

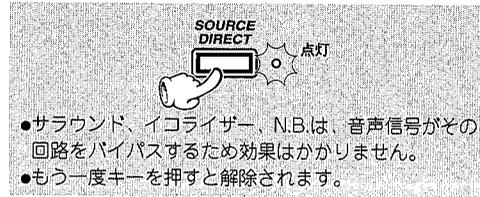
準備編

準備編



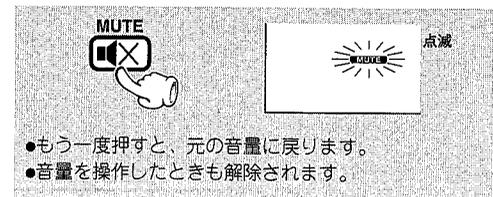
よりピュアな音を楽しむ (SOURCE DIRECT) (本体のみ)

SOURCE DIRECTをオンにすると、信号経路がシンプルになり、音の純度が向上します。



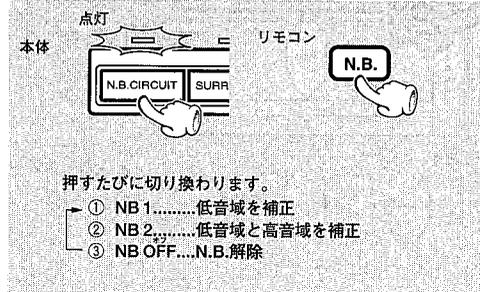
- サラウンド、イコライザー、N.B.は、音声信号がその回路をバイパスするため効果はかかりません。
- もう一度キーを押すと解除されます。

一時的に音を消す (リモコンのみ)



- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

重低音を補正する (N.B. : Natural Bass circuit)



押すたびに切り換わります。

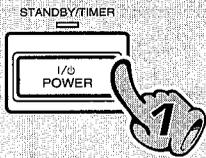
- ① NB 1.....低音域を補正
- ② NB 2.....低音域と高音域を補正
- ③ NB OFF....N.B.解除

ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む
- スピーカーから音が出なくなります。
- ② 音量を調節する
- プラグの抜き差しをするときは、先に音量を絞ってください。

基礎編

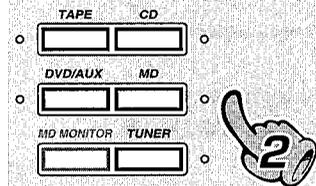
POWER (I/O) キーを押す



1. 電源をオンにする (オフ(スタンバイ)にする)

電源がオンのときにPOWER (I/O) キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

● アンプ部(A-J9)のPOWER (I/O) キーだけで、基本システムの電源オン/オフ(スタンバイ)ができます。

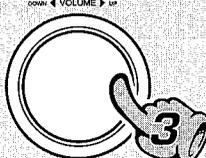


2. 聴きたいものを選ぶ

CD → 24  
MD → 28  
TUNER → 34

- リモコンを使うときは、INPUTキーを繰り返し押し選んでください。
- テープが聴きたい場合は、別紙の説明書とカセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をお読みください。

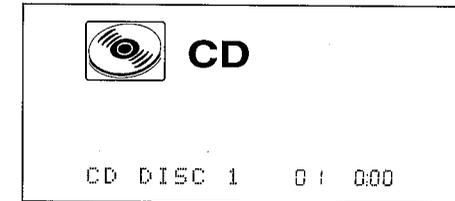
音量を下げる 音量を上げる



3. 音量を調節する

- 早く回すと、変化量が大きくなります。(AI VOLUME機能)
- 表示部に目安の数字が表示されます。

CDを選んだとき



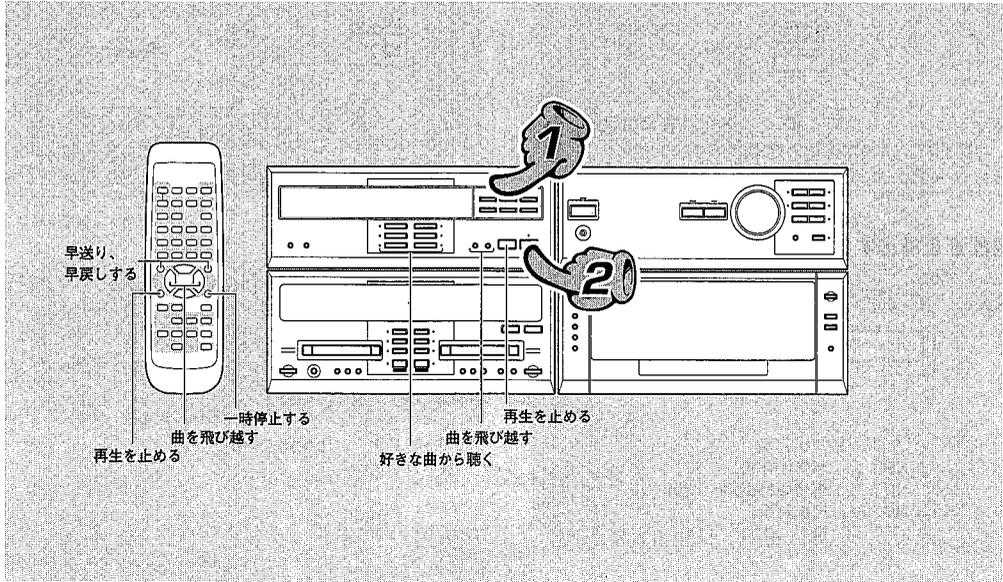
音量の表示

スタンバイ・モードについて

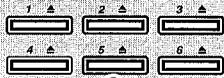
本機では電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源オフ(スタンバイ)時にSTANDBY/TIMERインジケータが点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。

基礎編

6枚のディスクを収納できます。また、再生中にも他の5枚のディスクの入れ替えができます。

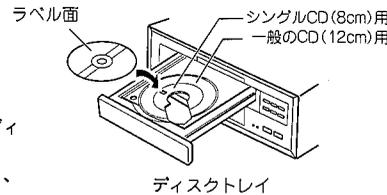


## 1. ディスクを入れる



- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

①～③を繰り返して、6枚までディスクを収納できます。ディスクを2枚以上重ねていれると、故障の原因になります。



## 2. 再生をはじめる

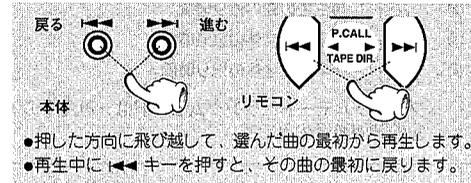
手順1. で入れたディスク番号のキー (DISC1～DISC6) を押して再生することもできます。

●好きなディスクから聴くときは、DISC1～DISC6 (ディスクセレクター) キーで選んでください。

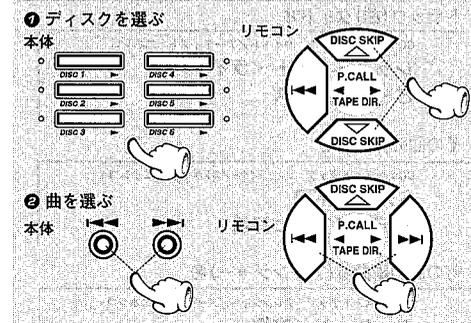
### ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。また、再生面には触れないようにしてください。

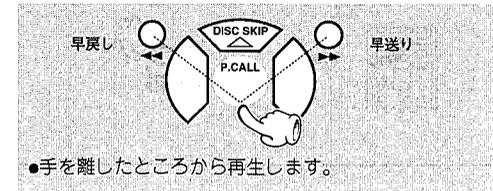
### 曲を飛び越す



### 好きな曲から聴く



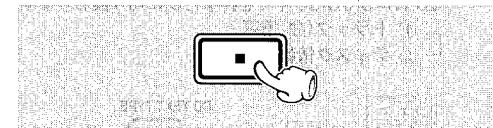
### 早送り・早戻しする (リモコンのみ)



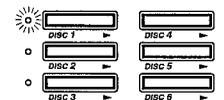
### 一時停止する



### 再生を止める



開いたトレイの番号のインジケーターが点滅します。



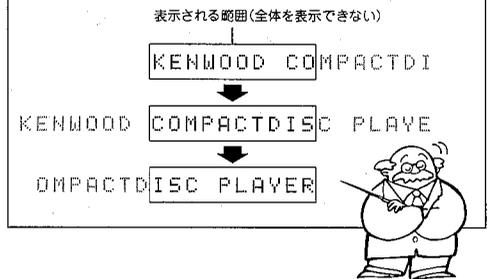
- キーを押すとその番号のトレイが開き、もう一度押すと閉まります。トレイが開いているときに別の番号キーを押すと、開いているトレイが閉まってから、押した番号のトレイが開きます。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは使用できません。



### 表示部のスクロールについて

CD-TEXTのディスクの場合、ディスクのタイトルや曲のタイトルなど、情報の量が多すぎると表示部に入りきれないことがあります。これを防ぐため、表示部の文字は右から左に流れて、それまで見えなかった内容が現れます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。

スクロールのイメージ



### ディスクの置きかた

ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

### ⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

## CDプレーヤーの時間表示について

TIME DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。



リモコン



TIME DISP.

- ① 1:23 再生中の曲の経過時間
- ②- 2:37 再生中の曲の残り時間
- ③ <sup>TOTAL</sup> 2:34.5 ディスク全体の経過時間
- ④- <sup>TOTAL</sup> 3:6:15 ディスク全体の残り時間

●プログラムモードとランダムモードは、再生中の曲の時間表示のみです。

## CDの文字情報を切り換える (再生中のみ)

ディスクがCD-TEXT対応の場合、下記の操作をすることにより、様々な情報のタイプを切り換えることができます。



リモコン

再生中に押す



CD TRACK/DISC

CD TRACK/DISC キーを押すたびに切り換わります。

- ① トラック(曲)情報
- ② ディスク情報



リモコン

再生中に押す



CD TEXT TYPE

CD TEXT TYPE キーを押すたびに切り換わります。

- ① タイトル/アーティスト:  
トラック(曲)名またはディスク名/その曲のアーティスト(または演奏者)名またはそのディスクのアーティスト(または演奏者)名
- ② ソングライター/コンポーザー:  
その曲の作曲者名、またはそのディスクの作曲者名
- ③ アレンジャー/メッセージ:  
その曲、またはそのディスクの編曲者(アレンジャー)名/メッセージ

## ① トラック(曲)タイトル

CDテキストトラック タイトル/アーティスト ニホンゴ  
レット・イット・ライド  
ピーチボーイズ

## ② その曲の作曲者名

CDテキストトラック ソングライター/コンポーザー ニホンゴ  
ミルトン下野  
モディリアーニ野呂

## ③ その曲の編曲者(アレンジャー)名

CDテキストトラック アレンジャー/メッセージ ニホンゴ  
フェルナンド高橋  
ケンウツのXT-7MDはCD-TEX

●表示するテキスト情報がない場合は、  
"\*NO TEXT\*"とスクロール表示されます。



## CDの文字情報の言語を切り換える (再生中のみ)

ディスクがCD-TEXT対応の場合、タイトル表示の言語(日本語または英語)を切り換えることができます。

CDテキスト表示中にMENU/DISPLAYキーを押す

- リモコンのDISPLAYキーでも切り換えることができます。



本体

MENU/DISPLAY



MENU/DISPLAY キーを押すたびに切り換わります。

- ① ニホンゴ：日本語表示
- ② エイゴ：英語表示

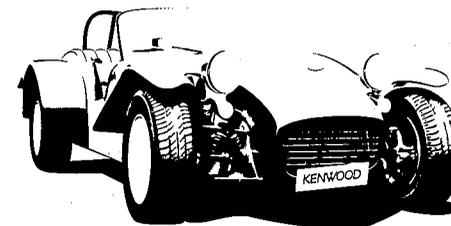
## ① 日本語表示

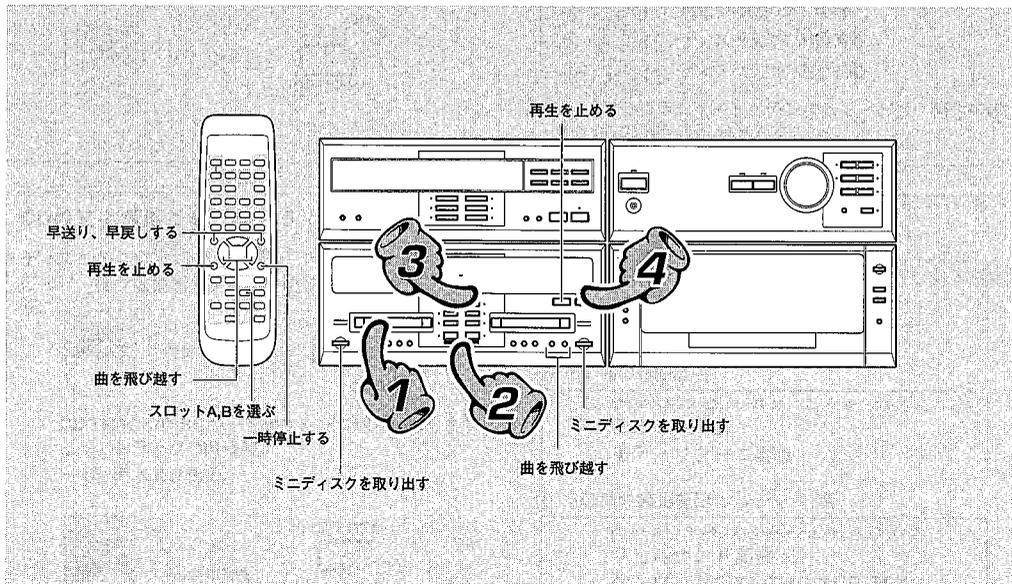
CDテキストトラック タイトル/アーティスト ニホンゴ  
レット・イット・ライド  
ピーチボーイズ

## ② 英語表示

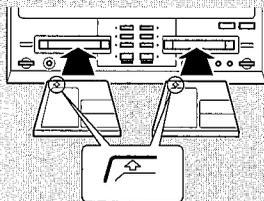
CDテキストトラック タイトル/アーティスト エイゴ  
LET IT RIDE  
PEACH BOYS.

●表示するテキスト情報がない場合は、  
"\*NO TEXT\*"とスクロール表示されます。





## 1. ミニディスクを入れる



矢印の方向に入れる

- ① 入れたいスロット側のDISC1～DISC3を押す
- ② で選んだスロット側にミニディスクを入れる

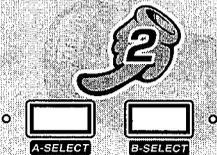
①、②を繰り返して、6枚までミニディスクを収納できます。ミニディスクを本機の挿入部に確実に差し込んでください。

●スロット Aまたはスロット Bのディスクインジケータが、3つ同時に点滅しているときは、ミニディスクを入れないでください。

ディスクインジケータの色と、そのミニディスクの状態は次のようになっています。

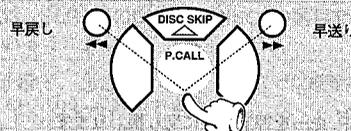
赤色: ミニディスクが収納されている状態  
 オレンジ色: ミニディスクが収納されている、かつ選ばれている状態  
 赤色とオレンジ色点滅: 再生中または録音中  
 黄緑色点滅: 次にミニディスクが収納されるディスクナンバー (数秒間点滅したあと、消灯します)

## 2. スロットAまたはスロットBを選ぶ



●スロット A SELECTキー、またはスロット B SELECTキーを押します。手順1.でミニディスクを入れた方を選んでください。

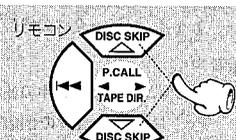
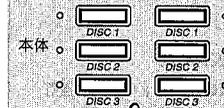
## 早送り、早戻しする (リモコンのみ)



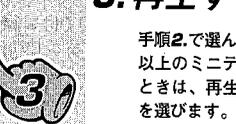
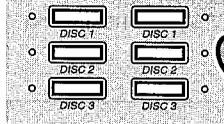
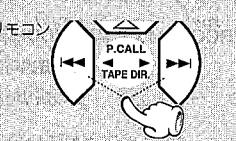
- 操作を止めた所から、再生が始まります。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。

## 好きな曲から聴く

### ① ミニディスクを選ぶ



### ② 曲を選ぶ



## 3. 再生するミニディスクを選ぶ

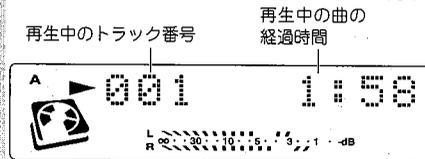
手順2.で選んだスロット側に、2枚以上のミニディスクが入っているときは、再生したいミニディスクを選びます。

●既に選ばれている (インジケータ: オレンジ色) DISC1～DISC3キーを押すと再生が始まります。

## 4. 再生をはじめる

手順3.で選んだディスク番号のキー (DISC1～DISC3) を押して再生することもできます。

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲の最初にトラックタイトルを表示します。
- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのP.MODEキーを押して消灯させてください。



**注意** レーザー光源をのぞかない  
 レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。

ミニディスクを、イジェクトしたまま、挿入口に放置しないでください。同じスロットの他のミニディスクの録音、再生ができない場合があります。

## 曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に<←>キーを押すと、その曲の最初に戻ります。

## 一時停止する

- 再生・一時停止 (▶/⏸) / ENTERキーを押す
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わりします。

## 再生を止める

●停止 (■) / CANCELキーを押す

## ミニディスクを取り出す (本体のみ)

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト (▲) キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー (DISC1～DISC3) を押す

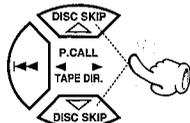


### MDレコーダーの時間表示について

MDレコーダー部の時間表示のタイプを切り換えることができます。

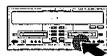
#### ① 時間表示したいディスクを選ぶ

リモコン

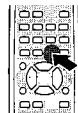


#### ② 時間表示のタイプを選ぶ

本体



リモコン



入力切替がMDの場合

●MDをMDに録音(ダビング)する場合、録音側の時間表示は全体の録音可能時間のみになります。

TIME DISP. キーを押すたびに切り換わります。

再生中、停止中

- ① 0:00 0:00表示、または再生中の曲の経過時間
- ② -3:24 曲の残り時間
- ③ 52:00 全体の合計記録時間(+); "TOTAL"点灯
- ④ -11:00 全体の合計記録時間(-); "TOTAL"点灯
- ⑤ 11:00 全体の録音可能時間; "REMAIN"点灯

録音中

- ① 1:23 録音中の曲の経過時間
- ② 63:00 全体の合計記録時間(+); "TOTAL"点灯
- ③ 11:00 全体の録音可能時間; "REMAIN"点灯

PROGRAMまたはRANDOM再生中

- ① 2:16 曲の経過時間
- ② -3:24 曲の残り時間

- 1曲も録音されていない場合、"——" 0:00"と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)
- 再生専用MDでは、録音可能時間("REMAIN"点灯)は表示できません。

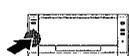
### MDのタイトルのタイプを切り換える (再生中のみ)

再生中のMDにタイトルがつけられている場合、タイトルのタイプ(漢字エリアまたはカナエリア)を切り換えることができます。

"本機で入力できる文字について" -[69]

MDタイトル表示中にMENU/DISPLAYキーを押す

- リモコンのDISPLAYキーでも切り換えることができます。



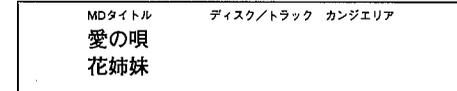
本体



MENU/DISPLAY キーを押すたびに切り換わります。

- ① カンジエリア: 漢字エリア
- ② カナエリア: カナエリア

#### ① 漢字エリア



#### ② カナエリア



●表示するテキスト情報がない場合は、"\*NO TITLE\*"とスクロール表示されます。

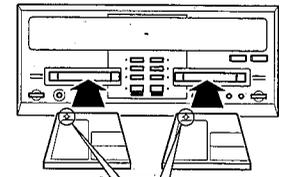
### モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

## リレー再生

スロットA、またはスロットBに最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておく、SLOT AのDISC1~DISC3、SLOT BのDISC1~DISC3の順番でセットされているミニディスクを再生します。

手順②で、録音済みミニディスクでは録音禁止にしないと、リレー再生できません。 -[102]



録音済みのMD、または再生専用MD

録音済みのMD、または再生専用MD

矢印の方向に入れる

#### ① 入力切替を"MD"にする



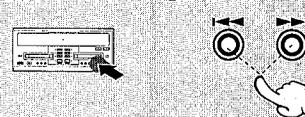
#### ② SLOT A、またはSLOT Bに録音済み、または再生専用のミニディスクを入れる

- SLOT A、B両方にミニディスクをセットした場合は、A-SELECTキーを押してSLOT A側を選んでください。

#### ③ MODEキーを押す



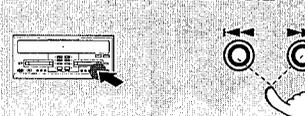
#### ④ <<<>>>キーで"PLAY MODE"を選ぶ



#### ⑤ TIME/SETキーを押して設定項目の変更へ移る



#### ⑥ <<<>>>キーを押して、"TRACK"を選ぶ



#### ⑦ TIME/SETキーを押して確定する



#### ⑧ 再生・一時停止(>||)キーを押して、リレー再生をスタートさせる



次の中から選びます

<<<>>>キーを押すたびにSLOT A側の表示が切り換わります。

- ① "PLAY MODE"
- ② "TRACK MARK"
- ③ "ANALOG REC"
- ④ "CDテキストコピー"
- ⑤ "D.タイトルコピー"
- ⑥ "シームレス REC"

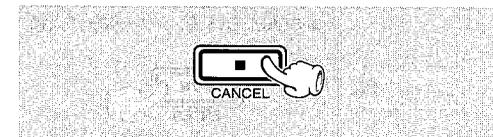
次の中から選びます

<<<>>>キーを押すたびにSLOT B側の表示が切り換わります。

- ① "TRACK": トラックモード
- ② "PROGRAM": プログラムモード
- ③ "SEAMLESS": シームレスモード

●リレー再生が終了すると、自動的に停止します。

### リレー再生を止めるには



## シームレス再生

リレー再生の機能に加えて、ミニディスク間の音の途切れをなるべく短くする機能です。

SLOT A、SLOT Bに最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておく。SLOT AのDISC1→SLOT BのDISC1→SLOT AのDISC2→SLOT BのDISC2...の順番でセットされているミニディスクを再生します。

## ① 入力切換を"MD"にする



## ② SLOT A、またはSLOT Bに録音済み、または再生専用のミニディスクを入れる

- A-SELECTキーを押してSLOT A側を選んでください。

## ③ 再生を始めたディスクを選ぶ

## ④ MODEキーを押す



## ⑤ ◀▶▶▶キーで"PLAY MODE"を選ぶ



## ⑥ TIME/SETキーを押して設定項目の変更へ移る



## ⑦ ◀▶▶▶キーを押して、"SEAMLESS"を選ぶ

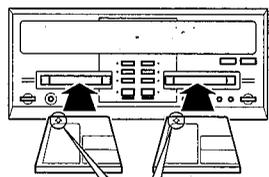
- SEAMLESSインジケータが点灯します。



## ⑧ TIME/SETキーを押して確定する

## ⑨ 再生・一時停止(▶||)キーを押して、シームレス再生をスタートさせる

- SEAMLESSインジケータが点滅します。



録音済みのMD、または再生専用MD

録音済みのMD、または再生専用MD

矢印の方向に入れる

次の中から選びます

◀▶▶▶キーを押すたびにSLOT A側の表示が切り換わります。

- ① "PLAY MODE"
- ② "TRACK MARK"
- ③ "ANALOG REC"
- ④ "CDテキストコピー"
- ⑤ "D.タイトルコピー"
- ⑥ "シームレス REC"

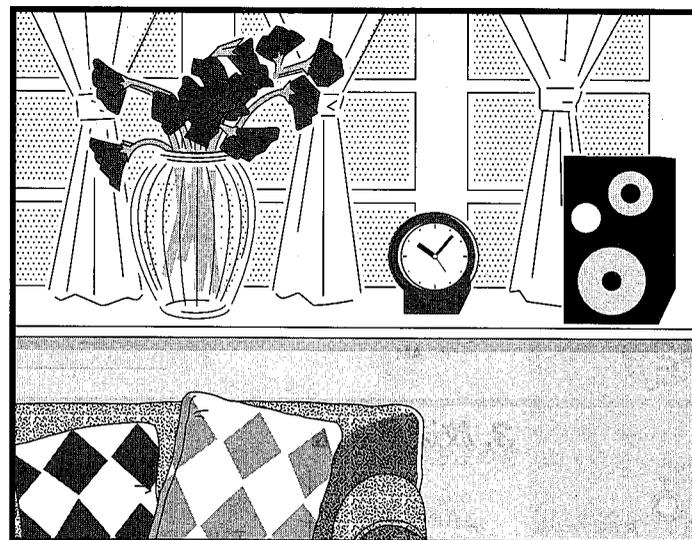
次の中から選びます

◀▶▶▶キーを押すたびにSLOT B側の表示が切り換わります。

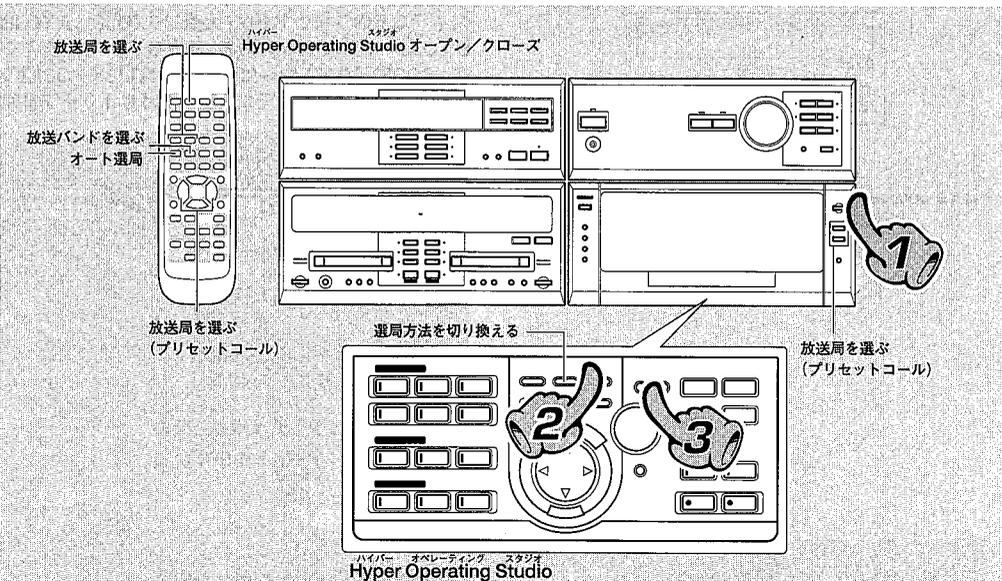
- ① "TRACK": トラックモード
- ② "PROGRAM": プログラムモード
- ③ "SEAMLESS": シームレスモード

- シームレス再生が終了すると、自動的に停止します。

シームレス再生を止めるには



ハイパー オペレーティング スタジオ  
Hyper Operating Studioで操作します。放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。

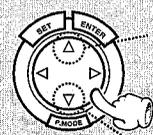


放送局を一つずつ記憶させる(プリセット)

① 受信中にENTERキーを押す



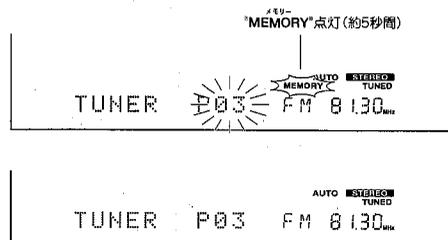
② Δ マキーを使って1から40のプリセットナンバーを選ぶ



プリセットナンバーが上がる

プリセットナンバーが下がる

③ もう一度ENTERキーを押して確定する



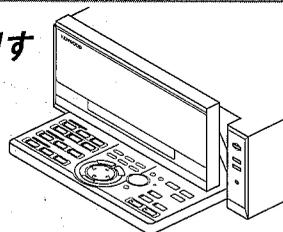
- プリセットを続けるときは、手順①～③を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

OPEN/CLOSE



オープン クローズ  
1. OPEN/CLOSEキーを押す

ハイパー オペレーティング スタジオ  
Hyper Operating Studioが出てきます。



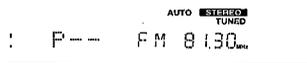
BAND/DELETE



2. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM

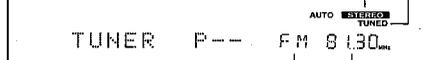


TUNING DOWN UP



3. 放送局を選ぶ

受信すると「TUNED」が点灯  
ステレオ受信時に点灯



放送局を記憶させていない場合

放送バンドの表示 周波数の表示

オート選局のとき：1回押すと、次の放送局を自動的に受信します。  
マニュアル選局のとき：希望する周波数に合わせます。

本体



リモコン



プリセット  
ナンバーが  
下がる

プリセット  
ナンバーが  
上がる

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

- ▲、▶を押すと... 1 → 2 → 3 ..... 38 → 39 → 40 → 1 .....
- ▼、◀を押すと... 40 → 39 → 38 ..... 3 → 2 → 1 → 40.....

●押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。



選局方法の切り換えについて



押すたびに切り換わります。  
① "AUTO"点灯 (オート選局)  
② 消灯 (マニュアル選局)

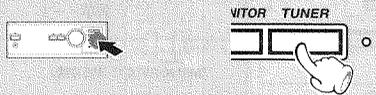
電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にします。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります)

●通常はAUTO(オート選局)にしておきます。

## 放送局をオートプリセットする (エリア別FM放送局名自動表示)

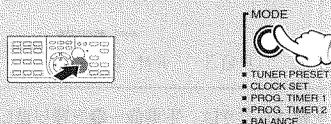
お住まいの地域で受信できる放送局を自動的にプリセットすることができます。このとき都道府県名を登録しておく、放送受信時に放送局名が表示されます。(FM放送のみ 放送局名リスト -37)

① 入力切換を「TUNER」にする

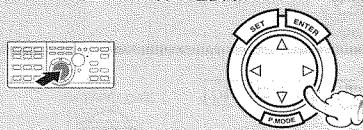


② MODEキーを押す

一番初めは、「ケンメイ ミセッテイ」と表示されます。



③ Δ▽キーでお住まいの都道府県名を選択する



④ ENTERキーを押して確定する

オートプリセットを始めます。



⑤ 記憶した放送局を受信する(プリセットコール)

プリセットナンバーが上がる



プリセットナンバーが下がる

### 希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押すと放送局名を変えることができます。



オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。



東京でNHK-FM(82.5MHz)を受信しているとき

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、「ケンメイ ミセッテイ」と表示されます。



トウキョウを選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を登録したときは、「放送局名リスト」に従ってオートプリセットされます。リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。



FM受信中は放送局名が表示されます

- 受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合、および「TUNED」が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- 都道府県名を登録していない場合でも、受信可能な放送局を最大40局まで自動的にプリセットします。ただし、放送局名は表示されません。

## 放送局名リスト

1997年10月現在

	放送局	表示名
全国ネット	NHK-FM	NHK-FM
	エフエム北海道 エフエム・ノースウェーブ	AIR-G' north wave
北海道地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	FMセンダイ
	エフエム秋田	Co-much FM
	エフエム山形	FMヤマガタ
東北地方	エフエム福島	フクシマFM
	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ハウソウダイガク
関東地方	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
中部地方	エフエム富士	FM-FUJI
	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
九州・沖縄地方	エフエム石川	FMイシカワ
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
中部地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまくに	FM802
近畿地方	関西インターメディア	FM COCOLO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
中国・四国地方	エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FMコウチ
	エフエム福岡	FM FUKUOKA
九州・沖縄地方	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	FMナガサキ
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
	エフエム鹿児島	ミュ-FM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
九州国際エフエム	Love FM	

## FM文字多重放送の文字情報を見る (見えるラジオ)

FM文字多重放送は、放送内容をいったん本機内部に蓄えるため、表示に時間がかかります。

また、ニュースなどの一度に表示できないものは、新聞のように何ページにもわたることがあります。その際はページをめくるようにして見るができます。

① FM放送を受信する

② メニュー・画面選択 (< >) キーで  
見たい情報を選ぶ

③ ENTERキーを押して確定する

④ ②と③を繰り返して、見たい情報  
を選びます。情報の種類は受信し  
ている放送局によって、異なりま  
す。

メニュー画面に戻りたいときは、MENU/DIS-  
PLAYキーを押して戻します。

●放送の受信状態が悪かったり、受信中のFM放送が文字多重放送を行っていない場合は、数十秒後に"データ受信できません"と表示されます。

メニュー画面の表示例

カーソルで選ばれている情報

TFM ミエララジオ オンデモンセン! ミテミテ!  
<ミエラ>が木曜G1グループで育成中>  
1.パンダ情報 2.ニュース 3.天気

カーソルで選ばれている情報

TFM ミエララジオ Sportチャンネルニチュウモク!  
1.ニュース 2.スポーツ  
3.ビジネストレンド

TFM ミエララジオ News チャンネル  
アローラXT-7MDは、見えるラジ  
オ機能を搭載した新製品です

●すべての情報の受信を完了していないときは、途中のページが抜けた状態で表示されます。

### FM文字多重放送の受信を止めるには

FM多重ON/OFFキーを押して、オフにする

●FM多重局受信後は、オフにするまでFM多重表示されます。

### メニュー画面に戻れなくなったときは

FM多重ON/OFFキーを押して、一旦オフにしてから、再度オンにしてください。



### いつでも文字情報を表示させたいときは

インプットセレクターがTUNER以外のときも、FM多重ON/OFFキーを押すと、FM文字多重放送の文字情報を表示します。

●あらかじめFM多重放送局を受信していることが必要です。

### ページを自動でめくるには

手順④で見たい情報を選んだ後は、新しいページが受信完了すると、自動でページはめくられます。

### ページを手動でめくるには

メニュー・画面選択 (< >) キーで必要なページまで戻す、または進める。

●新しいページが受信完了しないと、ページを進めることはできません。

## FM文字多重放送の文字情報を記憶する (記憶した文字情報を削除する)

FM文字多重放送の番組情報(現在放送中の曲の曲名、アーティスト名)などを一時的に記憶できる大変便利な機能です。いったん、記憶した文字情報は、後でその曲を録音したミニディスクに曲のタイトルとしてつけることができます。

"FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する"

- [66]



① "FM文字多重放送の文字情報を見る"の①~③を行なって記録したい情報を選ぶ

② 記録したい文字情報が表示されたら、FM多重MEMO/CHAR.キーを押す

③ Δ▽キーで1~20までの番号から空いている番号を選ぶ

"\*NO DATA\*"と表示される番号を選びます

④ ENTERキーを押して、確定する

"セーブされました!"と表示されます

FMタグジュエータ セーブ

1 「秋桜の詩」 花姉妹

2 \*NO DATA\*

空いている番号を選びます

記憶したデータを消すには

- ① FM文字多重放送の文字情報の表示中にFM多重MEMO/CHAR.キーを押す
  - ② Δ▽キーで1~20までの番号から消したい番号を選ぶ  
"\*NO DATA\*"以外の番号を選びます
  - ③ 消したい番号にカーソルを合わせて、BAND/DELETEキーを押す
  - ④ "消去してもいいですか?"と表示されたら、ENTERキーを押して、確定する  
手順②、③、④を繰り返して、データを消します
  - ⑤ もう一度FM多重MEMO/CHAR.キーを押して、文字情報の表示に戻す
- データをすべて消すときは、POWER (I/O) キーを押します。

### FM文字多重放送について

本機ではFM音声放送が受信できる以外に、音声放送の周波数帯域に追加された文字情報を、通常の音声放送を聴きながら同時に見ることができます。

FM文字多重放送は全国JFN系列の「見えるラジオ」、J-WAVE、FM802などのJFL加盟局、主要8都市のNHK-FMで受信可能です。

文字情報は音声放送に合わせた内容の情報(番組情報)や、音声放送内容とは別の情報(ニュース、交通情報、天気予報など)(独立情報)があります。

#### 番組情報:

受信中のFM音声放送に関する内容の情報です。放送中の曲のタイトル、アーティスト名、リクエスト受付電話番号、プレゼントの応募宛先などFM音声放送の番組に合わせた内容です。

#### 独立情報:

FM音声放送の番組内容とは関係なく、独立した内容の情報です。ニュース、天気予報、交通情報などがあります。

表示メッセージについて:

以下の表示メッセージには次のような意味があります。

受信中の放送局がFM文字多重放送局か確認中:

FMタグジュエータ データジュエント

☆ しばらくお待ちください

受信中の放送局からFM文字多重用のデータが得られない場合:

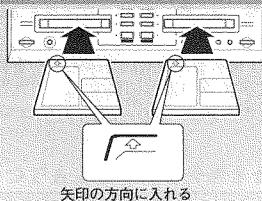
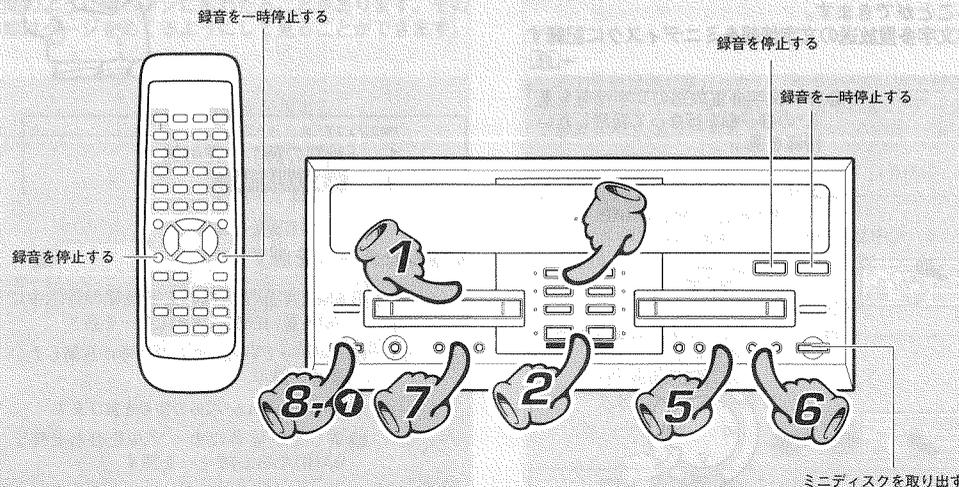
データ受信できません!

FM文字多重放送受信モードがオフになっている場合:

☆ FM多重モードOFF

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。

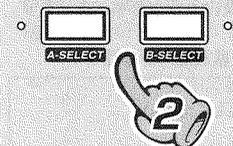
アナログ録音の際、音にSRS3Dの効果をかけると、効果のかかった音で録音できます。 [89]



矢印の方向に入れる

## 1. 録音の準備をする

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする [102]
- ② スロットA、またはスロットB挿入部にミニディスクを入れる [28]
- ③ SLOT AまたはSLOT Bのディスクインジケータが3つ同時に点滅しているときは、ディスクを入れないでください。



## 2. SLOT AまたはSLOT Bを選ぶ

- A SELECTキー または B SELECTキーを押します
- ④ 選ばれた方のインジケータが点灯します。

## 3. 録音するディスクを選ぶ

選ばれたミニディスクのインジケータがオレンジ色の点灯になります。

録音可能時間を確かめる [30]



録音可能な残り時間の表示 (REMAIN表示のとき)

## 録音を一時停止する

再生一時停止(▶/||)/ENTERキーを押す

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。
- REC(録音)キーを押しても録音を始めることができません。

## 録音を停止する

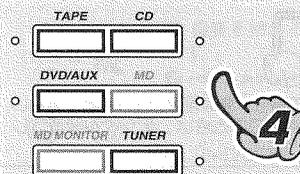
停止(■)/CANCELキーを押す

MDの録音中は、CT-H90(サイバータイタラー;別売)からの記録はできません。

ディスプレイのメッセージについて  
ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている。 → [78]
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている。 → 閉める。
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである。 → 録音用ミニディスクを入れる。

## アンプ部(A-J9)



## 4. 何を録音するか選ぶ

- DVD/AUX : アナログ録音
- TAPE : アナログ録音
- TUNER : アナログ録音
- CD : デジタルまたはアナログ録音
- デジタル機器を接続したときの録音 [42]

●カセットデッキ(別売)から録音する場合は、付属の取扱説明書をお読みください。



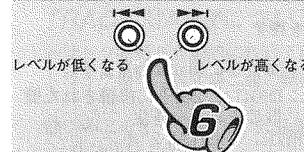
デジタル録音のときは手順7へ

## 5. 曲番号の付け方を選ぶ

- ① MODEキーを押す
- ② ◀▶キーで"TRACK MARK"を選び、TIME/SETキーで確定する
- ③ もう一度◀▶キーで"AUTO"を選び、TIME/SETキーで確定する



MANUAL消灯  
通常はAUTOにしておきます。



## 6. 録音レベルの調節をする (アナログ録音のみ)

- ① 録音するソースを再生する
- ② REC(録音)キーを押して、録音一時停止にする
- ③ 録音レベルを調節する
- ④ MDと、録音するソースを停止する
- ∞dB~0dB(81ステップ)の範囲で調節できます。
- ピークレベルインジケータの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。



## 7. 録音をはじめ

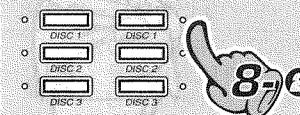
- ① REC(録音)キーを2回押して、録音を始める
- ② 録音する音楽ソースを再生する



## 8. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す

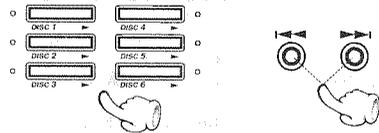


"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

## CDから録音するときのポイント

次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(GD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

## ① 録音したいディスクまたは曲を選ぶ



## ② CDを一時停止にする



## ③ CDプレーヤーの◀◀キーを1回押す



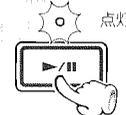
選んだディスク(曲)の最初で一時停止になります。

## ④ MDレコーダーを録音一時停止にする



REC(録音)キーを1回押すと、録音一時停止状態になります

## ⑤ CDの再生を始める



●アナログ録音の場合、曲の冒頭の音が録音できないことがあります。このときは、デジタル録音にしてください。

レック インプット  
REC INPUTキーの使いかた

CDからデジタル録音したMDの再生レベルが適当でない(大きすぎる、または小さすぎる)とき、REC INPUTキーを使ってアナログ録音にすると、録音レベルを調節することができますので、最適なレベルで録音し直すことができます。

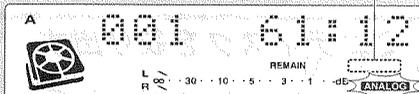


## 入力切替がCDの場合

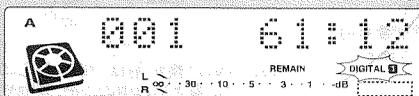
REC INPUTキーを押すたびに切り換わります。

- ① "DIGITAL1": CDのデジタル録音
- ② "ANALOG": CDのアナログ録音

## アナログ入力選ばれている場合



## デジタル1入力選ばれている場合

デジタル  
DIGITAL 2に接続された機器を録音するとき

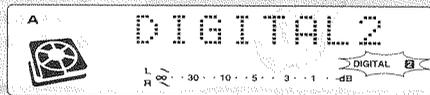
入力切替がMDで停止中のとき、DIGITAL 2端子に接続された機器をREC INPUTキーで選ぶことができます。RECキーを押すと、DIGITAL 2端子に接続された機器をデジタル録音することができます。 "MDに録音する"-40

## ① REC INPUTキーを押す

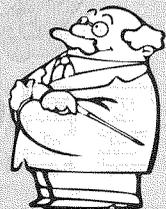
REC INPUTキーを押すたびに切り換わります。

- ① "DIGITAL 2": DIGITAL 2端子に接続された機器のモニター再生
- ② "DIGITAL 2"消灯: "DIGITAL 2"オフ

## ② REC キーを2回押す



●DIGITAL 2端子に何も接続されていないときは、点滅表示になります。



## 録音の途中でMDの音をモニターするには (MDモニター機能)

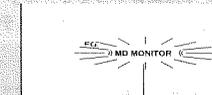
本機では、録音中のMDレコーダーの音をモニターすることができます。MD MONITORキーを録音中に押すことで、ソースの音と録音中の音を比較することができます。

## ① 録音を始める

## ② 入力切替のMD MONITORキーを押す



MD MONITORが選ばれているとき



点減

MD MONITORキーを押すたびに切り換わります。

- ① "MD MONITOR": MDの音をモニター中
- ② 消灯: MDモニター解除

●SOURCE DIRECTをオンにしているときは、モニターできません。

モード  
MODEキーの使い方

## ① 録音を始める前にMODEキーを押す

## ② ◀◀、▶▶キーを押して目的の設定を選ぶ



●"PLAY MODE"は除きます。

## ③ TIME/SETキーを押して確定する



●確定されると、SLOT A側に表示され、次に選ぶ項目がSLOT B側に表示されます。

## ④ ◀◀、▶▶キーを押して目的の設定値を選ぶ



## ⑤ TIME/SETキーを押して確定する

## ①~⑤を繰り返して必要な設定をすべて行う

◀◀、▶▶キーを押すたびにSLOT A側の表示が切り換わります。

- ① "PLAY MODE"
- ② "TRACK MARK"
- ③ "ANALOG REC" ←
- ④ "CDテキストコピー"
- ⑤ "D. タイトルコピー"
- ⑥ "シームレス REC"

●①は再生に関する設定、②~⑥は録音に関する設定を行います。

トラック マーク  
TRACK MARKについて ("TRACK MARK"を選んだとき)

トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手でトラック番号を付けるかを切り換えます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

- ① "MODEキーの使い方"の手順を行い、"AUTO"または"MANU"を選ぶ
- ② TIME/SETキーを押して確定する

- ① "AUTO": トラック番号を自動的に付ける
- ② "MANU": トラック番号を録音中または録音後に手で付ける

## AUTO

録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除できます。

●このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。

## MANUAL

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中または録音後、トラック番号を付けることができます。

ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽をミニディスクに録音するときなどに便利です。

●録音中にEDITキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

## 次のページにつづく

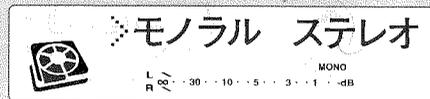
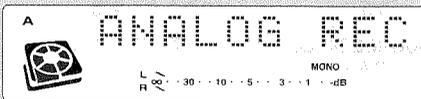
- 1. CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"1曲消す(TRACK ERASE)"、"全曲消す(ALL ERASE)"または"曲をまとめて消す(QUICK ERASE)"を参照して削除してください。 -[78]~-[91]
- 2. AUTOモードで、1曲が極端に短いと、トラック番号が正確に繰り上がらない場合があります。

### モノラル録音するには ("ANALOG REC"を選んだとき)

本機は、ミニディスクをモノラル録音できます。モノラルモードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、記録時間(再生時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

- ① "MODEキーの使い方"の手順を行い、"ステレオ"または"モノラル"を選ぶ
- ② TIME/SETキーを押して確定する

- ① "ステレオ" : 通常のステレオ録音モード
- ② "モノラル" : モノラル長時間録音モード



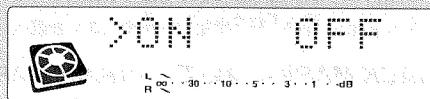
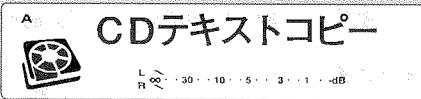
### CD-TEXTディスクの文字情報をMDにコピーするには ("CD テキストコピー"を選んだとき)

ワンタッチエディット録音と、Hyper Operating Studioを使った編集録音で、録音しようとしているCDがCD-TEXTのディスクの場合、その文字情報をミニディスクに記録する、しないを切り換えます。(英数字、記号のみ。一部の文字を除く)

- ① "MODEキーの使い方"の手順を行い、"OFF"または"ON"を選ぶ
- ② TIME/SETキーを押して確定する

- ① "OFF" : CDのテキスト情報をMDにコピーしない
- ② "ON" : CDのテキスト情報をMDにコピーする

CDのテキストコピー禁止の情報がある場合や、極端に短い曲(5秒以下)を録音した場合、テキストをコピーできないことがあります。

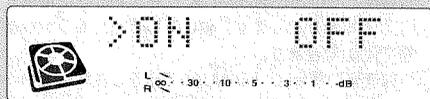
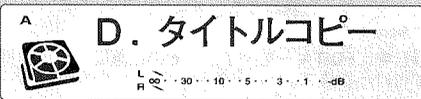


### CD、MDのディスクタイトルをコピーするには ("D. タイトルコピー"を選んだとき)

ワンタッチエディット録音(ダビング)と、Hyper Operating Studioを使った編集録音で、録音するときにコピー元のCDまたはMDに付けられているディスクタイトルをコピー先のMDにも付けるかどうかを切り換えます。(CDは、CD-TEXTのディスクのみ)

- ① "MODEキーの使い方"の手順を行い、"ON"または"OFF"を選ぶ
- ② TIME/SETキーを押して確定する

- ① "OFF" : CDまたはMDのディスクタイトルをMDにコピーしない
- ② "ON" : CDまたはMDのディスクタイトルをMDにコピーする

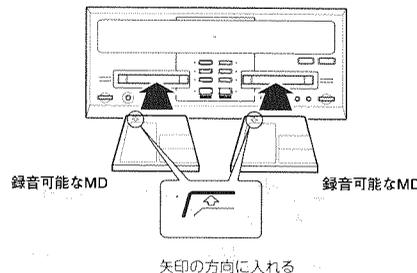


コピー先のMDに録音以前にディスクタイトルが付けられている場合、1曲のみ録音する場合、プログラム録音の場合は、ディスクタイトルコピーは動きません。

D.タイトルコピーの設定をONにしても、CDテキストコピーの設定がOFFの場合は、ディスクタイトルはコピーされません。

### MD間の無録音部分をなくして連続録音をする (SEAMLESSリレー録音)

ミニディスクとミニディスクの間の無録音部分をなくす機能です。SLOT A、またはSLOT Bに最大で3枚ずつまでのミニディスクをセットしておく、SLOT AとSLOT Bのミニディスクを交互にMD1~MD3の順番でセットされているミニディスクのみを録音します。片側のSLOTの録音中のミニディスクの終わりの約30秒間は、次のもう片側のSLOTのミニディスクの最初の約30秒間と重複して録音されるため、同じSLOT内部でミニディスクが交換されている間も途絶えずに、録音を続けることができます。



極端に残り時間の短いミニディスクがセットされていると、SEAMLESSリレー録音がうまく動作しない場合があります。CDは、SEAMLESSリレー録音できません。

- ① "MODEキーの使い方"の手順を行い、"シームレス REC"の"ON"を選ぶ -[43]

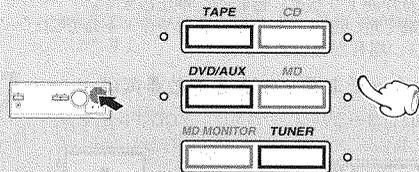
- ① "OFF" : SEAMLESSリレー録音を行わない
- ② "ON" : SEAMLESSリレー録音を行う

- ② SLOT A、SLOT BのMDの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする -[102]

- ③ SLOT A、SLOT Bに録音可能なMDを入れる

- ④ SLOT A、SLOT Bの録音可能時間を確かめる -[30]

- ⑤ 何を録音するか選ぶ



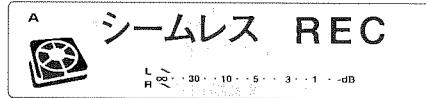
チューナー、テープ、TUNER、TAPE、DVD/AUXの中から選びます

- ⑥ RECキーを2回押して、録音を開始する

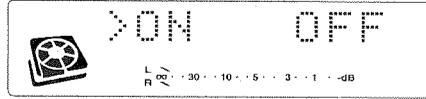
- SEAMLESSインジケーターが点滅します。



スロットA側の表示



スロットB側の表示



●SEAMLESS録音が終了すると、自動的に停止します。

SEAMLESSリレー録音を止めるには

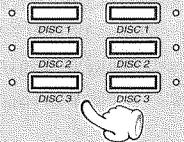


# CDを1枚全部録音する、いい曲があればその曲だけ録音する (ワンタッチエディット録音)

CDからMDへワンタッチで全曲録音または、1曲録音ができます。

① スロット Aまたは スロット Bに録音可能なMDをいれる

② MDのDISC1~DISC3を押して録音させたいMDを選ぶ(オレンジ色が点灯している状態にする)



③ CDプレーヤーにディスクをいれる

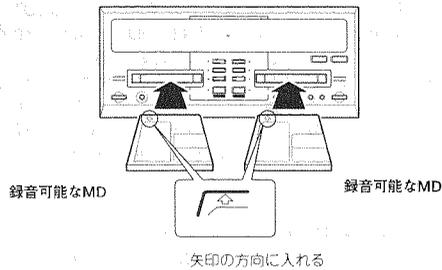
④ DISC1~DISC6キーを押して、ディスクを選ぶ

CDを1枚全部録音するとき:

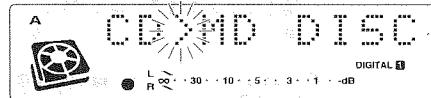
⑤ CDの再生が始まる前にCD▶MD O.T.E.キーを押して、録音を始める

1曲だけ録音するとき:

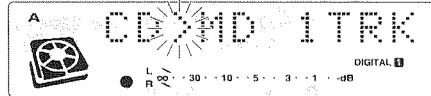
⑤ 録音したい曲の再生中にCD▶MD O.T.E.キーを押す



CDを1枚全部録音するときの表示

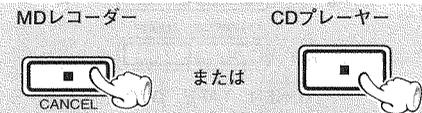


1曲だけ録音するときの表示



- 録音が終了すると、自動的に停止します。
- 極端に短い曲は、トラック番号やタイトルがコピーできない場合があります。

ワンタッチエディットをやめるには



## サンプリング周波数について

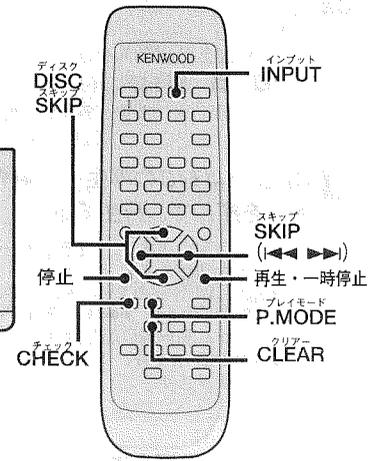
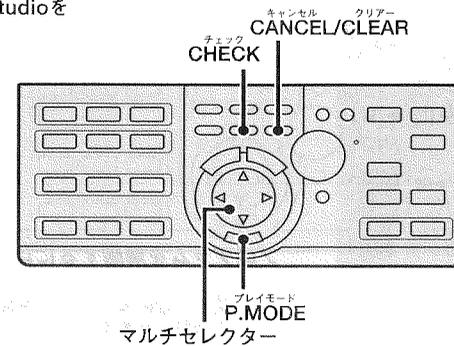
通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

- 48 kHz: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。
- 32 kHz: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、48kHz、32kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換して録音できます。

## 曲順を並べ替えて聴く (CD、MDのプログラム再生)

ハイパーオペレーティングスタジオ Hyper Operating Studioを使ってディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)



MDの再生中は、CT-H90(サイバータイトラー;別売)からの記録はできません。

1 入力切換をCDまたはMDにして、停止状態を確認する

- 再生中の時は、停止(■)キーを押して、停止させてください。
- リモコンのINPUTキーでも切替えることができます。

2 プレイモード P.MODEキーを押して、"PGM"表示を点灯させる

- リモコンのP. MODEキーでも同様の状態になります。

3 Δ▽キーでディスクを選ぶ

- リモコンのDISC SKIPキーでも同様に選べます。

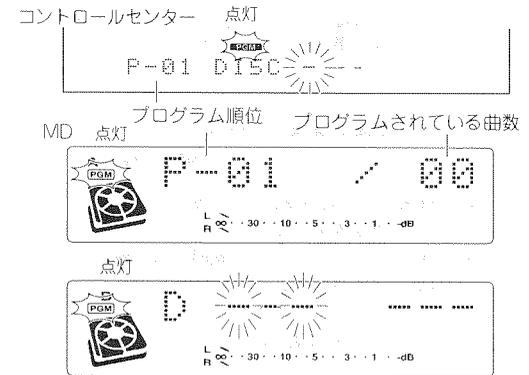
4 ◀▶キーで曲を選ぶ

- リモコンの◀▶キーでも同様に選べます。

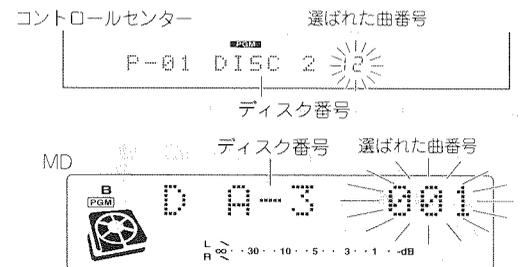
5 プレイモード P.MODEキーを押して、選んだ曲を確定する

次のページにつづく

プログラム PGMキーを押したときの表示例



ディスクを選んだ後の表示例



## 6 手順 4、5を繰り返してプログラムしていく

- 2枚以上のディスクから選ぶときは、手順 3、4、5を繰り返してください。
- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

## 7 CDまたはMDの再生・一時停止(▶/■)キーを押して、再生する

- リモコンの再生・一時停止キー(▶/■)キーでも再生できます。
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に◀◀ ▶▶キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に◀◀ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

### プログラムした曲順を確認するには(CD) (停止中のみ)

CHECKキーを押すたびにプログラムされている曲を表示します

- CDはCHECK操作をしているときでもプログラムした曲を変更することができます。

### プログラムした曲を変更するには(CD) (停止中のみ)

- ① CHECKキーを数回押して、変更したいプログラム番号を表示させる
- ② "曲順を並べ替えて聴く"の手順3、4、5を繰り返して変更する - [47]

### プログラムした曲を取り消すには(CD)

CLEARキーを押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます

- 再生中の曲は取り消せません。

### 曲を追加するには (停止中のみ)

1枚のディスクから選ぶときは手順2、5、2枚以上のディスクから選ぶときは手順3、4、5を繰り返してプログラムしていきます

- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。
- MDは、極端に短い曲はプログラムできません。
- MDのプログラム時間の合計が256分以上になると、表示時間が"--"になります。

### プログラムを解除するには

- もう一度P. MODEキーを押して、"PGM"表示を消灯させます

### プログラムした曲順を確認するには(MD) (停止中のみ)

- ① CHECKキーを押す
- ② ◀◀、▶▶キーを押して確認する

- 終了したいときは、もう一度CHECKキーを押します。

### プログラムした曲を取り消すには(MD) (停止中のみ)

- ① CLEARキーを押す
- 一番最後にプログラムされたものが表示されます。

### ①で表示されたものを取り消すとき:

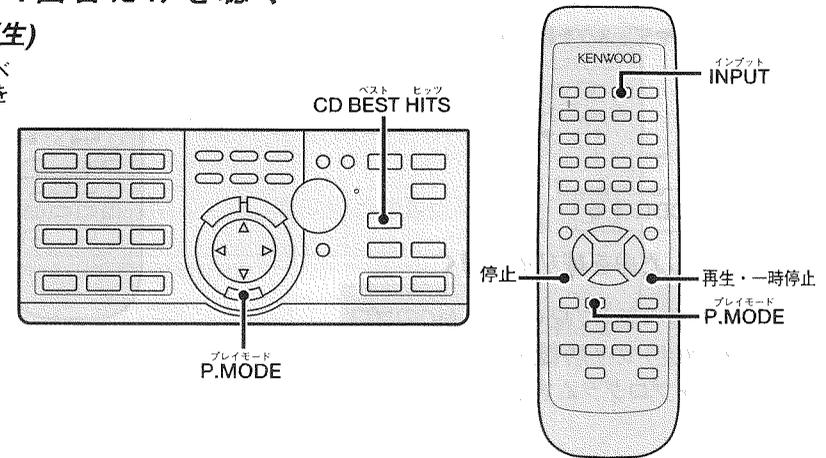
- ② もう一度CLEARキーを押す
- CLEARキーを押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

### どのように取り消すか選ぶとき:

- ③ △キーを押して選ぶ
  - △キーを押すたびに切り換わります。
- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| ① "プログラムNO. クリア?" | : 表示されているプログラムを取り消す |
| ② "ALL クリア?"      | : 全部取り消す            |
| ③ "クリアキャンセル?"     | : 取り消しをやめる          |
- ④ CLEARキーを押して取り消す

## 複数のCDの1曲目だけを聴く (BEST HITS 再生)

セットされているすべてのCDの1曲目だけを再生します。



### 1 入力切換をCDにして、停止状態を確認する

- 再生中の時は、停止(■)キーを押して、停止させてください。
- リモコンのINPUTキーでも切替えることができます。

### 2 CD プレーヤーにディスクをいれる

### 3 "PGM"表示の消灯を確認する

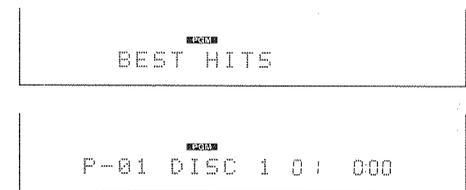
- "PGM"表示が点灯しているときは、P. MODEキーを押して消灯させてください。

### 4 CD BEST HITSキーを押す

### 5 CDの再生・一時停止キー(▶/■)を押して、再生を始める

### 再生を止めるには

- CDプレーヤーまたはMDレコーダーの停止(■)キーを押します



## 繰り返し聴く (CDのリピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

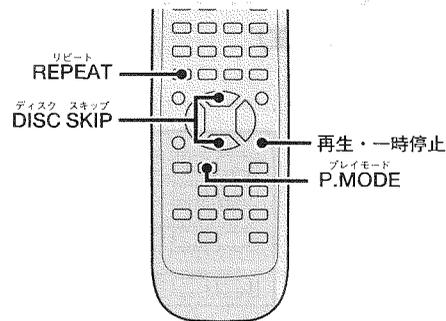
入力切換をCDにする

### プログラムした曲を繰り返し聴く

**1** "曲順を並べ替えて聴く (CD、MDのプログラム再生)" の手順 **6** までを行い、聴きたい曲をプログラムする - [47] - [48]

**2** REPEATキーを押して、"REPEAT"表示を点灯させる

**3** 再生・一時停止(▶||)キーを押して、再生する



押すたびに切り換わります。

- ① REPEAT (点灯)
- ② リピート解除 (消灯)



繰り返し再生をやめるには

もう一度REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、元のモードに変わった再生に戻ります。

### すべてのディスクを繰り返し聴く

**1** "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

**2** REPEATキーを押して、"REPEAT"表示を点灯させる

**3** DISC SKIPキーで再生を始めたディスクを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① REPEAT (点灯)
- ② リピート解除 (消灯)



繰り返し再生をやめるには

もう一度REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、元のモードに変わった再生に戻ります。

## ランダム再生を楽しむ (CDのランダム再生)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

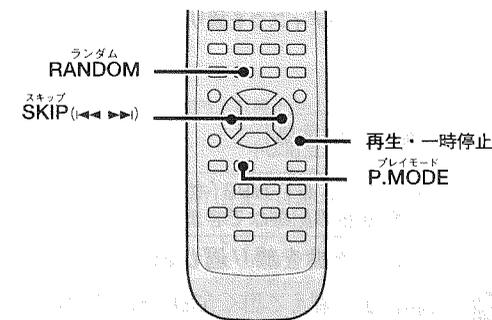
入力切換をCDにする

**1** "PGM"表示の消灯を確認する

- "PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

**2** RANDOMキーを押して、RANDOMモードを選ぶ

- "DISC"を選ぶときは、先にディスクを選んでおいてください。



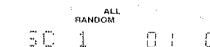
RANDOMキーを押すたびに切り換わります。

- ① "RANDOM DISC" : 1枚のディスクをランダム再生
- ② "RANDOM ALL" : 全てのディスクをランダム再生
- ③ "RANDOM"消灯 : 通常の再生

RANDOM DISC を選んだとき



RANDOM ALL を選んだとき



曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶ キーを押す

- ◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

RANDOMキーを"RANDOM"表示が消えるまで数回押す

- "RANDOM"表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

## 繰り返し聴く (MDのリピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切換をMDにする

MDの再生中は、CT-H90(サイバータイター;別売)からの記録はできません。

### プログラムした曲を繰り返し聴く

**1** "曲順を並べ替えて聴く(CD、MDのプログラム再生)"の手順⑤までを行い、聴きたい曲をプログラムする - [47] - [48]

**2** REPEATキーを押して、"REPEAT"表示を点灯させる

**3** 再生・一時停止(▶/||)キーを押して、再生する

### 繰り返し再生をやめるには

もう一度REPEATキーを押します

●"REPEAT"表示が消灯し、元のモードに変わった再生に戻ります。

### 1曲を繰り返し聴く

### 1枚のディスクを繰り返し聴く

### すべてのディスクを繰り返し聴く

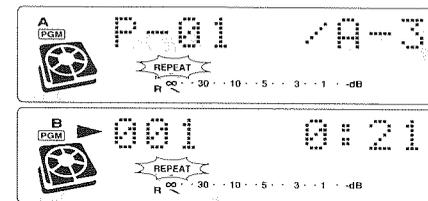
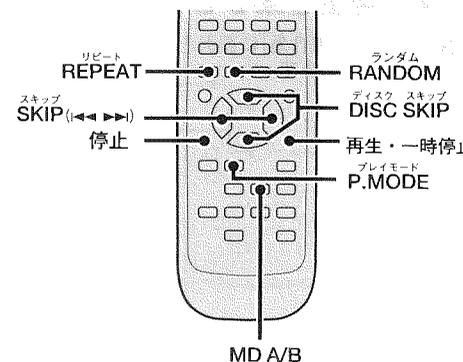
**1** "PGM"表示の消灯を確認する

●"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

**2** MD A/Bキーを押して、聴きたいスロット側を選ぶ

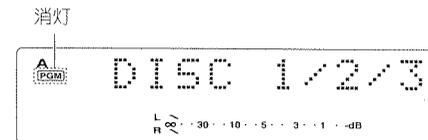
**3** DISC SKIPキーでディスクを選び、停止状態にする

●停止(■)キーを押すと、止まります。



押すたびに切り換わります。

- ① REPEAT(点灯)
- ② リピート解除(消灯)



次のページにつづく

**4** 聴きたい曲、またはディスクを再生させる

**5** REPEATキーを押して、希望のリピート再生を選ぶ

再生スロット側のREPEAT表示が点滅:  
1 TRACK REPEAT  
再生スロット側のREPEAT表示が点灯:  
DISC REPEAT  
スロット A、B両方のREPEAT表示が点灯:  
ALL REPEAT

●停止中でも再生中でも選べます。

### 繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを"REPEAT"表示が消えるまで数回押す

●"REPEAT"表示が消灯し、元のモードに変わった再生に戻ります。

## ランダム再生を楽しむ(MDのランダム再生)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

**1** "PGM"表示の消灯を確認する

●"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

**2** RANDOMキーを押して、RANDOMモードを選ぶ

●"DISC"を選ぶときは、先に聴きたいディスクを選んでおいてください。 - [25]

●全曲の再生が1回終わると停止します。  
●REPEATキーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

### 曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶キーを押す

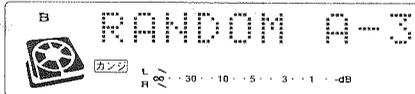
●◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

- ① 1 TRACK REPEAT(停止中は、選ばれているディスクの1曲目をリピートし、再生中は再生されている曲をリピートします)
- ② DISC REPEAT(停止中は選ばれているディスクをリピートし、再生中はその曲が入っているディスクを再生します)
- ③ ALL REPEAT(A、B両方のスロットに入っているすべてのディスクをリピートします)
- ④ (消灯)

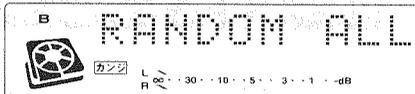
RANDOMキーを押すたびに切り換わります。

- ① "RANDOM DISC" : 1枚のディスクをランダム再生
- ② "RANDOM ALL" : 全てのディスクをランダム再生
- ③ "STOP!" : 停止

"DISC"で、スロット AのDISC3を選んだとき



"ALL"を選んだとき



### ランダム再生をやめるには

MDレコーダーの停止(■)キーを押す

## 録音のタイプを選ぶ

ハイパー オペレーティング スタジオ  
Hyper Operating Studioを使って、編集録音が簡単な操作でできるようになりました。お好みに応じて、いろいろなパターンの編集録音をお楽しみください。

### CDを、MD 2枚に同時録音したい時は

CDから2枚のMDへ録音する

→ [55]

1枚のCDの全曲を、MD2枚に同時に録音できます。

### 好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを録音したいときは

#### プログラム録音 (CD→MD、MD→MD)

CDからMDへのプログラム録音

→ [56]

プログラムした曲順で録音します。  
2枚のMDに同時に録音することもできます。

MDからMDへのプログラム録音

→ [56]

プログラムした曲順で録音します。

### CDの一曲目だけを録音したい時は

#### ベストヒッツ録音

複数枚のCDの1曲目だけを録音する

→ [57]

セットされている全てのCDの1曲目だけをMDに録音します。

### CD 6枚をワンタッチでMD 6枚に録音したい時は

6枚のCDを6枚のMDに録音する  
ワンタッチでセット  
(O.T.E. 6CD→6MD)

→ [58]

CD6枚、MD6枚をセットして、ワンタッチで録音することができます。

### MDからMDにダビングしたい時は

3枚のMDを3枚のMDに録音する  
ダビング  
(DUBBING 3MD→3MD)

→ [59]

SLOTAからSLOTBへ、同じディスク番号のミニディスクへワンタッチで録音することができます。

1枚のMDを1枚のMDに録音する  
ダビング  
(DUBBING 1MD→1MD)

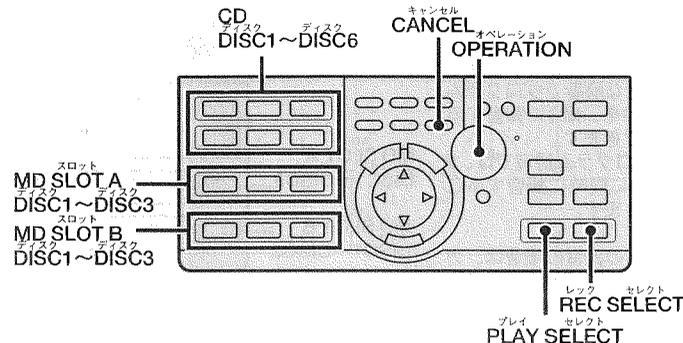
→ [59]

SLOTAからSLOTBへ、1枚のミニディスクを選んで、ワンタッチで録音することができます。

応用編

## CDから2枚のMDへ録音する

CD1枚をMDに録音するとき、Hyper Operating Studioを使って、2枚のMDに同時に録音することができます。テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



- 1 SLOTAとSLOTBの両方に、録音可能なミニディスクを入れる
- 2 CDプレーヤーにディスクを入れて、CDプレーヤーとMDレコーダーの停止状態を確認する → [24]
- 3 PLAY SELECTキーを押して、CDのDISC1~DISC6の中から録音したいCDを選ぶ
  - 途中で間違えた場合はCANCERキーを押してやり直してください。
  - 操作を間違えたときは、OP.ERRORインジケータが光ります。
- 4 REC SELECTキーを押して、MD SLOT AのDISC1~DISC3の中から録音させたいミニディスクを選ぶ
 

CD1枚をMD1枚に録音するときは、手順③へ。
- 5 MD SLOT BのDISC1~DISC3の中から録音させたいもう1枚のミニディスクを選ぶ
- 6 OPERATIONキーを押して録音を始める

応用編

録音を途中でやめるには

CDプレーヤーまたは、MDレコーダーの停止(■)キーを押す

●録音、再生ともに停止します。

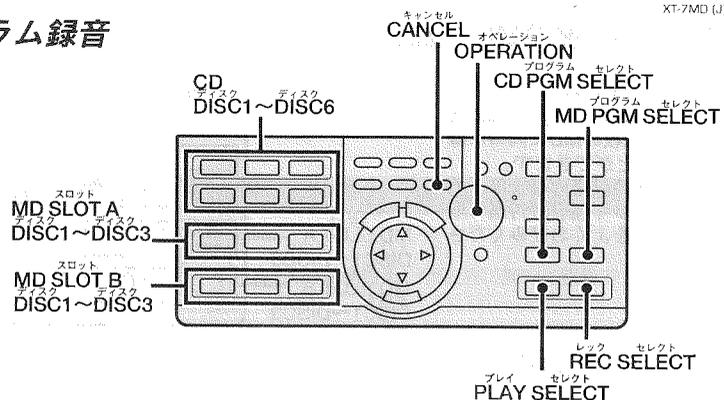
録音中にCD以外のソースを聴くには

入力切替で聴きたいソース(CD、MD以外)を選びます

## CD、MDのプログラム録音

ハイパー オペレーティング スタジオ  
Hyper Operating Studio  
を使った簡単な操作で、好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを、MDに録音することができます。  
CDのプログラム録音では、2枚のMDに同時に録音することもできます。

テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



### CDからMDへのプログラム録音

#### 1 SLOT AまたはSLOT Bに、録音可能なミニディスクを入れる

- 2枚同時に録音したいときは、両方のスロットにミニディスクを入れてください。

#### 2 CDの好きな曲をプログラムして、停止状態にする

- [47] - [48]

#### 3 PLAY SELECTキーを押す

- 途中で間違えた場合はCANCELキーを押してやり直してください。
- 操作を間違えたときは、OP.ERRORインジケータが光ります。

#### 4 CD PGM SELECTキーを押す

#### 5 REC SELECTキーを押して、手順①で入れたSLOT側のDISC1~DISC3の中から録音させたいミニディスクを選ぶ

- 2枚同時に録音したいときは、続けてもう一つのスロット側のミニディスクを選んでください。

#### 6 OPERATIONキーを押して録音を始める

録音を途中でやめるには

CDプレーヤーの停止(■)キーを押す

### MDからMDへのプログラム録音

#### 1 SLOT Aに再生専用ミニディスクまたは、録音済みのミニディスクを、SLOT Bに録音可能なミニディスクを入れる

- SLOT AとSLOT Bに入れるミニディスクは、逆にした場合でも録音できます。

#### 2 SLOT Aに入れたディスクの中から好きな曲をプログラムして、停止状態にする

- [47] - [48]

#### 3 PLAY SELECTキーを押す

- 途中で間違えた場合はCANCELキーを押してやり直してください。
- 操作を間違えたときは、OP.ERRORインジケータが光ります。

#### 4 MD PGM SELECTキーを押す

#### 5 REC SELECTキーを押して、MD SLOT Bの中から手順①で入れたミニディスクを選ぶ

- SLOT AとSLOT Bに入れるミニディスクを逆にした場合はMD SLOT Aの中から選んでください。

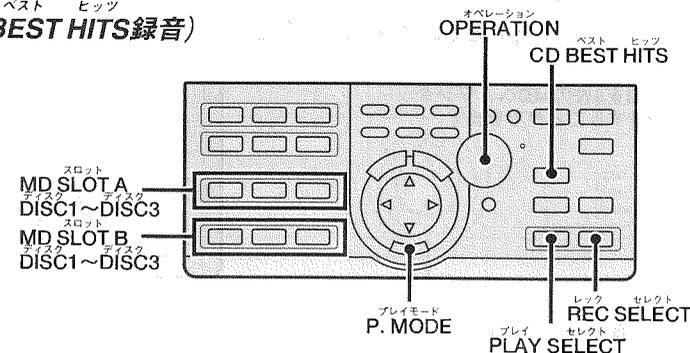
#### 6 OPERATIONキーを押して録音を始める

録音を途中でやめるには

MDレコーダーの停止(■)キーを押す

## 複数枚のCDの1曲目だけを録音する (BEST HITS録音)

セットされている全てのCDの1曲目を、トレイ1から順にMD1枚、または同時に2枚へ、または、テープへ録音します。  
テープへの録音の場合は、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。



入力切替をCDにする

### CDの1曲目だけをMDへ録音する

#### 1 SLOT AまたはSLOT Bに、録音可能なミニディスクを入れる

- [40] - [102]

- 2枚同時に録音したいときは、両方に入れてください。

#### 2 CDプレーヤーにディスクを入れて、CDプレーヤーとMDレコーダーを停止状態にする

- [24]

(CDは録音したい順に、DISC1から入れます)

#### 3 "PGM"表示の消灯を確かめる

- "PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

#### 4 PLAY SELECTキーを押す

#### 5 CD BEST HITSキーを押す

- それぞれのCDの1曲目が自動的にプログラムされます。

#### 6 REC SELECTキーを押して、手順①で入れたSLOT側のDISC1~DISC3の中から録音させたいミニディスクを選ぶ

- 2枚同時に録音したい場合は、続けてもう一つのスロット側のミニディスクを選んでください。

#### 7 OPERATIONキーを押して録音を始める

録音を途中でやめるには

CDプレーヤーの停止(■)キーを押す  
または、MDレコーダーの停止(■)キーを押す

- 録音、再生ともに停止します。

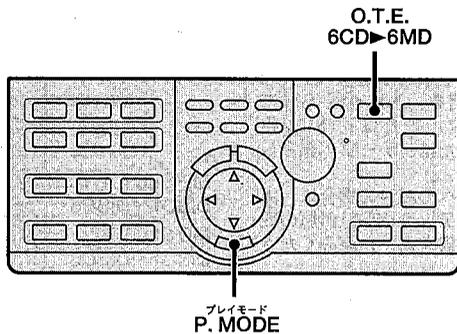
CD BEST HITSを解除するには

P.MODEキーを押して、"PGM"表示を消灯させる

## 6枚のCDを6枚のMDに録音する

ワンタッチエディット  
(O.T.E.6CD→6MD 機能)

6枚のCDを6枚のMDへ、ワンタッチで録音することができます。



入力切換をCDにする

## 1 CDプレーヤーに6枚のディスクを入れる

## 2 MDレコーダーに録音可能な6枚のミニディスクを入れる

## 3 "PGM"表示の消灯を確かめる

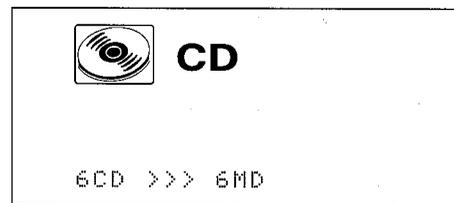
●"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

## 4 停止状態を確認する

●再生中のときは、停止(■)キーを押してください。

## 5 O.T.E.6CD→6MDキーを押して、録音を始める

●CDのDISC 1をMDのSLOT AのDISC 1、CDのDISC 2をMDのSLOT AのDISC 2...と、いうように順番に録音されます。  
●CDとMDは1対1で録音されていきますので、ディスクは必ず6枚ずつセットしてください。



録音を途中でやめるには

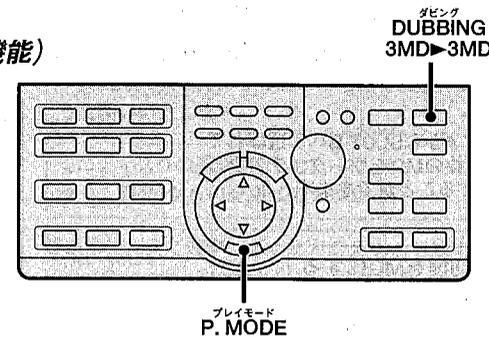
CDプレーヤーの停止(■)キーを押す

●録音、再生ともに停止します。

## 3枚のMDを3枚のMDに録音する

(DUBBING 3MD→3MD 機能)

スロットAからスロットBへ、同じディスク番号のミニディスクへワンタッチで録音することができます。



入力切換をMDにする

## 1 SLOT Aに再生専用ミニディスクまたは録音済みのミニディスクを3枚入れる

## 2 SLOT Bに録音可能なミニディスクを3枚入れる

## 3 "PGM"表示の消灯を確かめる

●"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

## 4 停止状態を確認する

●再生中のときは、停止(■)キーを押してください。

## 5 DUBBING 3MD→3MDキーを押して、録音を始める

●ダビングしたい録音済みのMDに、一部でもデジタル録音された曲があると、デジタル録音でダビングできません。その場合は、アナログ録音にしてください。



デジタル録音、アナログ録音を切り換えるには

DUBBING 3MD→3MDキーを押してから、"DUBBING"と表示されている間に、MDレコーダーのREC INPUTキーを押す

押すたびに切り換わります

- ① "AUTO" : 自動で選択
- ② "DIGITAL" : デジタル録音
- ③ "ANALOG" : アナログ録音

●AUTOを選んだとき  
SLOT Aにセットされたディスクが再生専用MDの場合はデジタル、録音済みのMDの場合はアナログ(プログラム再生の場合はディスクにかかわらずアナログ)で録音されます。

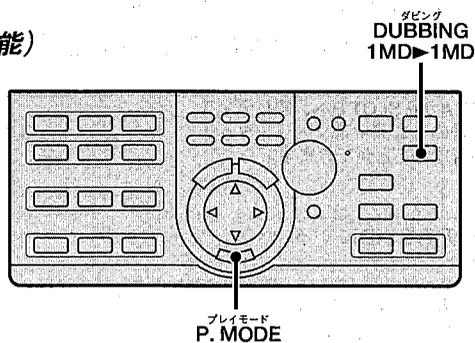
録音を途中でやめるには

MDレコーダーの停止(■)キーを押す

●録音、再生ともに停止します。

# 1枚のMDを1枚のMDに録音する (DUBBING 1MD→1MD 機能)

スロットAからスロットBへ、選ばれている1枚のMDをワンタッチでダビングすることができます。



## 入力切換をMDにする

### 1 SLOT Aに再生専用ミニディスクまたは録音済みのミニディスクを入れる

- 複数枚のミニディスクが入っているときは、録音したいミニディスクを選んでください。

### 2 SLOT Bに録音可能なミニディスクを入れる

- 複数枚のミニディスクが入っているときは、録音させたいミニディスクを選んでください。

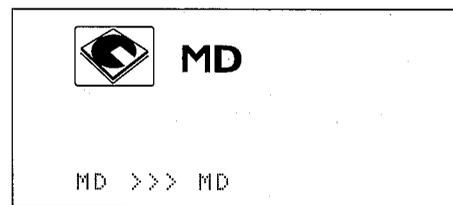
### 3 "PGM"表示の消灯を確かめる

- "PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

### 4 停止状態を確認する

### 5 DUBBING 1MD→1MDキーを押して、録音を始める

- SLOT Aに2枚以上のミニディスクがセットされていても、最初の1枚をSLOT Bのいずれかのミニディスクへダビングし終わると、終了します。
- 再生中に押すと、その曲だけ録音できます。
- ダビングしたい録音済みのMDに、一部でもデジタル録音された曲があると、デジタル録音でダビングできません。その場合は、アナログ録音にしてください。



## 録音を途中でやめるには

MDレコーダーの停止(■)キーを押す

- 録音、再生ともに停止します。

## 編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。

- ミニディスクや曲にタイトルをつける (変更、消去する) - 62
- JISコード表を使って、タイトルをつける - 64
- FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する - 66
- タイトルをエリア別に消去する - 68
- 編集した内容を取り消す - 84

## MD規格上の機能制限について

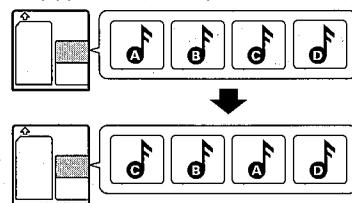
いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませうようお願いいたします。

ミニディスクの編集中は、CT-H90(サイバータイター;別売)からの記録はできません。

英数字に加えて漢字、カナなどの入力も可能です。Hyper Operating Studioを使い、ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります)

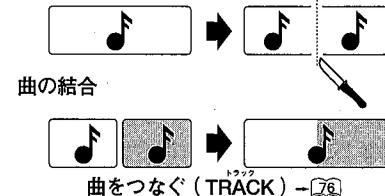
## 曲順の入れ替え

- 曲順をまとめて入れ替える (QUICK MOVE) - 72
- 曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE) - 70



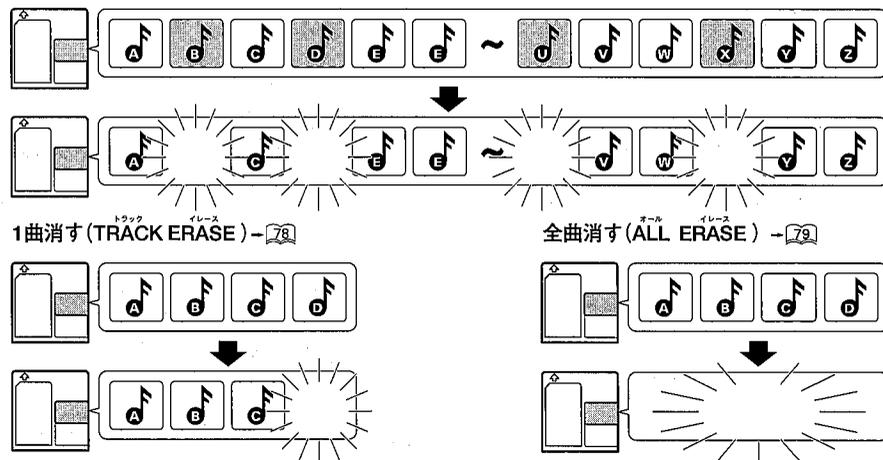
## 曲の分割と結合

- 曲の分割 曲を分ける (TRACK DIVIDE) - 74
- 曲の結合 曲をつなぐ (TRACK) - 76



## 曲の消去

- 曲をまとめて消す (QUICK ERASE) - 80
- 1曲消す (TRACK ERASE) - 78
- 全曲消す (ALL ERASE) - 79



# ミニディスクや曲にタイトルをつける

ミニディスクや曲にタイトルをつけておくと、再生のときに表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。本機では英数字に加えてカナ、漢字などの入力も可能です。

ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

停止中、または再生中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態にする)

## 1 TITLE INPUTキーを押す

- ミニディスクのデータ読みだし、書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

## 2 Δ▽キーでディスクを選ぶ

- SLOT AとSLOT Bで、それぞれ選ばれているディスクが表示されます。

## 3 "カナエリア"または"カンジエリア"を選ぶ

- ①<>キーで"カナエリア"または"カンジエリア"を選ぶ
  - ②ENTERキーを押して、確定する
- ミニディスクや曲にタイトルをつける際、漢字を使ってタイトルをつけたい場合は"カンジエリア"を選びます。それ以外の場合は"カナエリア"を選びます。

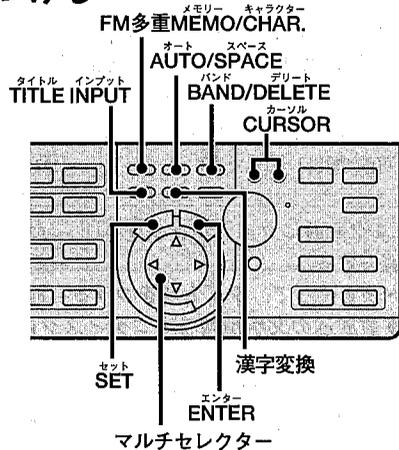
## 4 "ユーザー入力"を選ぶ

- ①Δ▽キーで"ユーザー入力"を選ぶ
  - ②ENTERキーを押して、確定する
- 手順④で"カナエリア"を選んでいると、"FM多重データ入力"は表示されません。

## 5 ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

- ①Δ▽キーでディスクまたはトラック番号を選ぶ
- ②ENTERキーを押して、確定する

次のページにつづく



"ディスクA"を選んでいる場合



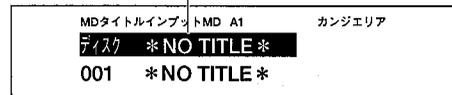
"カンジエリア"を選んでいる場合



"ユーザー入力"を選んでいる場合



ディスクタイトル(ミニディスク名)を選んでいる場合



途中で中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

## 6 FM多重MEMO/CHAR.キーを押して、入力する文字のグループを選ぶ

- 漢字でタイトルをつけたい場合は"ひらがな"を選びます
- 入力する文字のグループは、Δ▽キーでも切り換えられます。

## 7 タイトルを入力する

- ①<>キーで入力する文字を選択カーソルに合わせる
- 漢字でタイトルをつけたいとき
  - ①漢字変換キーを押して漢字に変換する
  - ②<>キーで入力する漢字を選択カーソルに合わせる
- ③SETキーを押して、確定する
- 漢字でタイトルをつける際、入力したい漢字の音読みの最初の音をひらがなで選びます。(例) 安静 安; あ 静; せ
- 1文字分の空白を入力したいときは、AUTO/SPACEキーを押します。
- 途中で文字グループをかえたい場合は、FM多重MEMO/CHAR.キーを押します。

手順②と③を繰り返して、タイトルを入力します。

## 8 タイトル入力を実行する

- ①ENTERキーを押して、タイトルを書き込む
- ②TITLE INPUTキーを押して、終了する

## 9 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ①取り出したいスロット側のイジェクト(Δ)キーを押す
- ②取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す

## 入力した文字を変更、消去するには

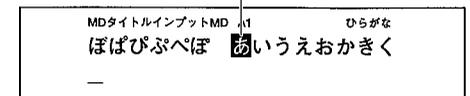
- ①"ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順⑦~⑨までを行う
- ②タイトルが表示されたら、CURSOR<>キーで変更または消去したい文字を選択カーソルに合わせる
- ③変更するとき:
  - "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順⑧~⑨を行う
  - 消去するとき:
    - ①BAND/DELETEキーを押して、1文字ずつ消していく
    - ②"ミニディスクや曲にタイトルをつける"の手順⑧と⑨を行う
- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、CURSOR<>キーで変更または消去したい文字を選択カーソルに合わせると、それまで表示されていなかった部分が現われます。

FM多重MEMO/CHAR. キーを押すたびに切り換わります。

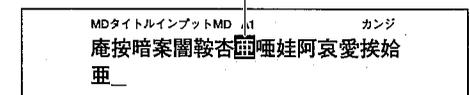
"カンジエリア"を選んだ場合 "カナエリア"を選んだ場合

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ①ひらがな(漢字)        | ①アルファベット:大文字 |
| ②カタカナ            | ②アルファベット:小文字 |
| ③アルファベット:大文字     | ③キゴウ:各種記号    |
| ④アルファベット:小文字     | ④カタカナ        |
| ⑤キゴウ:各種記号        |              |
| ⑥JISコード:JISコード入力 |              |

選ばれている文字



選ばれている漢字



MDタイトルインプット (MD Title Input)    MD A1    ひらがな

ぼぱびぷべぽ    あいうえおかきく

亜細亜の愛

入力されたタイトル

手順②の②の前に続けて手順⑧~⑨と⑩の①を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

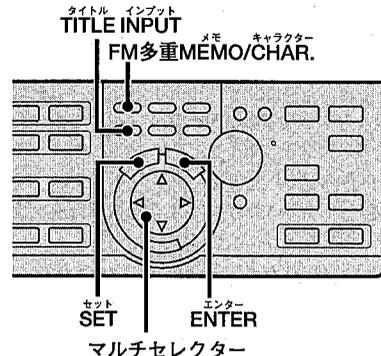
## 入力できる文字数について

ミニディスク全体で"カナエリア"は最大1792文字、"カンジエリア"は最大896文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(文字の種類によっては最大の文字数まで入力できない場合があります。)スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除をしてください。

## JISコード表を使って、 タイトルをつける

カナ、漢字をタイトル入力する場合、「JISコード表」を使うと4桁のコード番号を入力するだけで目的の文字を呼び出すことができます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。「JISコード表」

-94



### 1 "ミニディスクや曲にタイトルをつける"の、手順 ①～②を行う

-62

### 2 "カンジエリア"を選ぶ

- ① <>キーで"カンジエリア"を選ぶ
- ② ENTERキーを押して、確定する

"カンジエリア"を選んでいる場合



### 3 "ユーザー入力"を選ぶ

- ① Δ▽キーで"ユーザー入力"を選ぶ
- ② ENTERキーを押して、確定する

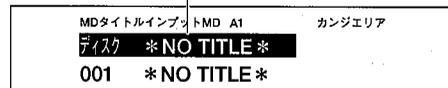
"ユーザー入力"を選んでいる場合



### 4 ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を選ぶ

- ① Δ▽キーでディスクまたはトラック番号を選ぶ
- ② ENTERキーを押して、確定する

ディスクタイトル(ミニディスク名)を選んでいる場合



### 5 FM 多重MEMO/CHAR. キーを押して、"JISコード"を選ぶ

- 入力する文字のグループは、Δ▽キーでも切換えられます。

FM 多重MEMO/CHAR. キーを押すたびに切り換わります。

"カンジエリア"を選んだ場合

- ① ひらがな(漢字)
- ② カタカナ
- ③ アルファベット : 大文字
- ④ アルファベット : 小文字
- ⑤ キゴウ : 各種記号
- ⑥ JISコード : JISコード入力用

次のページにつづく

### 6 JISコード表を使って、タイトルを入力する

- ① JISコード表から目的の文字の4桁のコード番号を見つける
  - ② <>キーで目的のコード番号を選択カーソルに合わせる
  - ③ SETキーを押して、数字を確定する
  - ④ ②～③を繰り返して、4桁分のコード番号をすべて入力する
  - ⑤ ENTERキーを押して、目的の文字を呼び出す
  - ⑥ ENTERキーをもう一度押して、目的の文字を確定する
- 途中で文字グループをかえたい場合は、FM 多重MEMO/CHAR. キーを押します。
  - JISコード表にない番号を選んだときは、手順⑤で"●"と表示されます。

手順①～⑥を繰り返して、タイトルを入力します。

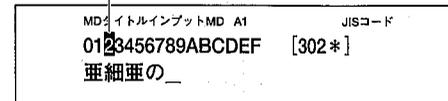
### 7 タイトル入力を実行する

- ① ENTERキーを押して、タイトルを書き込む
- ② TITLE INPUTキーを押して、終了する

### 8 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1～DISC3)を押す

選ばれているコード番号



MDタイトルインプットMD A1  
ディスク書き込み終了しました！  
亜細亜の愛

入力されたタイトル



手順③の②の前に続けて手順④～⑦の①を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。



## FM文字多重放送の文字情報をミニディスクに記録する

一時的に記憶したFM文字多重放送の番組情報(放送中の曲の曲名、アーティスト名)などをミニディスクに曲のタイトルとしてつけることができます。FM文字多重放送の文字情報を曲のタイトルとして使いたいときに大変便利です。("カンジエリア"のみ)"FM文字多重放送の文字情報を記憶する" - 39

ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

停止中、または再生中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態にする)

### 1 "FM文字多重放送の文字情報を記憶する"の手順を行う

#### 2 タイトル入力状態にする

##### ① TITLE INPUTキーを押す

●ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。

●ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

##### ② Δ▽キーでディスクを選ぶ

●SLOT AとSLOT Bで、それぞれ選ばれているディスクが表示されます。

##### ③ < >キーで"カンジエリア"を選ぶ

##### ④ ENTERキーを押して、確定する

#### 3 "FM多重データ入力"を選ぶ

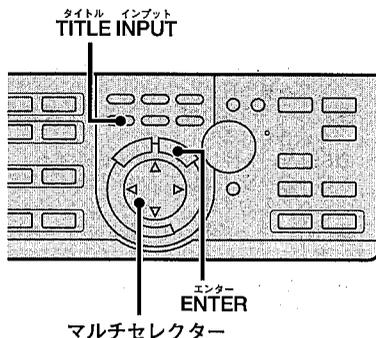
##### ① < >キーで"FM多重データ入力"を選ぶ

##### ② ENTERキーを押して、確定する

#### 4 ディスクタイトル(ミニディスク名)またはタイトル(曲名)を選ぶ

##### ① Δ▽キーでディスクまたはトラック番号を選ぶ

##### ② ENTERキーを押して、確定する



"ディスクA"を選んでいる場合  
"カンジエリア"を選んでいる場合

MDタイトルインプット カナエリア/カンジエリア  
ディスク A1 \*NO TITLE\*  
ディスク B1 \*NO TITLE\*

"FM多重データ入力"を選んでいる場合

MDタイトルインプット MD A1  
ユーザー入力 FM多重データ入力  
エリアイレース

ディスクタイトル(ミニディスク名)を選んでいる場合

MDタイトルインプット MD A1 カンジエリア  
ディスク \*NO TITLE\*  
001 \*NO TITLE\*



途中で中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

次のページにつづく

### 5 記憶させた中から文字情報を選ぶ

#### ① Δ▽キーで1~20の中から文字情報を選ぶ

#### ② ENTERキーを押して、確定する

### 6 "入力した文字を変更、消去するには"を参考に編集する

### 7 タイトル入力を実行する

#### ① ENTERキーを押して、タイトルを書き込む

#### ② TITLE INPUTキーを押して、終了する

### 8 編集終了後、ミニディスクを取り出す

#### ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す

#### ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す

MDタイトルインプット MD A1 FMタグデータ

1 「秋桜の詩」 花姉妹

2 「冬の海」 秋山美穂

2の文字情報を選んでいる場合



手順②の②の前に続けて手順④~⑤と⑦の①を繰り返せば、そのミニディスクのすべてのタイトル(ミニディスク名と曲名)をつけることができます。

MDタイトルインプット MD A1

ディスク書き込み終了しました!

「冬の海」 秋山美穂

入力されたタイトル タイトルがスクロールします

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。



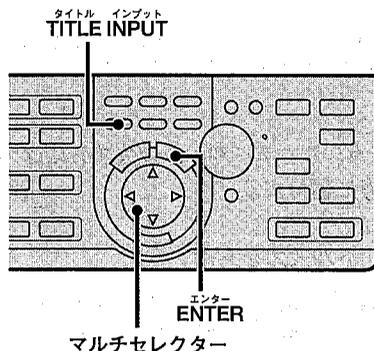
## タイトルをエリア別に消去する タイトル エリア イレース (TITLE AREA ERASE)

"カンジエリア"、"カナエリア"をエリア別に消去することができます。

"本機で入力できる文字について("カナエリア"と"カンジエリア"の違い)" -69

ディスクや曲をタイトルで選ぶ場合、表示されるタイトルはタイトル先頭から12文字のみです。

停止中、または再生中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態)



### 1 タイトル インプット TITLE INPUTキーを押す

- ミニディスクのデータ読みだし・書き込み表示の点滅中は、タイトル入力できません。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。



途中で中止するときは、もう一度タイトル インプット TITLE INPUTキーを押します。

### 2 $\Delta$ $\nabla$ キーでディスクを選ぶ

- SLOT AとSLOT Bで、それぞれ選ばれているディスクが表示されます。

"ディスクA"を選んでいる場合

"カンジエリア"を選んでいる場合

MDタイトルインプット  
ディスク A1 花姉妹  
ディスク B1 秋山美穂

### 3 "カナエリア"または"カンジエリア"を選ぶ

- ①  $\triangleleft$   $\triangleright$ キーで"カナエリア"または"カンジエリア"を選ぶ
- ② ENTERキーを押して、確定する

### 4 "エリアイレース"を選ぶ

- ①  $\Delta$  $\nabla$ キーで"エリアイレース"を選ぶ
- ② ENTERキーを押して、確定する

### 5 ENTERキーを押して、タイトルの消去を確認する

MDタイトルインプット MD A1

ユーザー入力 FM多重データ入力  
エリアイレース

"エリアイレース"を選ぶ

手順④で"カンジエリア"を選んだ場合

MDタイトルインプット MD A1

ディスクA1の漢字エリアを消去してもいいですか？

次のページにつづく

### 6 ENTERキーを押して、タイトルの消去を実行する

### 7 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1-DISC3)を押す

MDタイトルインプット MD A1

消去しました！

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 本機で入力できる文字について("カナエリア"と"カンジエリア"の違い)



本機で入力できる文字は次のとおりです。

カナエリア；  
カタカナ、数字、アルファベット、記号

カンジエリア；  
ひらがな、漢字、カタカナ、数字、アルファベット、記号

本機で"カナエリア"と"カンジエリア"の両方にタイトルをつけた場合、漢字対応していないMDレコーダーで再生すると、"カナエリア"のみ表示し、"カンジエリア"は表示されません。この場合は"カナエリア"にタイトルをつけてください。本機のみで録音・再生する場合は、"カンジエリア"のみにタイトルをつけても問題はありません。

### 曲順を1曲ずつ入れ替える (TRACK MOVE)

再生中の曲を、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

再生中、または再生一時停止中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。

**1** EDITキーを押す

**2** ◀▶キーを押して"MOVE?"を選ぶ

●再生は一時停止になります。

**3** TIME/SETキーを押して確定する

**4** もう一度TIME/SETキーを押して移動する曲を確定する

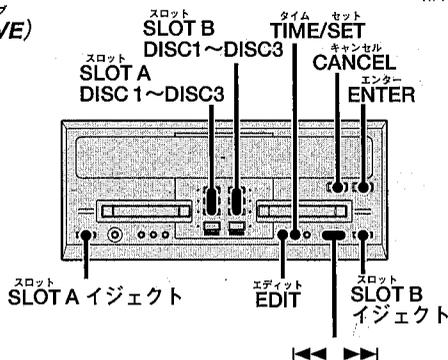
**5** ◀▶キーを押して移動先を選ぶ

●どの曲の間に移動するか選びます。

**6** ENTERキーを押して確定する

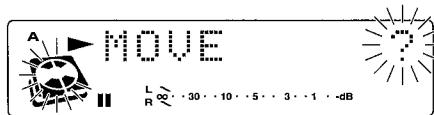


次のページにつづく

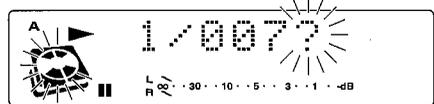


押すたびに切り換わります

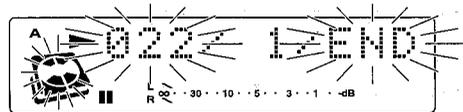
- ① "DIVIDE?" : 曲を分ける
- ② "COMBINE?" : 曲をつなぐ
- ③ "ERASE?" : 1曲消す
- ④ "MOVE?" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



手順④で7曲目の再生中(または再生一時停止中)にEDITキーを押した場合の例



選んだ曲をミニディスクの末尾に移動する場合(ミニディスクの最後と22曲目の間)の例



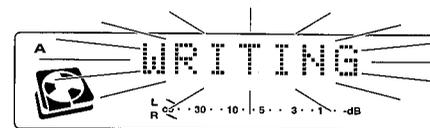
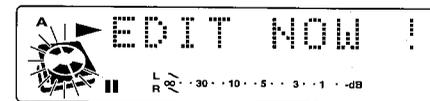
途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

**7** "MOVE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の入れ替えを実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクト(▲)キーや POWER(1/0)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

**8** 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ



### 曲順をまとめて入れ替える (クイックムーブ QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ替えます。

1回の処理で入れ替えられるのは、32曲までです。

停止中に操作してください。入力切替をMDにして、編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態にする)

**1** EDITキーを押す

**2** ◀◀、▶▶キーを押して"Q.MOVE?"を選ぶ

**3** SETキーを押して確定する

**4** ◀◀、▶▶キーを押して移動したい曲(トラック番号)を選ぶ

**5** SETキーを押して確定する

手順2~5を繰り返して、移動したい曲を選びます。

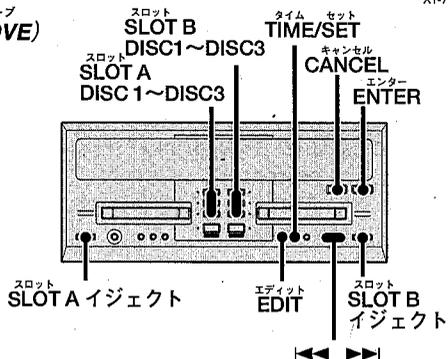
●選んだ曲順の確認や、選んだ曲の取消しには、(◀◀、▶▶)キーとCLEARキーを使います。詳しくは、"選んだ曲を確認するには"、"選んだ曲を取消しをするには"を参照してください。

**6** ENTERキーを押して移動したい曲を確定する

**7** ◀◀、▶▶キーを押して移動先を選ぶ

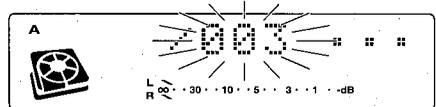
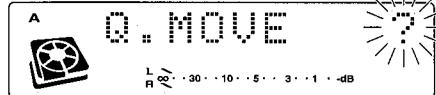
●どの曲の間に移動するか選びます。

次のページにつづく

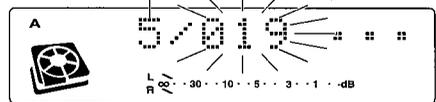


押すたびに切り換わります

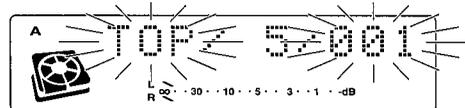
- ① "Q.MOVE?" : 曲順をまとめて入れ替える
- ② "Q.ERASE?" : 曲をまとめて消す
- ③ "CANCEL?" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)



選ばれている曲(トラック)数



選んだ曲をミニディスクの冒頭に移動する場合(ミニディスクの最初と1曲目の間)の例



途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

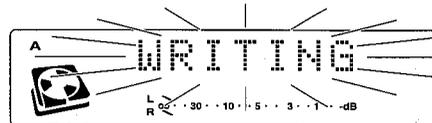
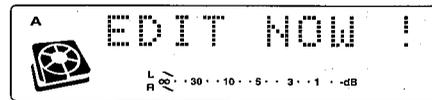
**8** ENTERキーを押して確定する

**9** "MOVE?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の入れ替えを実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクト(▲)キーや、POWER(⏻)キーを押すと、並べ替えが途中で中断されることがあります。

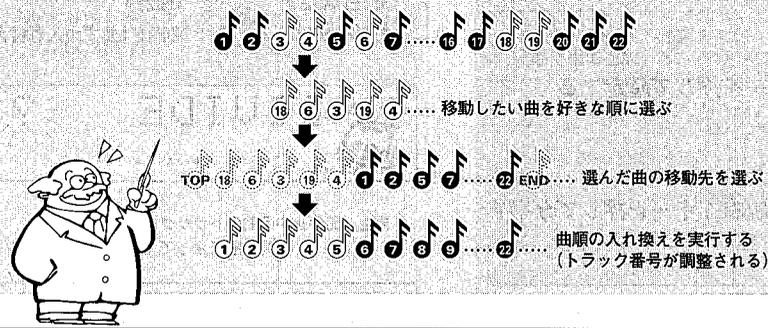
**10** 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

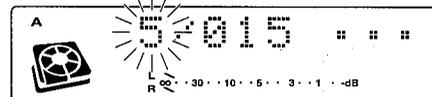
### 曲順をまとめて入れ替えるイメージ



選んだ曲を確認するには

リモコンの◀◀、▶▶キーを押して、確認する

5番目にトラック番号15の曲が予約されている場合



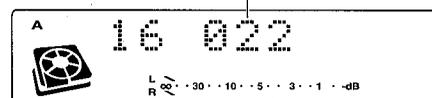
●押すたびに、選ばれている曲が表示されます。

選んだ曲を取消しするには

リモコンのCLEARキーを押して、後ろから順に取消す

16番目に選ばれているトラック番号22の曲を取消した場合

スクロールします



### 曲を分ける (TRACK DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

再生中、または再生一時停止中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでください。(オレンジ色のインジケーターが点灯している状態にする)

#### 1 分割したい曲を再生する

#### 2 分割したいところまできたら、EDITキーを押す

#### 3 <<、>>キーを押して"DIVIDE?"を選ぶ

- 再生は一時停止になります。

#### 4 TIME/SETキーを押して確定する

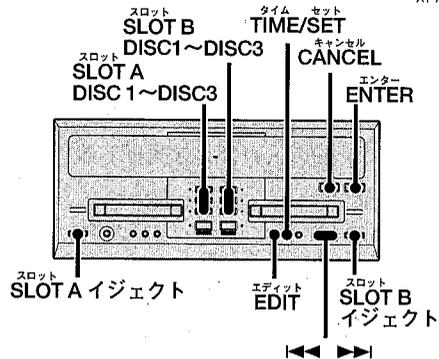
#### 5 もう一度TIME/SETキーを押して分割する曲を確定する

分割の微調整をしないときは、手順④の後にENTERキーを押してから手順⑥へ進みます。("DIVIDE ok?"と表示されます。)

#### 6 <<、>>キーを押して分割したいところを微調整する (プレビュー機能)

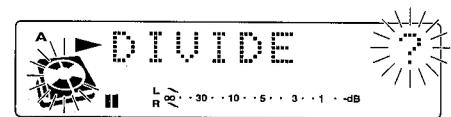
- 一時停止しているところから後の約3秒間を繰り返し再生します。
- 音を聞きながら微調整することができます。
- 微調整できる範囲は、手順④でEDITキーを押して一時停止したところから、後に32ステップです。(1ステップは約1/100秒)

次のページにつづく

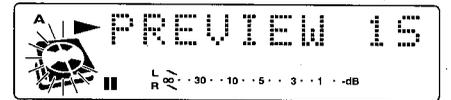
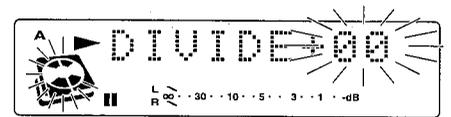
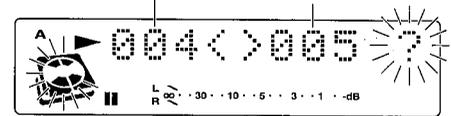


押すたびに切り換わります

- ① "DIVIDE?" : 曲を分ける
- ② "COMBINE?" : 曲をつなぐ
- ③ "ERASE?" : 1曲消す
- ④ "MOVE?" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



再生一時停止中の曲のトラック番号  
分割によってできる曲のトラック番号



途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

#### 7 ENTERキーを押して確定する

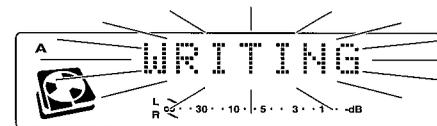
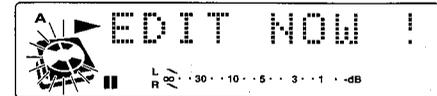
#### 8 "DIVIDE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の分割を実行する

- 曲が2つに分けられます。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクト(▲)キーや、POWER(1/0)キーを押すと、分割が途中で中断されることがあります。

①~④を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

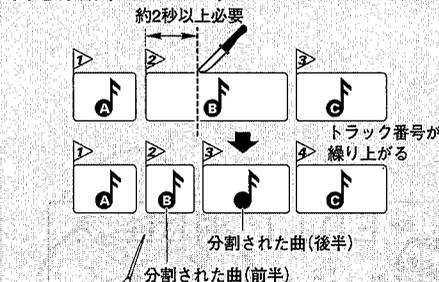
#### 9 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す

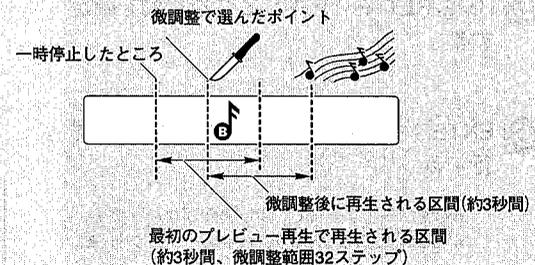


"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

#### 曲を分割するイメージ



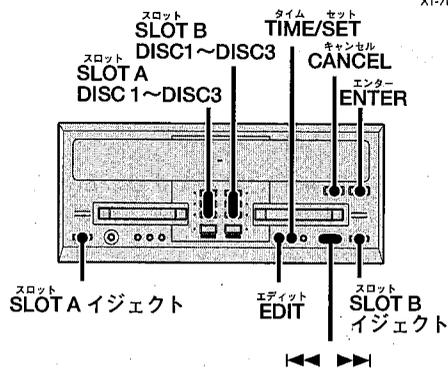
#### プレビュー再生のイメージ



### 曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。コンバイン実行後は、トラック番号が自動的に減少する場合があります。

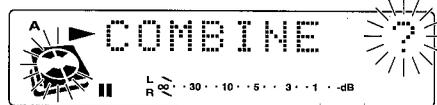
再生中、または再生一時停止中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態にする)



**1** つないだときに前半となる曲の再生中に、EDITキーを押す

**2** ◀▶キーを押して"COMBINE?"を選ぶ  
●再生は一時停止になります。

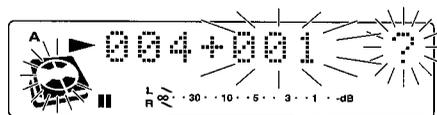
- 押すたびに切り換わります
- ① "DIVIDE?" : 曲を分ける
  - ② "COMBINE?" : 曲をつなぐ
  - ③ "ERASE?" : 1曲消す
  - ④ "MOVE?" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



**3** TIME/SETキーを押して確定する

**4** ◀▶キーを押して、つないだときに後半となる曲を選ぶ

4曲目と1曲目をつなぐ場合の例



**5** TIME/SETキーを押してつなぐ曲を確定する

**6** ENTERキーを押して曲と曲の結合を実行する

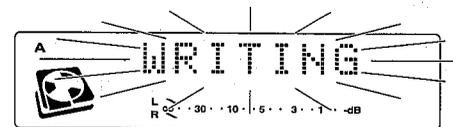
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の状態でイジェクト(▲)キーや、POWER(●/○)キーを押すと、結合が途中で中断されることがあります。

次のページにつづく

途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

### 7 編集終了後、ミニディスクを取り出す

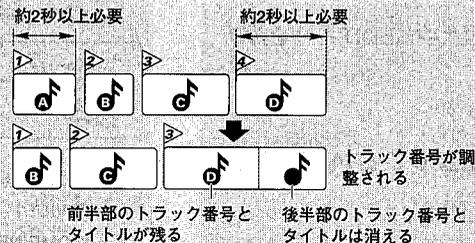
- ① 取り出したいスロット裏のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合



### 1曲消す (TRACK ERASE)

選んだ1曲のみを消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

再生中、または再生一時停止中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでください。(オレンジ色のインジケーターが点灯している状態にする)

1 消したい曲の再生中にEDITキーを押す

2 <<、>>キーを押して"ERASE?"を選ぶ

●再生は一時停止になります。

3 TIME/SETキーを押して確定する

●再生一時停止中の曲のトラック番号が表示されます

4 ENTERキーを押して消したい曲を確定する

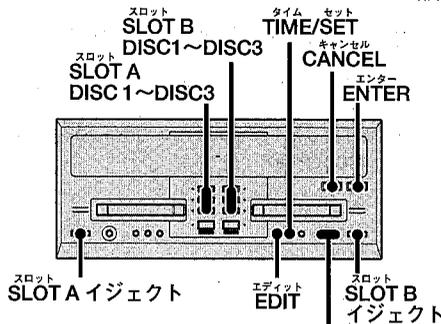
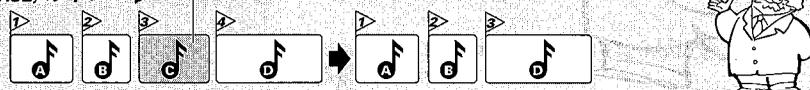
5 "ERASE ok?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の消去を実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクト(▲)キーや、POWER(I/O)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。
- ここまでの内容を取り消したいときは、エディットキャンセルで取り消すことができます。-[84]

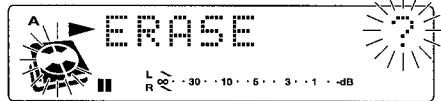
6 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す

1曲消す (TRACK ERASE) のイメージ



- 押すたびに切り換わります
- "DIVIDE?" : 曲を分ける
  - "COMBINE?" : 曲をつなぐ
  - "ERASE?" : 1曲消す
  - "MOVE?" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

### 全曲消す (ALL ERASE)

停止中に全曲消去することができます。ミニディスク全体を消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

停止中に操作してください。入力切換をMDにして、編集したいミニディスクをあらかじめ選んでください。(オレンジ色のインジケーターが点灯している状態にする)

1 EDITキーを押す

2 <<、>>キーを押して"Q.ERASE?"を選ぶ

3 TIME/SETキーを押して確定する

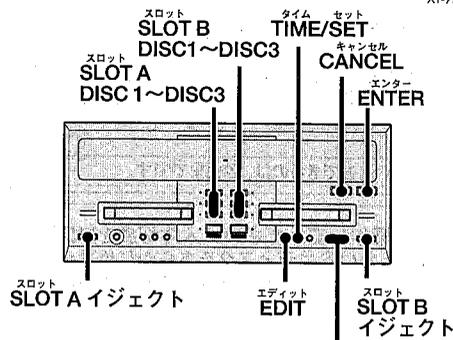
4 "ALL?"と表示したらENTERキーを押して確定する

5 "ALL ERASE?"と表示したら、ENTERキーを押して、消去を実行する

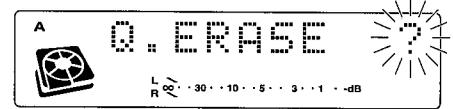
- ミニディスクの全曲が消去されます。(ディスクタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクト(▲)キーや、POWER(I/O)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。
- ここまでの内容を取り消したいときは、エディットキャンセルで取り消すことができます。-[84]

6 編集終了後、ミニディスクを取り出す

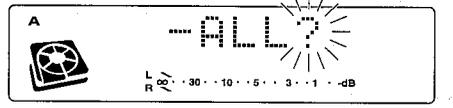
- 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す



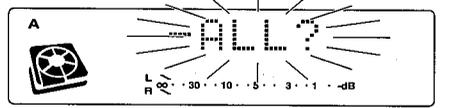
- 押すたびに切り換わります
- "Q.MOVE?" : 曲順をまとめて入れ替える
  - "Q.ERASE?" : 曲をまとめて消す
  - "CANCEL?" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ-[84])



録音されていないミニディスクの場合



1曲以上録音されているミニディスクの場合



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

### 曲をまとめて消す (QUICK ERASE)

曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲を消去することができます。消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

1回の処理で消去できるのは、32曲までです。

停止中に操作してください。入力切替をMDにして、編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態にする)

#### 1 EDITキーを押す

#### 2 ◀▶キーを押して"Q.ERASE?"を選ぶ

#### 3 TIME/SETキーを押して確定する

#### 4 ◀▶キーを押して、消したい曲(トラック番号)を選ぶ

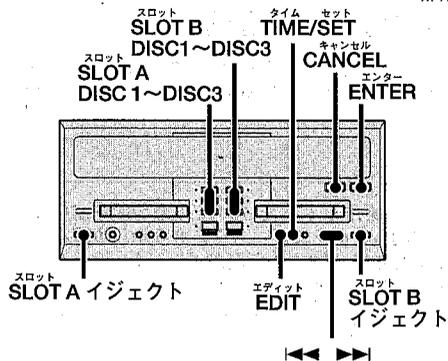
#### 5 TIME/SETキーを押して確定する

●選んだ曲順の確認には、◀▶キーとCLEARキーを使います。

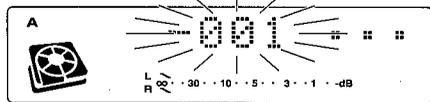
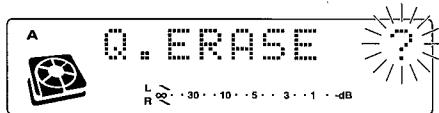
手順④~⑤を繰り返して消したい曲を選びます。

#### 6 ENTERキーを押して消したい曲を確定する

次のページにつづく



- 押すたびに切り換わります
- ① "Q.MOVE?" : 曲順をまとめて入れ替える
  - ② "Q.ERASE?" : 曲をまとめて消す
  - ③ "CANCEL?" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)



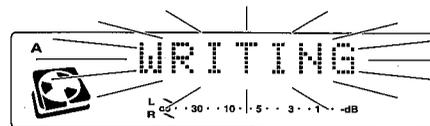
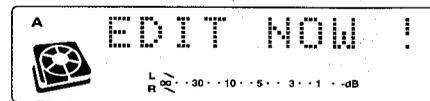
途中で中止するときは、停止(■)/CANCELキーを押します。

#### 7 "ERASE?"と表示したら、ENTERキーを押して、曲の消去を実行する

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 消去された曲は、そのままの曲順で残ります。
- COMPLETE表示が途中で発生にイジェクト(▲)キーやPOWER(1/0)キーを押すと、立っ替えが途中で中断されることがあります。
- ここまでの内容を取り消したいときは、エディットキーを押して取り消すことができます。

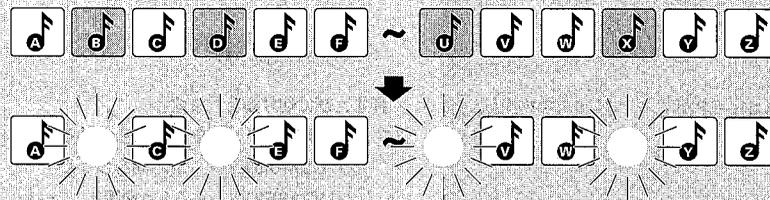
#### 8 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー(DISC1~DISC3)を押す



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

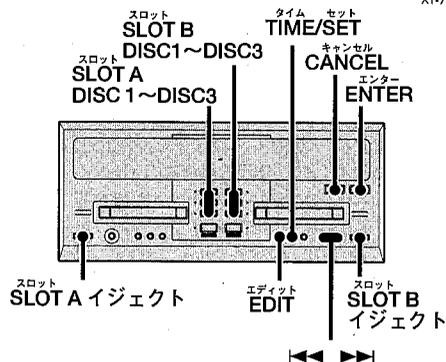
#### 曲をまとめて消すイメージ



## 曲の一部分を消す

- ① 曲を分ける (TRACK DIVIDE) 機能を使って、消したい部分を1つの曲(トラック)にする。
- ② 1曲消す (TRACK ERASE) 機能を使って、消去する。  
この手順を使って、目的の部分だけを消去することができます。

再生中、または再生一時停止中に操作してください。編集したいミニディスクをあらかじめ選んでおいてください。(オレンジ色のインジケータが点灯している状態にする)



### 1 一部分を消したい曲を再生する

### 2 "曲を分ける (TRACK DIVIDE)" の 2 から 3 までを行い、消したい部分の最後を決める

### 3 同様にして消したい部分の最初を決める

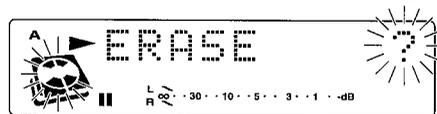
- 以上の手順で、消したい部分の最初で一時停止の状態になります。

### 4 EDIT キーを押す

### 5 <<、>> キーを押して "ERASE?" を選ぶ

押すたびに切り換わります

- ① "DIVIDE?" : 曲を分ける
- ② "COMBINE?" : 曲をつなぐ
- ③ "ERASE?" : 1曲消す
- ④ "MOVE?" : 曲順を1曲ずつ入れ替える



### 6 TIME/SET キーを押して確定する

- 再生一時停止中の曲のトラック番号が表示されます

### 7 ENTER キーを押して消したい曲を確定する

次のページにつづく



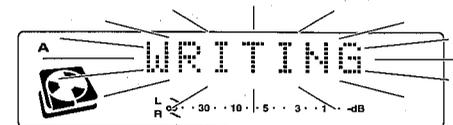
途中で中止するときは、停止(■)/CANCEL キーを押します。

### 8 "ERASE ok?" と表示したら、ENTER キーを押して、曲の消去を実行する

- 曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- "COMPLETE"表示の点滅中にイジェクト(▲)キーや、POWER(⏻)キーを押すと、消去が途中で中断されることがあります。
- ここまでの内容を取り消したいときは、エディットキャンセルで取り消すことができます。→ [74]

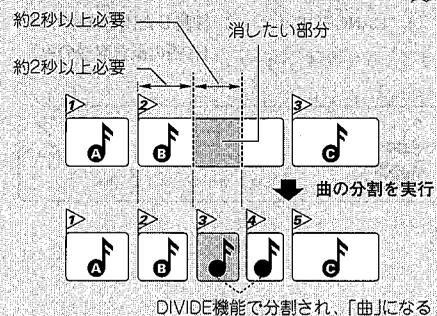
### 9 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- ① 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- ② 取り出したいディスク番号のキー (DISC1~DISC3) を押す



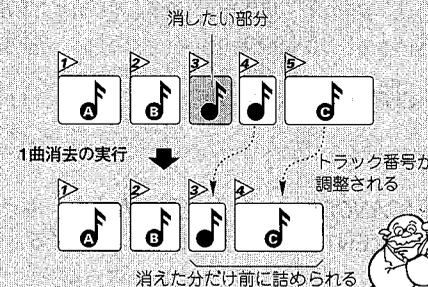
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

### 曲を分ける (TRACK DIVIDE) イメージ



- 曲の前半や後半だけを消去する場合は、1か所だけ TRACK DIVIDE を行なってください。

### 1曲消す (TRACK ERASE) イメージ



## 編集した内容を取り消す (エディットキャンセル)

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。取り消した後、改めてご希望の編集を行ってください。編集後にミニディスクを取り出したり、現在編集しているミニディスク以外のDISC1～DISC3キーを押したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなりますのでご注意ください。

停止中に操作してください。

### 1 編集後にミニディスクを取り出す前に EDITキーを押す

### 2 <<<、>>>キーを押して"CANCEL?"を選ぶ

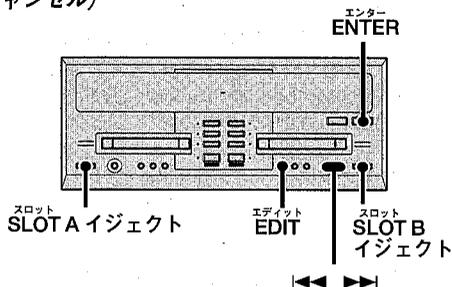
<<<、>>>キーを操作しても、"CANCEL"が表示されない場合は、編集を取り消すことができません。

### 3 ENTERキーを押して確定する

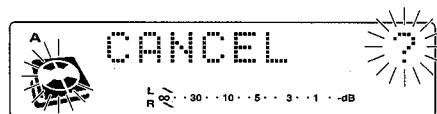
### 4 "CANCEL ok?"と表示されたら、もう一度ENTERキーを押して、実行する

### 5 編集終了後、ミニディスクを取り出す

- 1 取り出したいスロット側のイジェクト(▲)キーを押す
- 2 取り出したいディスク番号のキー (DISC1～DISC3)を押す



- 押すたびに切り換わります
- 1 "Q.MOVE?" : 曲順をまとめて入れ替える
  - 2 "Q.ERASE?" : 曲をまとめて消す
  - 3 "CANCEL?" : 編集した内容を取り消す (各種の編集直後のみ)



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

## 効果的な音質調整

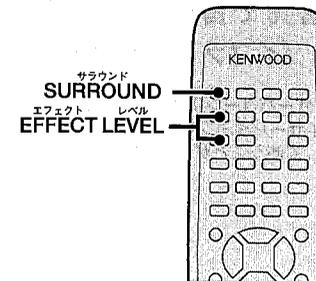
本機では、イコライザーと音場再生を選ぶことができます。イコライザーは聴く音楽ジャンルによってお好みで選んでください。また、音場モードは、お好みの雰囲気でお楽しみください。奥行き感や音場の広さなどを明らかに向上し、リスニングエリアも広がります。

### 音場効果を楽しむ

#### 1 サラウンド SURROUNDキーを押して、お好みのサラウンドモードを選ぶ

#### 2 EFFECT LEVEL△、▽キーを押して、レベル調整をする

- "SRS" モードは-10～+10の範囲で調節できます。その他のモードは-5～+5の範囲で調節できます。
- 再生中の曲調などに合わせて、お好みの設定でお楽しみください。



押すたびに切り換わります

- 1 "SRS" (Sound Retrieval System)
- 2 "MOVIE"
- 3 "MUSIC"
- 4 "STEREO"

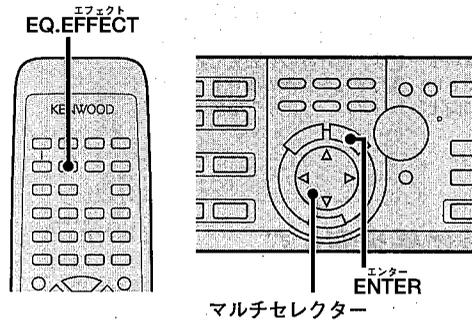
- "SRS" : 奥行き感や、臨場感のあるサウンドが楽しめます。あらゆるソースで効果があります。
- "MOVIE" : 会話の明瞭度と音の広がりを、より自然に楽しむことができます。
- "MUSIC" : ライブ版のCDなどを聴くときに効果があります。
- "STEREO" : サラウンドモードがオフのとき表示されます。



音にSRS をかけると、効果のかかった音で録音できます。(MDのダビング以外のアナログ録音のみ、TAPE端子に接続された機器での録音を除く)

## お好みの音質で音楽を聴く (イコライザー機能)

5通りのイコライザーパターンに加えて、あなたの作ったイコライザーパターンを1種類記憶させておき、呼び出して使うことができます。



### イコライザーパターンを選ぶ

聴いている音楽のジャンルにあわせて、お好みでイコライザーのパターンを選ぶことができます。

#### 1 聴きたい曲を再生する

#### 2 EQ.EFFECTキーを押して、聴いているジャンルを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① POP ..... (ポピュラー)
- ② ROCK ..... (ロック)
- ③ CLUB ..... (クラブ)
- ④ JAZZ ..... (ジャズ)
- ⑤ CLASSIC ..... (クラシック)
- ⑥ MANUAL ..... イコライザーパターンを作って記憶させることができます。
- ⑦ EQ. OFF ..... (EQ.消灯...イコライザー解除)

### イコライザーパターンを作って記憶させる お好みのイコライザーパターンを作ることができます。

#### 1 EQ.EFFECTキーを押して、"MANUAL"を選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① POP ..... (ポピュラー)
- ② ROCK ..... (ロック)
- ③ CLUB ..... (クラブ)
- ④ JAZZ ..... (ジャズ)
- ⑤ CLASSIC ..... (クラシック)
- ⑥ MANUAL ..... イコライザーパターンを作って記憶させることができます。
- ⑦ EQ. OFF ..... (EQ.消灯...イコライザー解除)

#### 2 <, >キーで"BASS"、"MID"、"TREBLE"のいずれかを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① BASS
- ② MID
- ③ TREBLE

#### 3 △、▽キーでレベル調整をする

- +8~-8の範囲で調節できます。
- 設定中に入力を切り換えた場合は、手順 4 からやり直してください。

#### 4 手順 2、3を繰り返して、それぞれの項目を調整する

#### 5 ENTERキーを押す

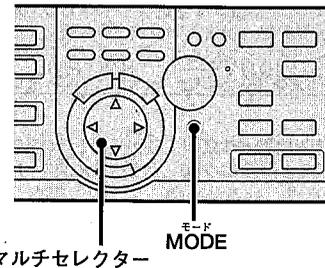
## バランスとインプットレベルの調整

### バランス

左右の音量バランスを調整します。

### インプットレベル

DVD/AUX入力端子に接続された外部機器(ビデオデッキ等)、TAPE PLAY端子に接続された外部機器(テープデッキ等)からの音量を調整します。外部機器からの音量が大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。

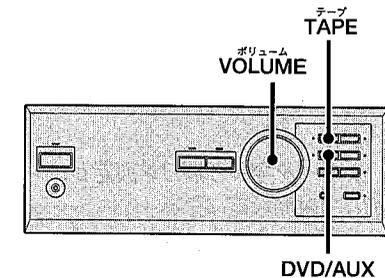


### バランスの調整

#### 1 MODEキーを数回押して、BALANCEを選ぶ

- SOURCE DIRECTを選んでいるときはバランス調整はできません。

#### 2 <, >キーでバランス調整をする



### インプットレベルの調整

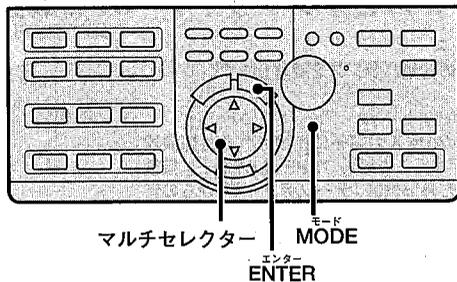
#### 1 調整したい外部機器の入力切替キー(TAPEキーまたはDVD/AUXキー)を続けて2回押す

#### 2 VOLUMEつまみで、調整する

- -5~0の範囲で調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、DVD/AUX入力端子、およびTAPE PLAY端子に接続された外部機器から録音されるレベルも変化します。



時刻合わせはハイパーオペレーティングスタジオを使って行います。



### 1 MODEキーを押す

- 曜日の表示が点滅します。

### 2 △、▽キーを押して曜日を設定し、▷キーを押して時間設定に移る

- 時間表示が点滅を始めます。

### 3 △、▽キーを押して時間を合わせる

- 時刻は12時間表示で表示されます。
- ◀キーを押すと前の設定に戻ることができます。

### 4 ▷キーを押して分の設定に移る

- 分表示が点滅を始めます。

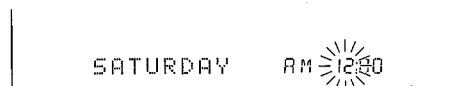
### 5 △、▽キーを押して分を合わせる

### 6 ENTERキーを押して確定する

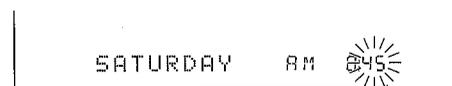
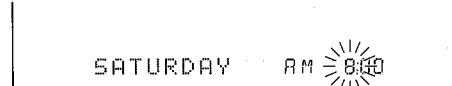
- 時報と同時にENTERキーを押すと正確な時刻表示ができます。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき、コントロールセンター部本体のCLOCK/DEMOキーが、リモコンのCLOCKキーを押すと5秒間、時間表示をします。



土曜日を設定したとき



8時45分に合わせる例



### おやすみタイマー(SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

### タイマー再生、タイマー録音(プログラム1, プログラム2)

設定した時間帯に、選んだソースを再生または録音します。

### AIタイマー再生(プログラム1, プログラム2)

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、あらかじめ出荷時に設定された音量まで上がります。

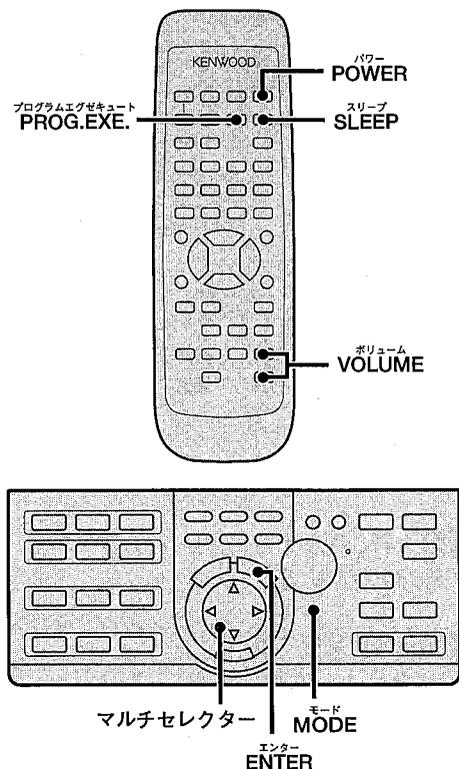
- MDは、ミニディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。
- MDでタイマーを設定する前に、メモリーバックアップ機能を有効にするため、10分以上電源をオン状態にしておいてください。 - [103]

### プログラムタイマー予約

2系統(プログラム1, プログラム2)の24時間タイマーです。プログラム1, プログラム2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。テープのタイマー操作については、カセットデッキ(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

- タイマー予約は、プログラム1とプログラム2の2種類を、同時に予約できます。
- プログラム1とプログラム2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 - [10]



### 1 聴く(録音する)ための準備をする

放送局を聴く	CDを聴く	外部入力ソースを聴く	MDを聴く	テープを聴く	録音する
放送局をプリセットしておく - [35] - [36]	ディスクを入れる (プログラム再生はできません。)	DVD/AUX端子、またはTAPE端子に接続した機器のタイマー設定をする	ディスクを入れる	テープをセットする。 カセットデッキ(別売)	録音の準備をする。 カセットデッキ(別売) MD - [40]

### 2 ボリュームキーで音量を調節する

- 録音するときは、タイマーで電源がオンになると、最小の音量に自動セットされます。

### 3 プログラム番号を選ぶ

- ① MODEキーを数回押して"PROG.TIMER 1"  
または"PROG.TIMER 2"を選ぶ
- ② タイマー設定内容表示中にENTERキーを押して確定する
- 選んだプログラム番号が点滅します。
- すでに予約されているプログラム番号を選んだときは、新しい設定内容に変わります。

### 4 オン時刻を設定する

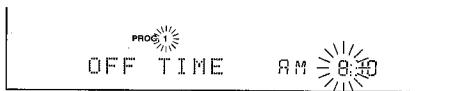
- ① Δマキーで"時"を設定する
- ② >キーで確定する
- ③ Δマキーで"分"を設定する
- ④ ENTERキーを押して確定する
- "分"の設定中に<キーで"時"の設定へ戻ることができます。



### 5 4と同じ手順を行い、オフ(スタンバイ)時刻を設定する

### 6 曜日の設定をする

- ① Δマキーで設定したい曜日を選ぶ
- "USER SELECT"を選んだときは、ENTERキーを押したあと、続けてΔマキーで設定したい曜日を選んでください。
- ② ENTERキーを押して、確定する



押すたびに変わります切り換わります

- ① "EVERYDAY" 毎日
- ② "MON-FRI" 月曜一金曜
- ③ "SAT,SUN" 土、日
- ④ "USER SELECT" 一週間の中で設定したい曜日1つ

### 7 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

- ① Δマキーで"PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ
- ① PLAY タイマー再生
- ② REC
- ③ AIPLAY .....だんだん音が大きくなるタイマー再生



② ENTERキーを押して確定する

次のページにつづく

放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

- ① Δマキーで"REC"を選ぶ

- ① PLAY
- ② REC
- ③ AIPLAY



② ENTERキーを押して確定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

- ① Δマキーで何を聴くかを選ぶ
- ① TUNER...放送
- ② TAPE...テープ
- ③ DVD/AUX...外部入力
- ④ CD...CD
- ⑤ MD...MD



- ② ENTERキーを押して確定する
- ③ 手順①で"TUNER"、"MD"、"CD"を選んだ場合、Δマキーで最初に再生するディスク(プリセットチャンネル)を選ぶ

"TUNER"の場合

- ①: プリセットナンバーが上がる
- ②: プリセットナンバーが下がる

"MD"の場合

- ① MD A DISC 1
- ② MD A DISC 2
- ③ MD A DISC 3
- ④ MD B DISC 1
- ⑤ MD B DISC 2
- ⑥ MD B DISC 3

"CD"の場合

- ① CD DISC 1
- ② CD DISC 2
- ③ CD DISC 3
- ④ CD DISC 4
- ⑤ CD DISC 5
- ⑥ CD DISC 6



- ③ 手順①で"MD"を選んだときはΔマキーで再生モードを選ぶ
- ④ TRACK
- ⑤ SEAMLESS



● 放送局は必ずプリセットしておいてください。

- ② ENTERキーを押して確定する

- 設定したタイマーは自動的に実行されます。
- アンブ部のSTANDBY/TIMERインジケータが、黄緑色の点灯になります。

放送、外部入力ソースのタイマー録音をするとき

- ① Δマキーで何を録音するかを選ぶ
- ① TUNER...放送
- ② DVD/AUX...外部入力
- ③ MD DIGITAL 2



- ② ENTERキーを押して確定する
- ③ TUNERを選んだ場合、Δマキーでプリセットチャンネルを選ぶ
- ④: プリセットナンバーが上がる
- ⑤: プリセットナンバーが下がる
- 放送局は必ずプリセットしておいてください。



- ② ENTERキーを押して確定する
- ③ Δマキーで最初に録音するディスクを選ぶ

- ① MD A DISC 1
- ② MD A DISC 2
- ③ MD A DISC 3
- ④ MD B DISC 1
- ⑤ MD B DISC 2
- ⑥ MD B DISC 3



- ② ENTERキーを押して確定する
- ③ Δマキーで録音モード(REC MODE)を選ぶ
- ④ ①DISC...MD1枚に録音する
- ⑤ SEAMLESS



- ② ENTERキーを押して確定する
- 設定したタイマーは自動的に実行されます。
- アンブ部のSTANDBY/TIMERインジケータが、黄緑色の点灯になります。

電源がオフ(スタンバイ)になっていることを確認してください。

予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

### 予約の内容を確認する

MODEキーを数回押して、確認したいプログラム番号を選んでください

PROG.1.....プログラム1を表示  
PROG.2.....プログラム2を表示

●予約内容を約3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。選んだプログラム番号が点灯します。

### タイマーの実行について

リモコンのPROG.EXEキーを押してプログラム表示を切換えます

押すたびに切り換わります。

- ① PROG.1.....プログラム1が働きます
- ② PROG.2.....プログラム2が働きます
- ③ PROG.1, 2...プログラム1,2ともに働きます
- ④ 消灯.....プログラムは働きません

- 予約内容は記憶しています。
- ディスク、MDの準備、音量の調節をしておきます。

### 予約内容を変更したいときは

●プログラムタイマー予約を締めからやり直してください

### おやすみタイマー (SLEEP)

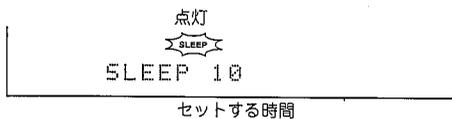
何分後に電源を切るかを設定します

1 POWER (I/O) キーを押して、電源をオンにする

2 リモコンのSLEEPキーを押して、時間を設定する

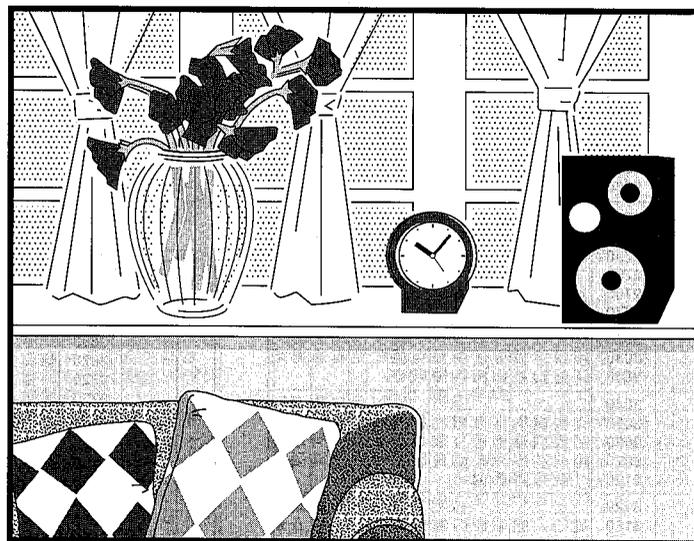
- 1回押すごとに10分ずつ変わっていきます。最大約90分まで設定できます。
- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....



### 解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にする、またはSLEEPキーの表示が消えるまで押す。



XT-7MD (J)

JISコード表の検索のしかた

JISコード表を使って、目的となる文字のコードを捜します。

Table showing JIS code search method with columns JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F and corresponding characters.

- (例)愛
1 表から"愛"の文字を捜す。
2 コード番号"3020"の行の6番目の文字であるので、コード番号"3026"をメモに控える。
3 "JISコード表を使って、タイトルをつける"を参照して、文字を入力する。

JIS第1水準

Main JIS code table for the first level, listing characters and their corresponding JIS codes (0-9, A-F).

Continuation of the JIS code table, listing characters and their corresponding JIS codes.

JIS code table for the second level, listing characters and their corresponding JIS codes (0-9, A-F).

JIS code table for the third level, listing characters and their corresponding JIS codes (0-9, A-F).

知識編

知識編

JIS第2水準

Table with columns JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F. Contains Japanese characters for JIS 2nd level.

Table with columns JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F. Contains Japanese characters for JIS 2nd level.

Table with columns JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F. Contains Japanese characters for JIS 2nd level.

Table with columns JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F. Contains Japanese characters for JIS 2nd level.

本機とサイバタイトラー(別売)とのMD LINK機能を使う場合の注意
本機(ミニディスク)に記録した文字をサイバタイトラー(別売)を使って修正したり、ラベルにしたりする場合、一部使用できない文字があります。
本ページ右側からはまるはまるJIS第2水準の漢字のうち、で示されている文字はサイバタイトラー(別売)で表示することも、ラベルにすることもできません。詳しくは、サイバタイトラー(別売)付属の取扱説明書をよくお読みください。

知識編

Table with 17 columns (JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F) and 26 rows (水, 火, 爪, 文, 月, 牛, 犬, 王, 瓜, 瓦, 甘, 生, 用, 田, 病, 六, 白, 皮, 皿, 目, 矛, 矢, 石, 示, 禺, 禾, 穴, 立). Each row contains a list of JIS codes and their corresponding kanji characters.

Table with 17 columns (JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F) and 26 rows (竹, 米, 糸, 缶, 羽, 羊, 老, 来, 耳, 聿, 肉, 臣, 至, 臼, 舌, 舟, 艮, 色, 斗, 虫). Each row contains a list of JIS codes and their corresponding kanji characters.

Table with 17 columns (JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F) and 26 rows (虫, 血, 行, 衣, 而, 見, 角, 言, 谷, 豆, 豕, 豸, 貝, 赤, 走, 足, 身, 車, 辛, 斤, 邑, 西, 采, 里, 金). Each row contains a list of JIS codes and their corresponding kanji characters.

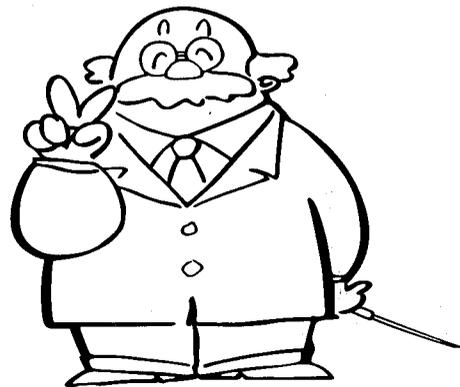
Table with 17 columns (JIS, 0-9, A, B, C, D, E, F) and 26 rows (門, 阜, 隹, 雨, 青, 非, 面, 革, 韋, 韭, 音, 頁, 風, 食, 首, 香, 馬, 骨, 高, 影, 門, 邑, 鬼, 魚, 鳥, 鹿, 鹿, 鹿, 鹿). Each row contains a list of JIS codes and their corresponding kanji characters.

知識編

知識編

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
黒	7350									點點點點							點點點點
	7360	徽	麻	驥													
黄	7360					黄	徽	驥									
電	7360							電	驥								
鼓	7360									鼓	驥						
鼠	7360																鼠
鼻	7360																鼻
齊	7360																齊
齒	7360																齒
	7370	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒
龍	7370																龍
龜	7370																龜
齋	7370																齋
	7420	鼻	橋	遠	深	照											
	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
	8B20																
	8B30																
	8B40																
	8B50																
	8B60																
	8B70																
	8C20																
	8C30																
	8C40																
	8C50																
	8C60																
	8C70																
	8D20																
	8D30																
	8D40																
	8E20																
	8E30																
	8E40																
	8E50																
	8E60																
	8F20																
	8F30																
	8F40																
	8F50																
	8F60																
	8F70																
	9020																
	9030																
	9040																
	9050																
	9060																
	9070																
	9120																
	9130																
	9140																
	9150																
	9160																
	9170																
	9220																
	9230																
	9240																
	9250																
	9260																
	9270																
	JIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F



## メンテナンス

### セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

## 参考

### 結露にご注意

本機と外気の温度差が激しいと、本機に水滴(曇)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源をいれた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のようなときは特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

### スピーカーの設置とテレビについて

- このシステムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型(EIAJ規格)ですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
- テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

### メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	電源オフ(スタンバイ)または、電源プラグをコンセントから抜いて最低3日で消えるメモリー
時計表示	アンプ部 電源の状態(オンまたはスタンバイ) 入力切換 ボリュームの値 バランスの設定 イコライザーのユーザーメモリー	コントロールセンター部 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムの設定内容 SRS レベル インプットレベル
		MDレコーダー部 モード 録音レベル

### 接点復活剤について

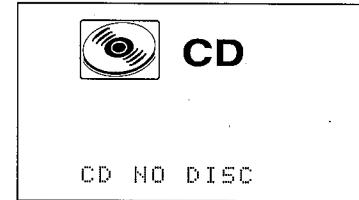
接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

### 輸送時または移動時のご注意

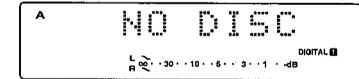
本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

- CD、MDをすべて取り出します。
- ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

### コントロールセンター部



### MDレコーダー部



- 数秒間待って、電源をオフ(スタンバイ)にします。

## ディスクの取り扱いかた

### 本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)およびCDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面にの  マークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

### ディスク取り扱い上のご注意

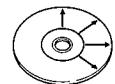
**取り扱い**  
再生面にふれないように持ってください。

**ラベル面**  
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やシール類

**再生面** 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



**お手入れ**  
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



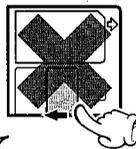
**保存**  
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

### ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

#### ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



#### 置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

#### ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

### 異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

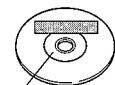
### CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

### レンタルCD、中古CDの取り扱いについて

図のようにクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり、金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。



クランピングエリア

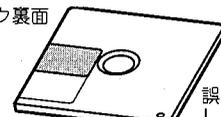
#### お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

#### 誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

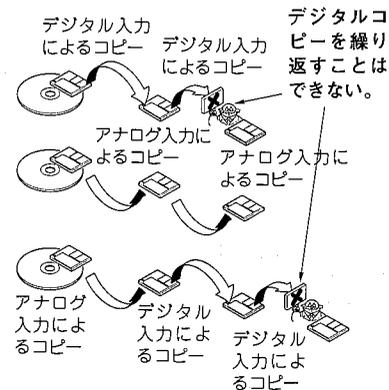
#### ミニディスク裏面



誤消去防止つまみ  
孔を開く(録音禁止) 孔をふさぐ(録音可能)

## SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



### FM文字多重放送についてのご注意

- 本機は日本国内専用です。海外では放送方式が日本と異なりますので、本機で文字放送を受信することはできません。
- 本機はVICS(交通情報サービス)、緊急情報放送には対応していません。放送中のメニューに表示される場合でも、受信することはできません。
- FM文字多重放送の放送内容については、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 情報の内容については、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

### ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会  
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
東京オペラシティタワー11階  
電話 (03)5353-0336(代表)  
FAX. (03)5353-0337

ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品

サウンド・リトリバー・システムはSRS・ラプス・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。SOUND RETRIEVAL SYSTEMおよびSRS(●)はSRS・ラプス・インコーポレーテッドの高標です。この製品の購入はサウンド・リトリバー・システムによる録音物を販売する権利を譲渡するものではありません。

### MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源オフ(スタンバイ)あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約3日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

### マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試ください。

マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、コントロールセンター部の左側にあるENTERキー<sup>エンター</sup>を押しながら、差し込み直す。

### アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●音量を最小にしている。</li> <li>●MUTEがオンになっている。</li> <li>●ヘッドホンプラグが差込まれている。</li> <li>●システムの接続コードがはずれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。</li> <li>●適当な音量にする。</li> <li>●MUTEをオフにする。</li> <li>●ヘッドホンプラグを抜く。</li> <li>●システムの接続コードを確認する。</li> </ul>	<p>→12</p> <p>→22</p> <p>→23</p> <p>→21</p> <p>→10</p>
STANDBY/TIMERインジケータ <sup>スタンバイ タイマー</sup> が点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがショートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。</li> </ul>	→12
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●差し込みが不完全。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しく差し込む。</li> </ul>	→22
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカーコードがはずれている。</li> <li>●バランスの設定が片寄っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。</li> <li>●左右のバランスを調節する。</li> </ul>	<p>→12</p> <p>→27</p>

### コントロールセンター部

症状	原因	処置	参照
時計表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停電があった。</li> <li>●電源プラグを一度抜いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> <li>●現在時刻をもう一度合わせる。</li> </ul>	→68
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在時刻を合わせていない。停電があった。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。</li> <li>●タイマーの実行指定をしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。</li> <li>●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。</li> <li>●タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。</li> <li>●"タイマーの実行について"をみて"1"または"2"表示を点灯させる。</li> </ul>	<p>→68</p> <p>→69</p> <p>→92</p>
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続していない。</li> <li>●放送バンドが合っていない。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナを接続する。</li> <li>●放送バンドを合わせる。</li> <li>●受信したい放送局の周波数に合わせる。</li> </ul>	<p>→12</p> <p>→34</p>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>●電気器具の影響によるもの。</li> <li>●テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>●電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>●テレビから離す。</li> </ul>	

### コントロールセンター部

症状	原因	処置	参照
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>●長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受信できる周波数の放送局をプリセットする。</li> <li>●もう一度プリセットする。</li> </ul>	→36
突然、デモンストレーションが始まった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグを抜いた、あるいは停電があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●故障ではありません。CLOCK/DEMOキーを押して、解除してください。</li> </ul>	→3
エラー表示が出る ("ERROR*(数字)")	<ul style="list-style-type: none"> <li>●何らかのトラブルを示します。トラブルの内容によって、数字の部分が異なります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お近くのケンウッドサービスステーションまでご相談ください。</li> </ul>	
MDのタイトル情報が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タイトル情報を読み出し表示するまでに、曲が終わってしまいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生を一時停止の状態にして、表示されるまでお待ちください。</li> </ul>	

### MDレコーダー部 (MD規格等の症状)

症状	原因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL" <sup>ディスクフル</sup> と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●255曲以上(トラック番号255以上)は録音できません。(トラック番号255未満でも録音できないことがあります。)</li> <li>●このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。</li> </ul>
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイの録音可能時間表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。</li> <li>●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。</li> </ul>
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。</li> </ul>
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。</li> </ul>
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。</li> </ul>
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができたり、曲番号がつかなくなったりすることがあります。</li> </ul>
"READING" <sup>リーディング</sup> が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。</li> </ul>
モノラル長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モノラル長時間録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。</li> </ul>
タイトルが最大文字数まで入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。</li> </ul>

## MDレコーダー部(その他の症状)

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コードの接続が間違っている。</li> <li>●ミニディスクが入っていない。</li> <li>●未録音ディスクが入っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"接続のしかた"に従い正しく接続する。</li> <li>●ミニディスクを入れる。</li> <li>●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 10</li> <li>→ 28</li> </ul>
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミニディスクが書き込み禁止になっている。</li> <li>●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。</li> <li>●録音レベルが低い。(DVD/AUX、TAPE使用時)</li> <li>●再生専用ミニディスクが入っている。</li> <li>●録音可能なエリアがない。</li> <li>●入力切替がMDになっている。</li> <li>●録音時間が短かすぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り換える。</li> <li>●アナログ録音に切り換える。</li> <li>●入力レベルを調節する。</li> <li>●録音用ミニディスクを入れる。</li> <li>●ミニディスクを入れ換える。</li> <li>●入力切替を録音したいソースにする。</li> <li>●一秒以上のトラックを録音する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 102</li> <li>→ 42</li> <li>→ 103</li> <li>→ 87</li> <li>→ 40</li> <li>→ 41</li> </ul>
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音レベルの設定をしていない。</li> <li>●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音レベルを調節する。</li> <li>●再度録音をする。</li> </ul>	→ 41
雑音が大きいの。	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	
電源オン後、表示が一瞬消える	●電源をオフ(スタンバイ)にして、すぐにオンにした。	●故障ではありません。	
入力した漢字が表示されない。	●"カナエリア"モードになっている。	●"カンジエリア"モードにする。	→ 30
録音、再生が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクを挿入口のところに放置している。</li> <li>●録音、再生中にディスクを入れようとした。</li> <li>●極端に残り時間の短いディスク、再生時間の短いディスクを入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクを取り出す。</li> <li>●ディスクを取り出して、初めからやり直す。</li> <li>●ディスクをかえる。</li> </ul>	→ 29

## MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

症状	原因	処置	参照
NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	→ 28
SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。	→ 42 → 103
DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音可能なエリアがない。</li> <li>●255曲目を録音しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●録音用ミニディスクを入れ換える。</li> <li>●1枚のディスクには255曲以上録音できません。</li> </ul>	
TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ 63
BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	

## MDレコーダー部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
READING	●TOC *1情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
DISC ERROR	●UTOC *2の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→ 29
CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集をしようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
PROTECTED	●ミニディスクが録音禁止状態(PROTECT)になっている。	●録音可能状態(PROTECTを解除)にする。	→ 102
PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。	
NOT AUDIO	●オーディオ用でないデータが記録されている。	●ディスクを取り換える、または他の曲を選ぶ。	
DIN UNLOCK	●デジタルコードまたは光ファイバケーブルが外れているか、完全に接続されていない。	●デジタルコードまたは光ファイバケーブルを正しく接続する。	→ 11
TEXT COPY ON	●CD テキストコピー機能がオンでOTE録音中に、タイトル入力しようとしている。	●CD テキストコピー機能をオフにする。	→ 44
NO CD TEXT	●CDがCD-TEXTのディスクではないので、テキストコピーできません。	●CD テキストコピー機能をオフにする。	→ 44
TEXT プロテクト	●CD-TEXTディスクのテキスト部分に著作権があるので、テキストコピーできません。	●CD テキストコピー機能をオフにする。	→ 44
D.TITLE IN T.TITLE IN D.TEXT IN T.TEXT IN	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サイバータイトラーからの情報をMDレコーダー内で処理しています。</li> <li>●タイトルやテキスト情報をコピーしています。</li> </ul>	●表示が消灯するまで、しばらくお待ちください。	
D?EJECT	●▲キーを押すと出るメッセージで、ミニディスクを取り出すことができる状態であることを意味します。	●DISC1~3キーのうちインジケータが点滅しているキーを押し、ミニディスクを取り出します。	→ 29

\*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

\*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

## CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>●ディスクがずれている。</li> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> <li>●光学レンズに霧がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>●ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> <li>●"結露にご注意"を参照し露を蒸発させる。</li> </ul>	<p>→ 24</p> <p>→ 102</p> <p>→ 101</p>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが入っていない。</li> <li>●再生状態になっていない。</li> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクを入れる。</li> <li>●▶/■ キーを押す。</li> <li>●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> </ul>	<p>→ 24</p> <p>→ 102</p>
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが汚れている。</li> <li>●ディスクに傷がついている。</li> <li>●本機に震動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●"ディスク取り扱い上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。</li> <li>●ディスクを取り換える。</li> <li>●震動のない場所に設置する。</li> </ul>	→ 102
イジェクトキー (▲) を押しても、またトレイが開いてしまう。	●8cmディスク (CDシングル) をトレイの溝からずれたまま、トレイを閉めようとしている。	●ディスクをトレイの溝の位置に正しく置き、▲キーを押してからディスクインジケータの点灯を確認し、DISC1~DISC6 (ディスクセレクター) キーを押すと再生します。	

## リモコン

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池切れ。</li> <li>●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>●再生しようとする音源のCDまたはMDが入っていない。</li> <li>●録音中のMDで再生しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい電池に入れ換える。</li> <li>●操作範囲内で操作する。</li> <li>●CDまたはMDを入れる。</li> <li>●録音が終わるまで待つ。</li> </ul>	→ 21

## アンプ部 (A-J9) / コントロールセンター部 (C-J9)

## [アンプ部]

実用最大出力	80W+80W (EIAJ 6Ω)
全高調波歪率	0.05% (1 kHz, 40W, 6Ω)
SN比 (EIAJ)	
DVD/AUX, TAPE	92 dB
	(SOURCE DIRECT オン時)
入力感度 / インピーダンス	
DVD/AUX, TAPE	240mV / 47kΩ
	(SOURCE DIRECT オン時)
出力レベル / インピーダンス	
TAPE	200mV / 100Ω
オムニプリアウト	1.7V / 1.8kΩ
スーパーウーファープリアウト	1.7V / 10kΩ
	(SOURCE DIRECT オン時)

## [FMチューナー部]

受信周波数範囲 ..... 76MHz ~ 108MHz

## [FM文字多重部]

文字多重方式 ..... DARC 方式 (DATA Radio Channel)  
 レベル1 フル対応  
 表示文字数 ..... 15.5文字 × 2.5行

## [AMチューナー部]

受信周波数範囲 ..... 531kHz ~ 1,629kHz

## [その他 (C-J9)]

最大外形寸法 ..... 幅 271mm  
 高さ 120mm  
 奥行 332mm  
 質量 (重量) ..... 4.2kg (正味)

## [電源部・その他 (A-J9)]

電源電圧・電源周波数 ..... AC100V, 50Hz/60Hz  
 定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ..... 135W  
 最大外形寸法 ..... 幅 271mm  
 高さ 100mm  
 奥行 345mm  
 質量 (重量) ..... 5kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

●極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



本機の明朝体は平成明朝体を、ゴシック体は平成角ゴシック体をそれぞれ使用しています。この平成明朝体および平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し、使用しているものです。フォントとして無断使用することは禁止されています。

## CDプレーヤー部 (DP-MJ9)

D/Aコンバージョン	..... 1ビット
オーバーサンプリング	..... 8fs (352.8kHz)
周波数特性 (EIAJ)	..... 20Hz~20kHz、±1dB
SN比 (EIAJ)	..... 96dB以上
ダイナミックレンジ (EIAJ)	..... 93dB以上
総合歪率	..... 0.007%以下
チャンネルセパレーション (1kHz)	..... 86dB以上
ワウ・フラッター (EIAJ)	..... 測定限界以下
デジタル出力	
OPTICAL	..... -21dBm~-15dBm (発光長660nm)
最大外形寸法	..... 幅 271mm
	..... 高さ 100mm
	..... 奥行 326mm
質量(重量)	..... 3.3kg (正味)

## MDレコーダー部 (DM-WMJ9)

読み取り方式	..... 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
記録方式	..... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式	
A.T.R.A.C. (Adaptive TTransform Acoustic Coding)	
D/Aコンバージョン	..... 1ビット
オーバーサンプリング	..... 8fs (352.8kHz)
A/Dコンバーター	..... ΔΣ方式
サンプリング周波数	..... 44.1 kHz
周波数特性 (EIAJ)	..... 20 Hz~20 kHz、±1 dB (再生時)
SN比 (EIAJ)	..... 93dB以上 (再生時)
ダイナミックレンジ (EIAJ)	..... 93dB以上 (再生時)
総合歪率 (EIAJ)	..... 0.006 %以下 (再生時)
チャンネルセパレーション (1 kHz)	..... 82dB以上 (再生時)
ワウ・フラッター (EIAJ)	..... 測定限界以下
デジタル入力	
OPTICAL	..... 1.2-21dBm~-15dBm (発光長660nm)

最大外形寸法	..... 幅 271mm
	..... 高さ 120mm
	..... 奥行 326mm
質量(重量)	..... 3.7kg (正味)

## スピーカー部 (LS-J9)

エンクロージャー	..... バスレフ防磁型
スピーカー構成	
メインスピーカー	
ウーファー	..... 160mm コーン型
スコーカー	..... 80mm コーン型
ツイーター	..... リニアム型
インピーダンス	..... 6 Ω
周波数帯域	..... 45Hz~20,000Hz
最大入力	..... 80W
最大外形寸法	..... 幅 220mm
	..... 高さ 440mm
	..... 奥行 304mm
質量(重量)	..... 7.2kg (正味)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

## 保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

## 修理をご依頼になるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

## 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

## 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## お買い上げ店名

電話 ( )